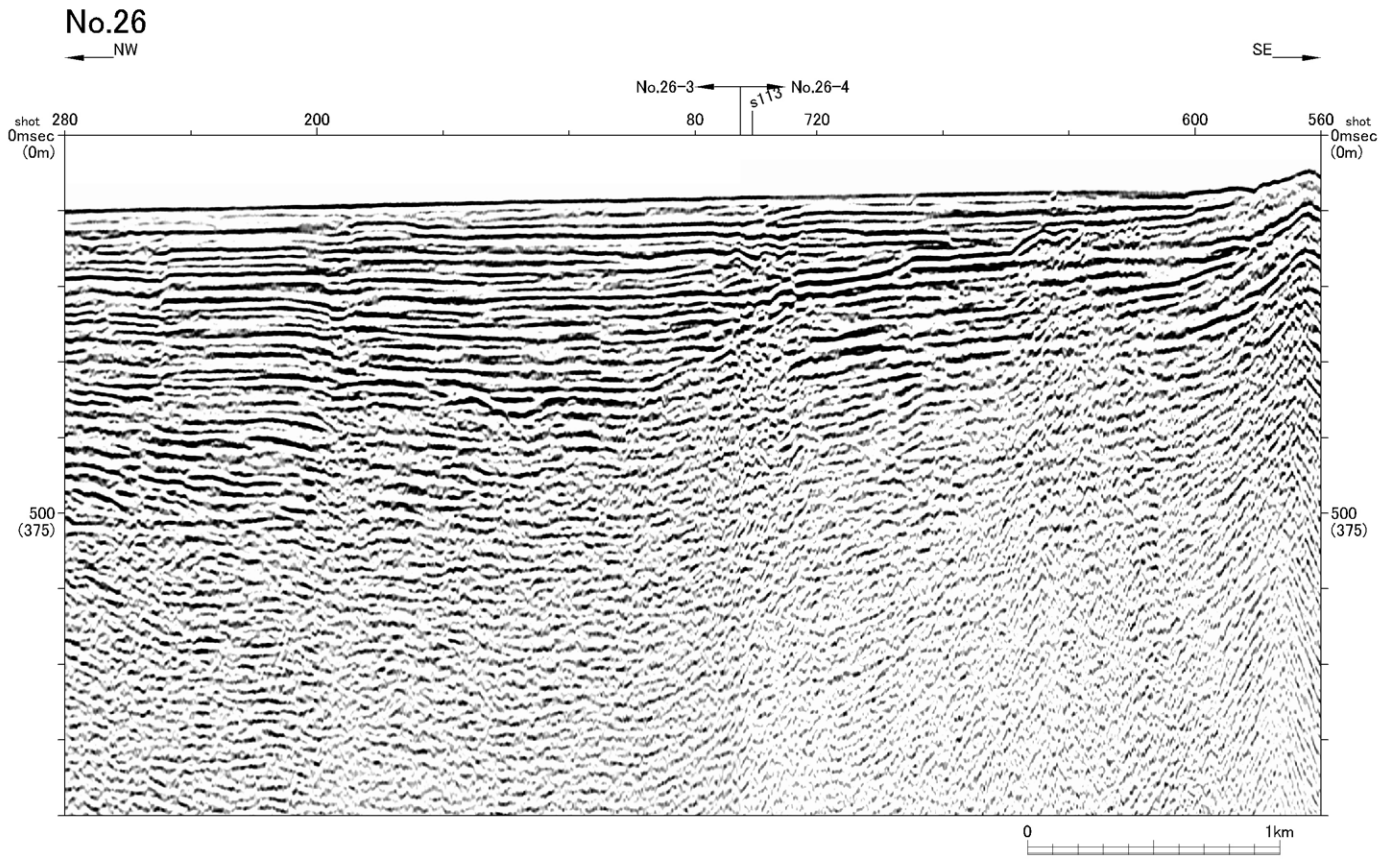
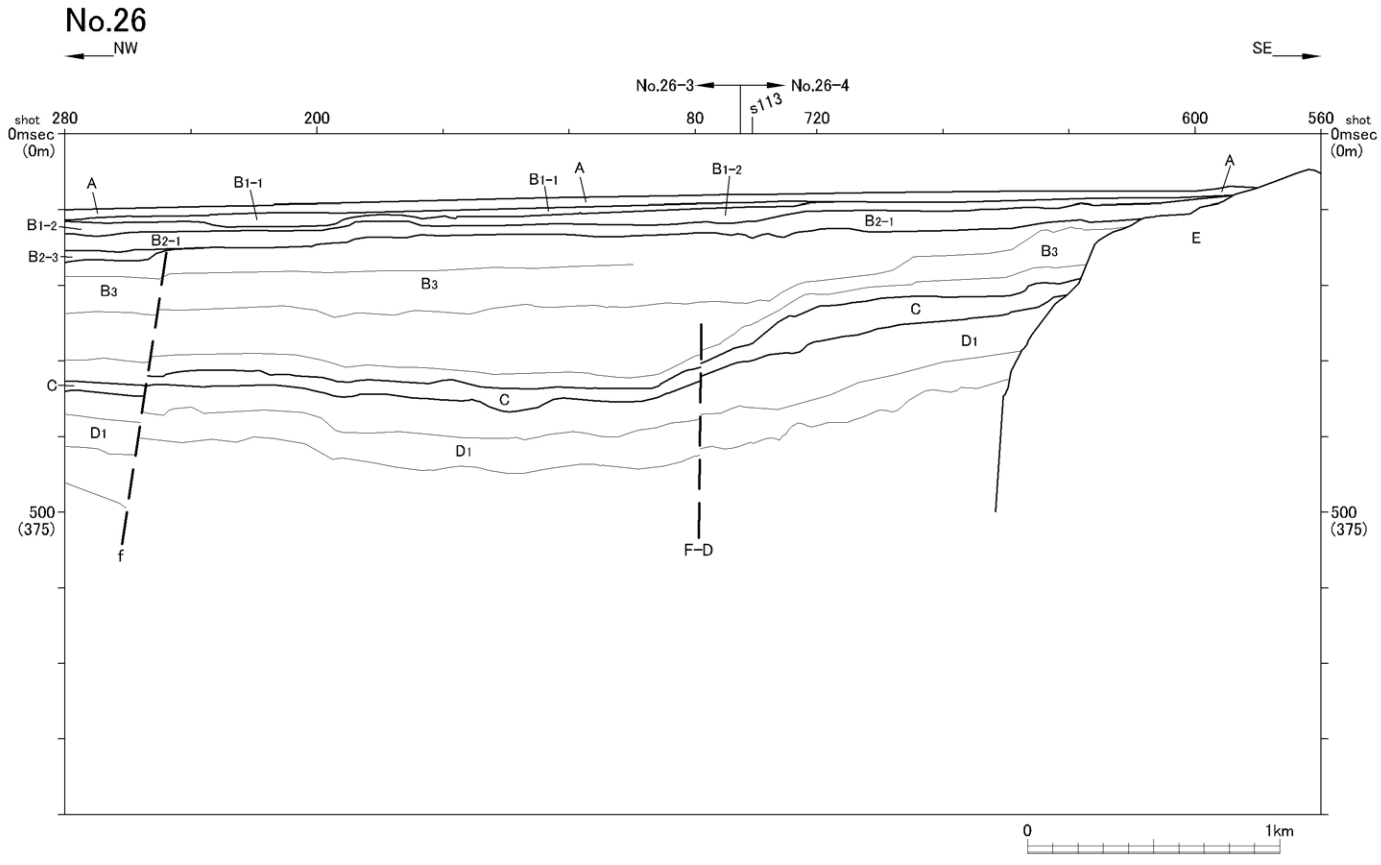
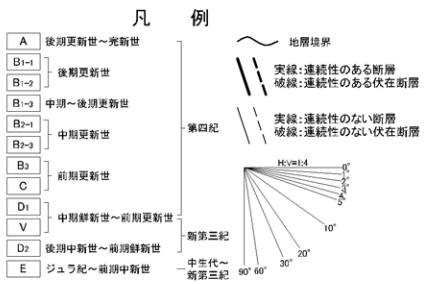
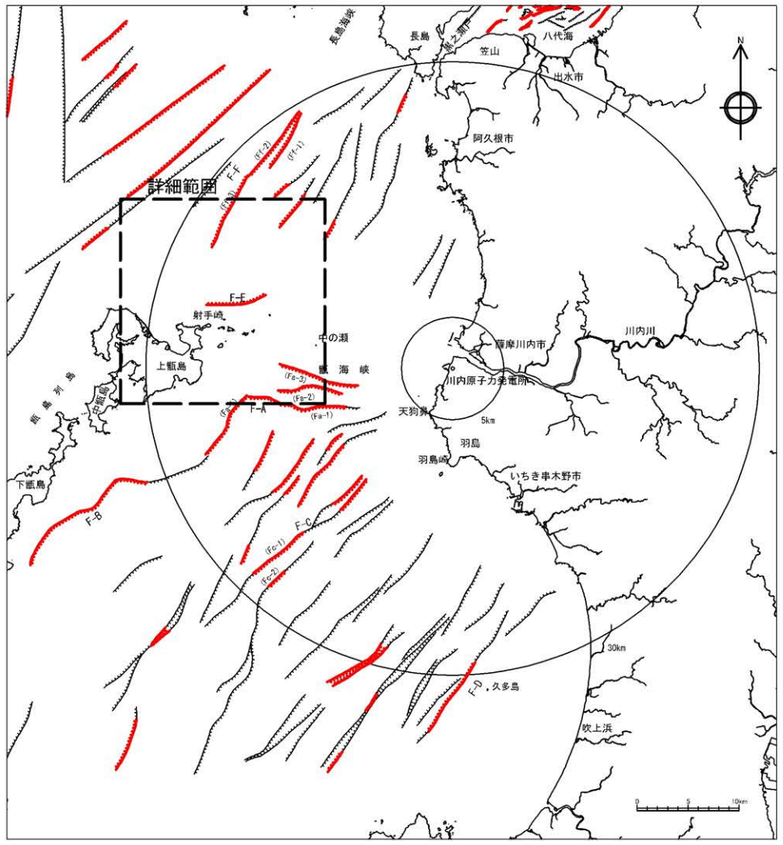




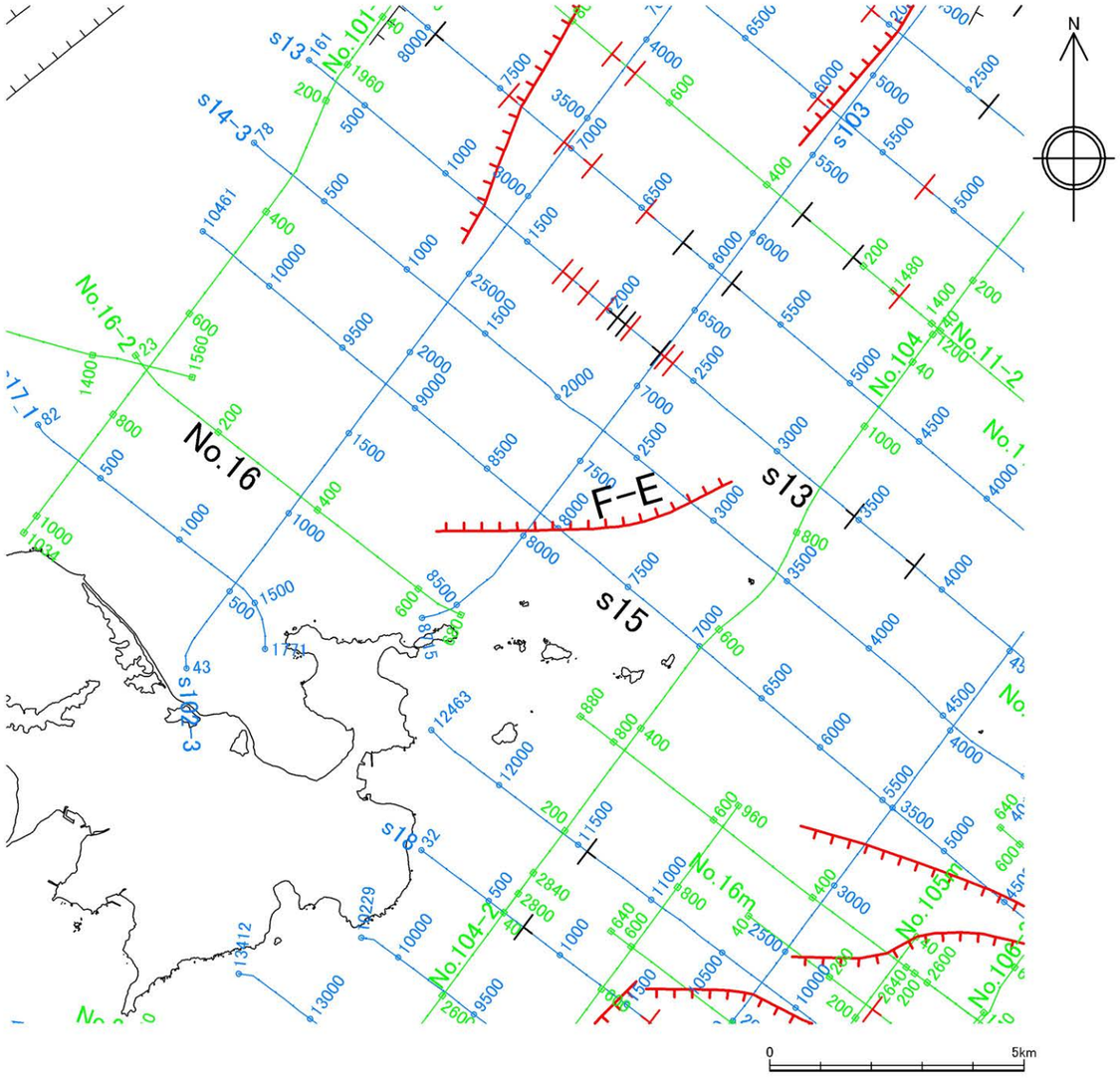


第7.3.2.105図（3）　Ｆ－Ｄ断層の音波探査記録断面図（No.26測線）



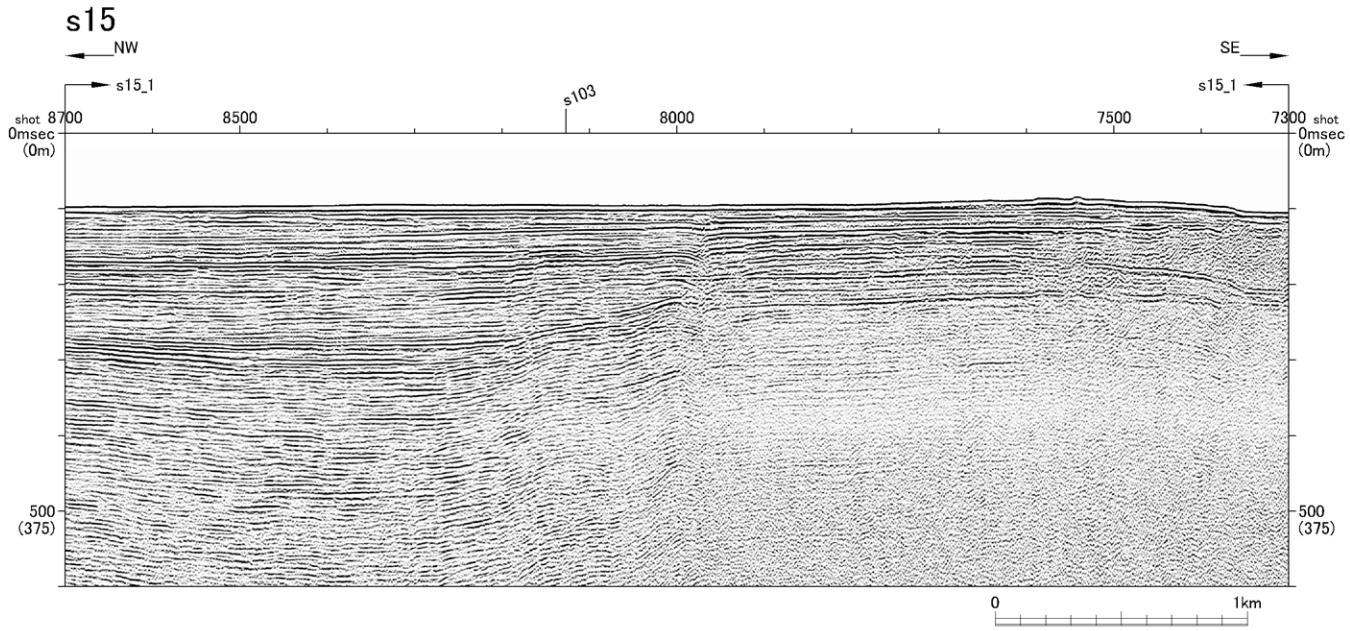
凡　　例

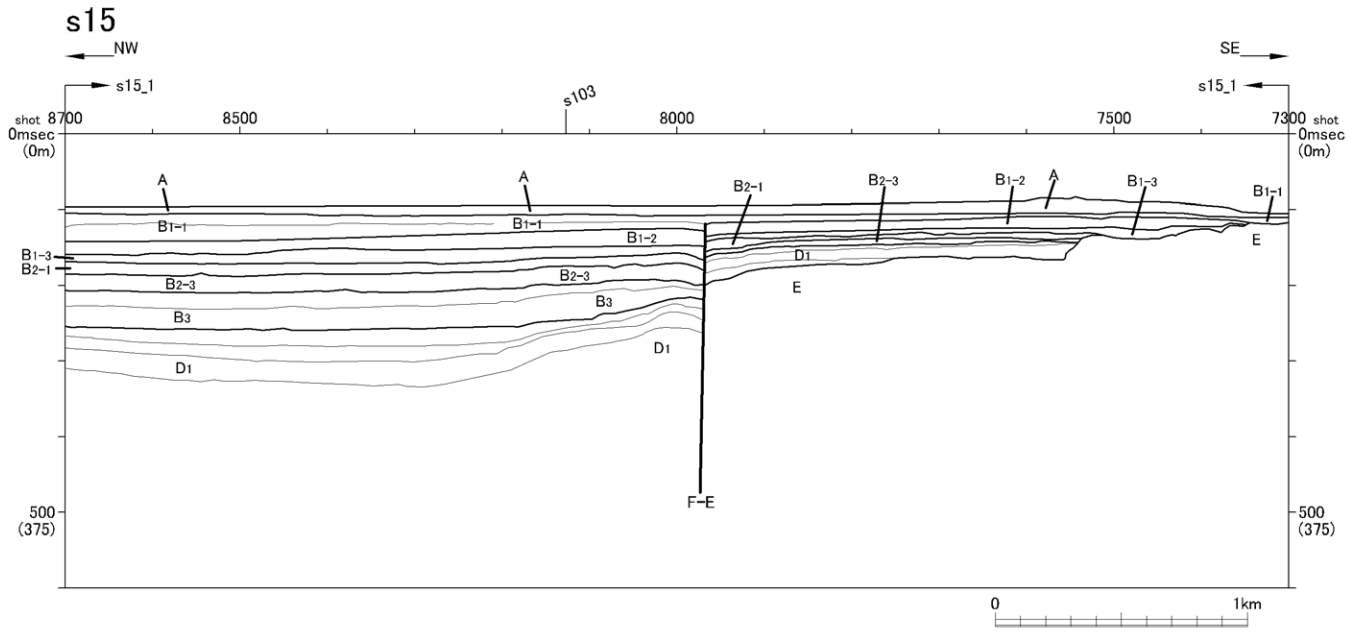
- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力㈱によるマルチチャンネル音波探査測線（ＧＩガン、ウォーターガン）
- 九州電力㈱によるシングルチャンネル音波探査測線（ウォーターガン、スパーカ）

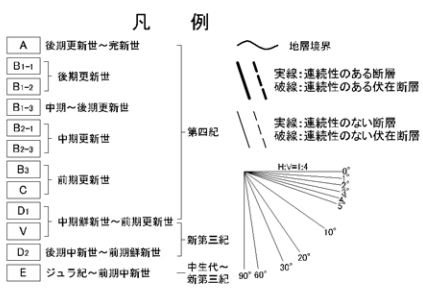


水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤（熊本・鹿児島）を編集したものである。

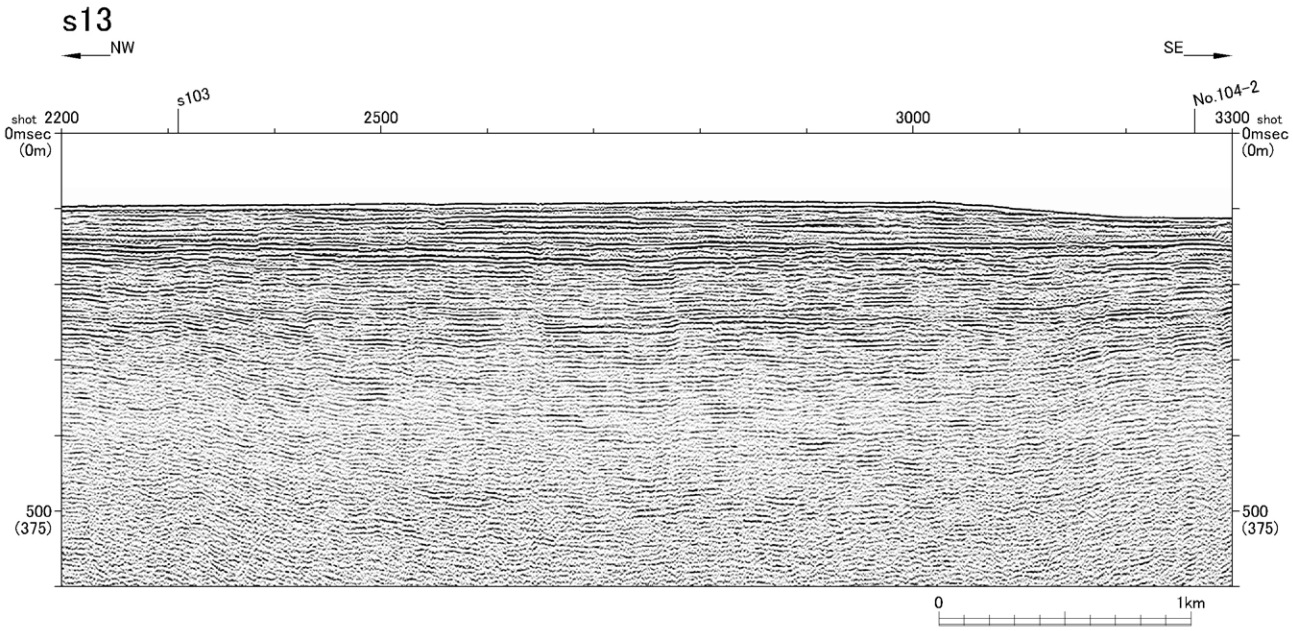
第7.3.2.106図　Ｆ－Ｅ断層位置図

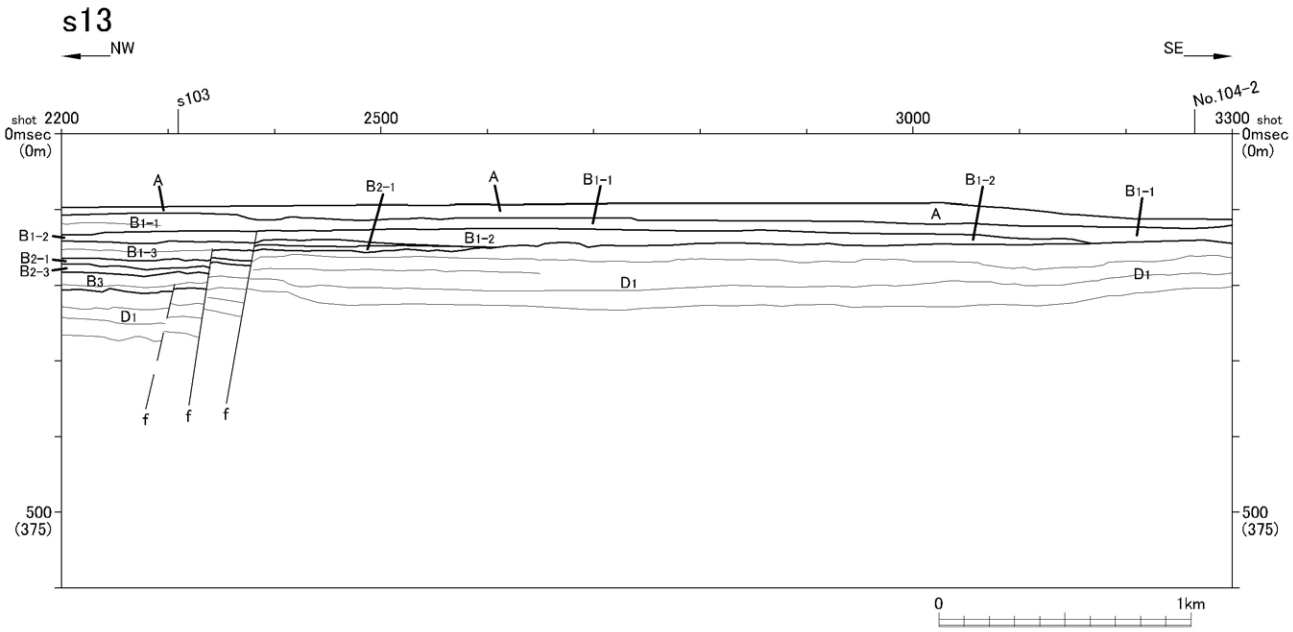


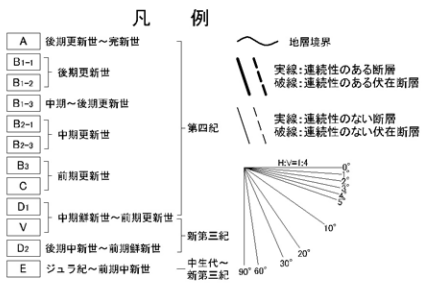




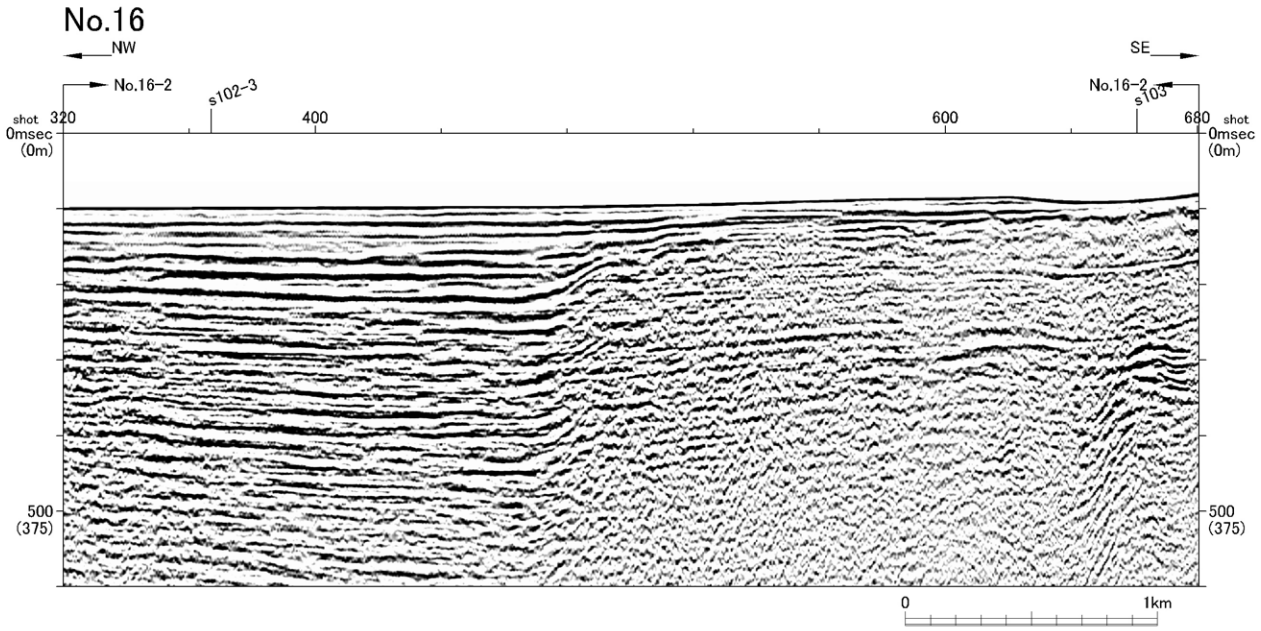
第7.3.2.107図（1）　Ｆ－Ｅ断層の音波探査記録断面図（s15測線）

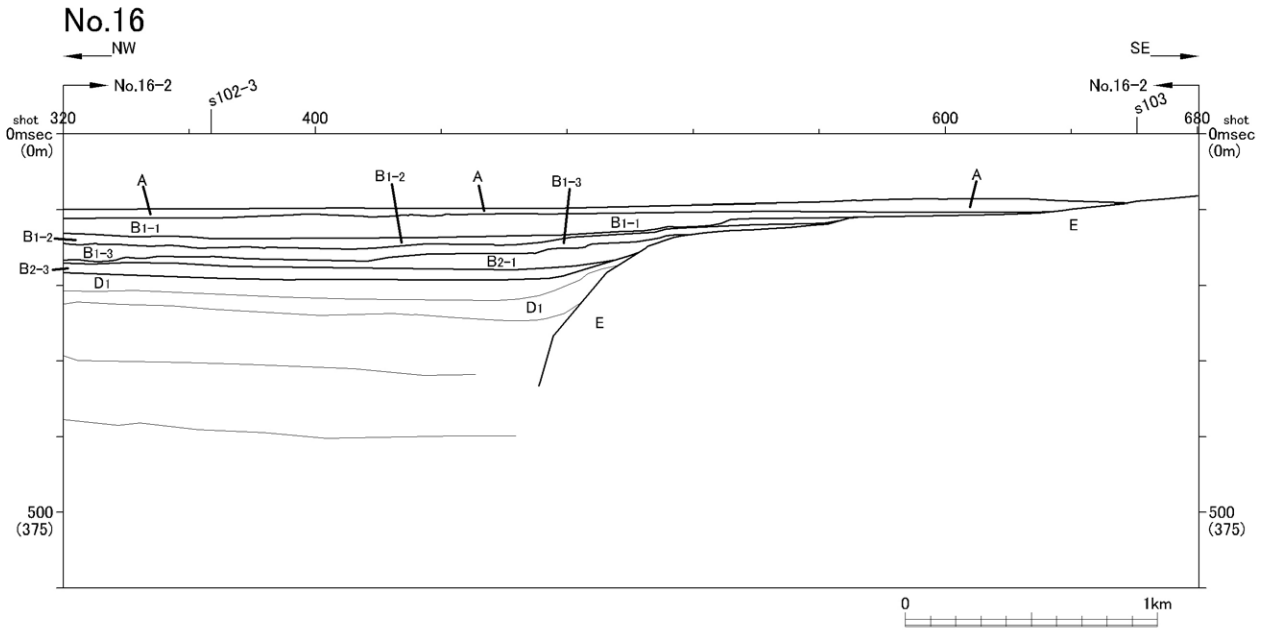


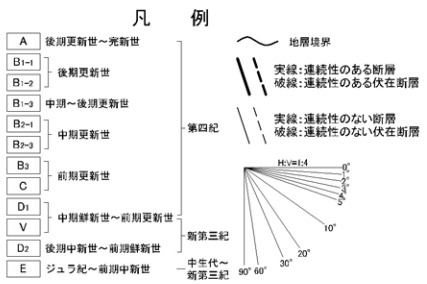




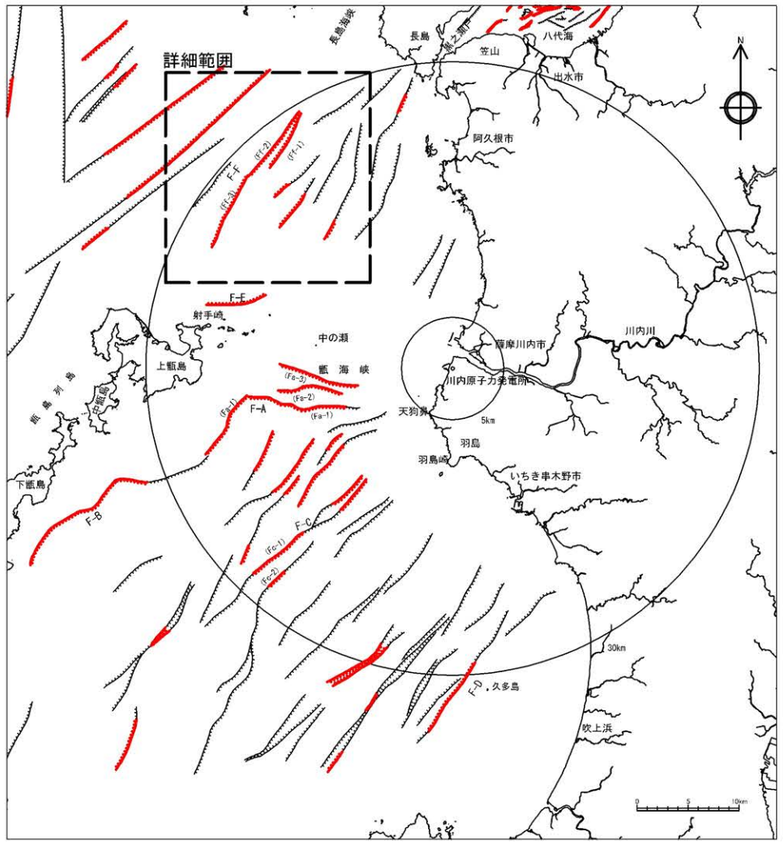
第7.3.2.107図（2）　Ｆ－Ｅ断層の音波探査記録断面図（s13測線）





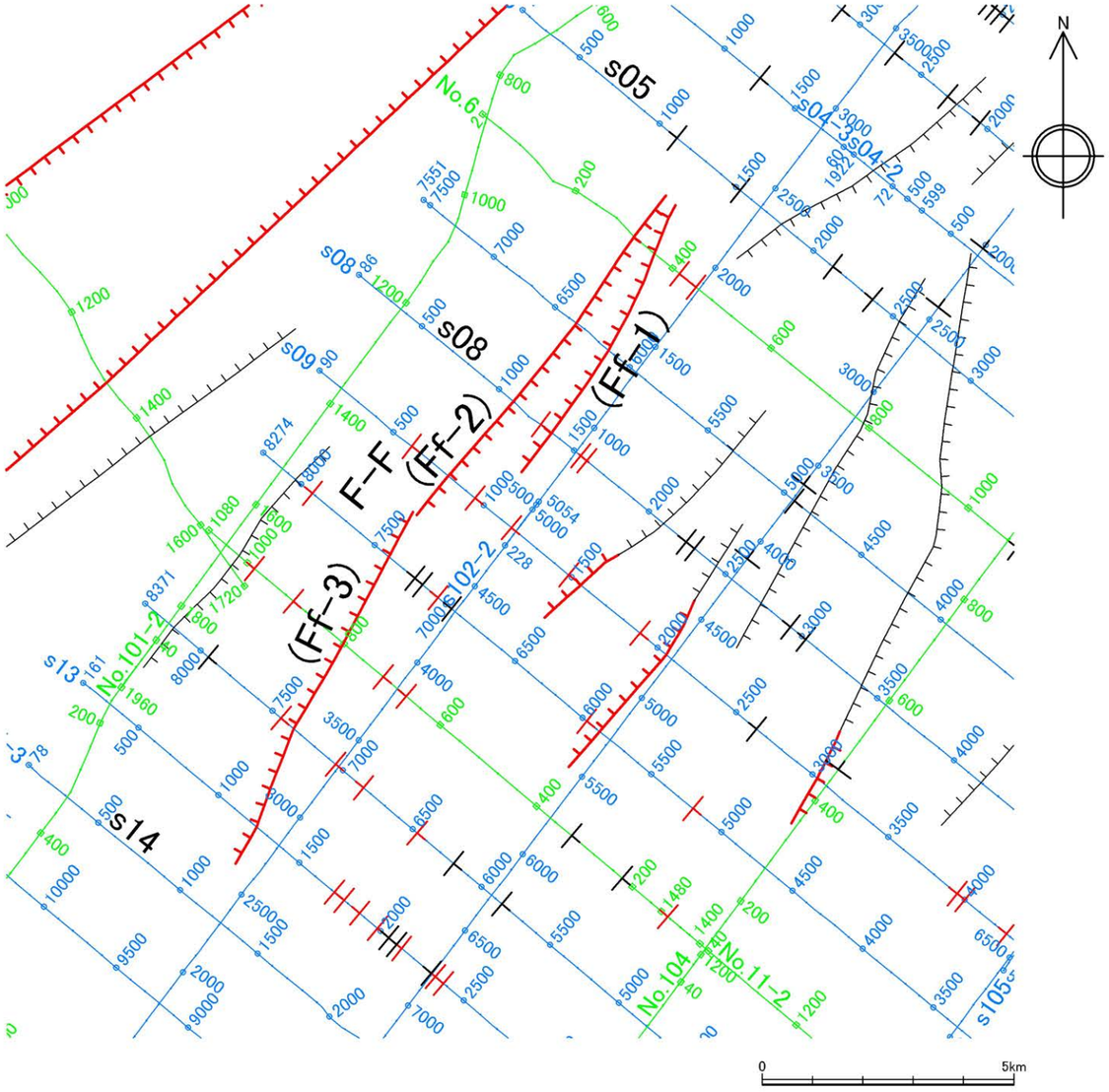


第7.3.2.107図（3）　Ｆ－Ｅ断層の音波探査記録断面図（No.16測線）



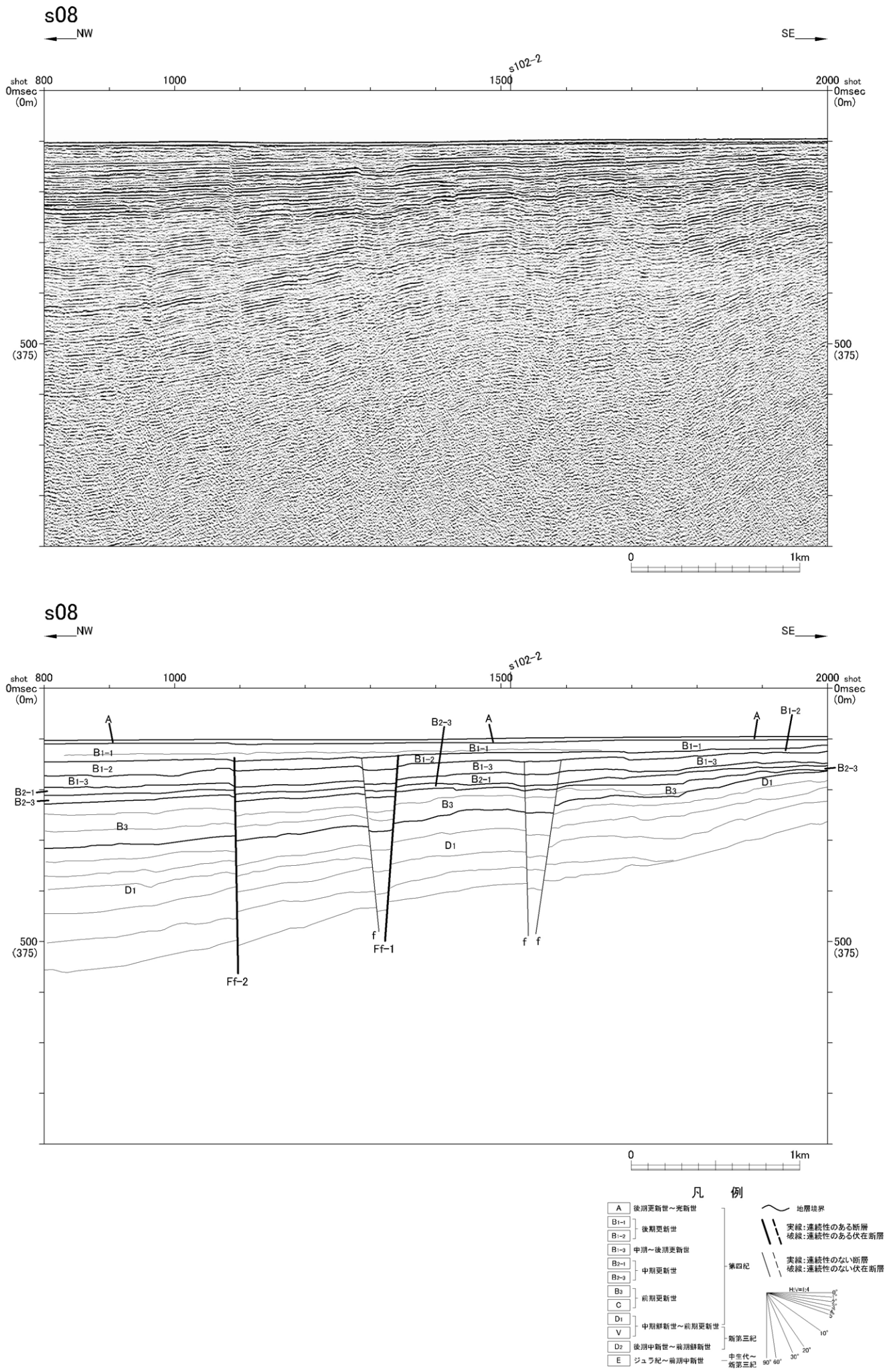
凡　　例

- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力㈱によるマルチチャンネル音波探査測線（ＧＩガン、ウォーターガン）
- 九州電力㈱によるシングルチャンネル音波探査測線（ウォーターガン、スパーカ）

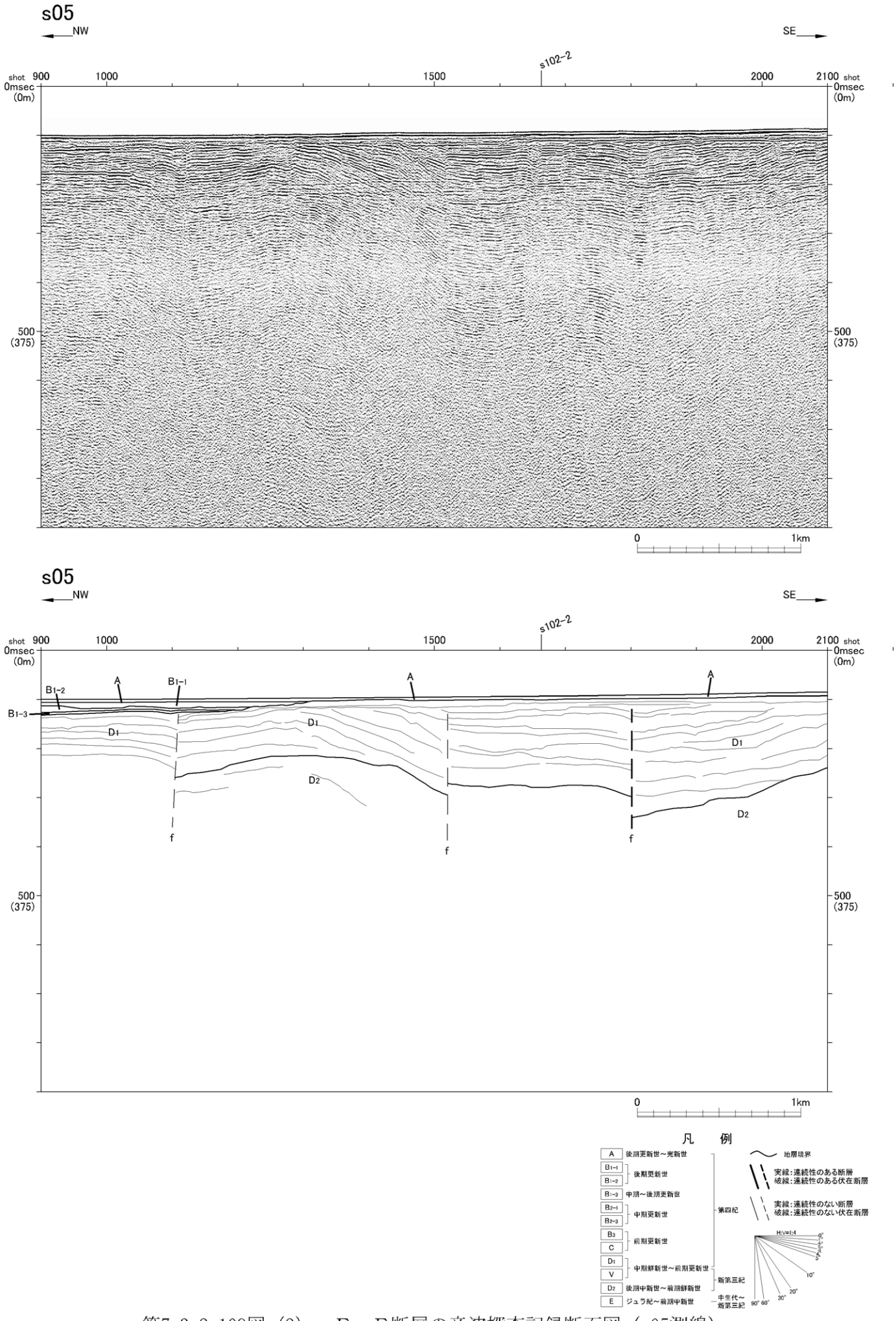


水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤（熊本・鹿児島）を編集したものである。

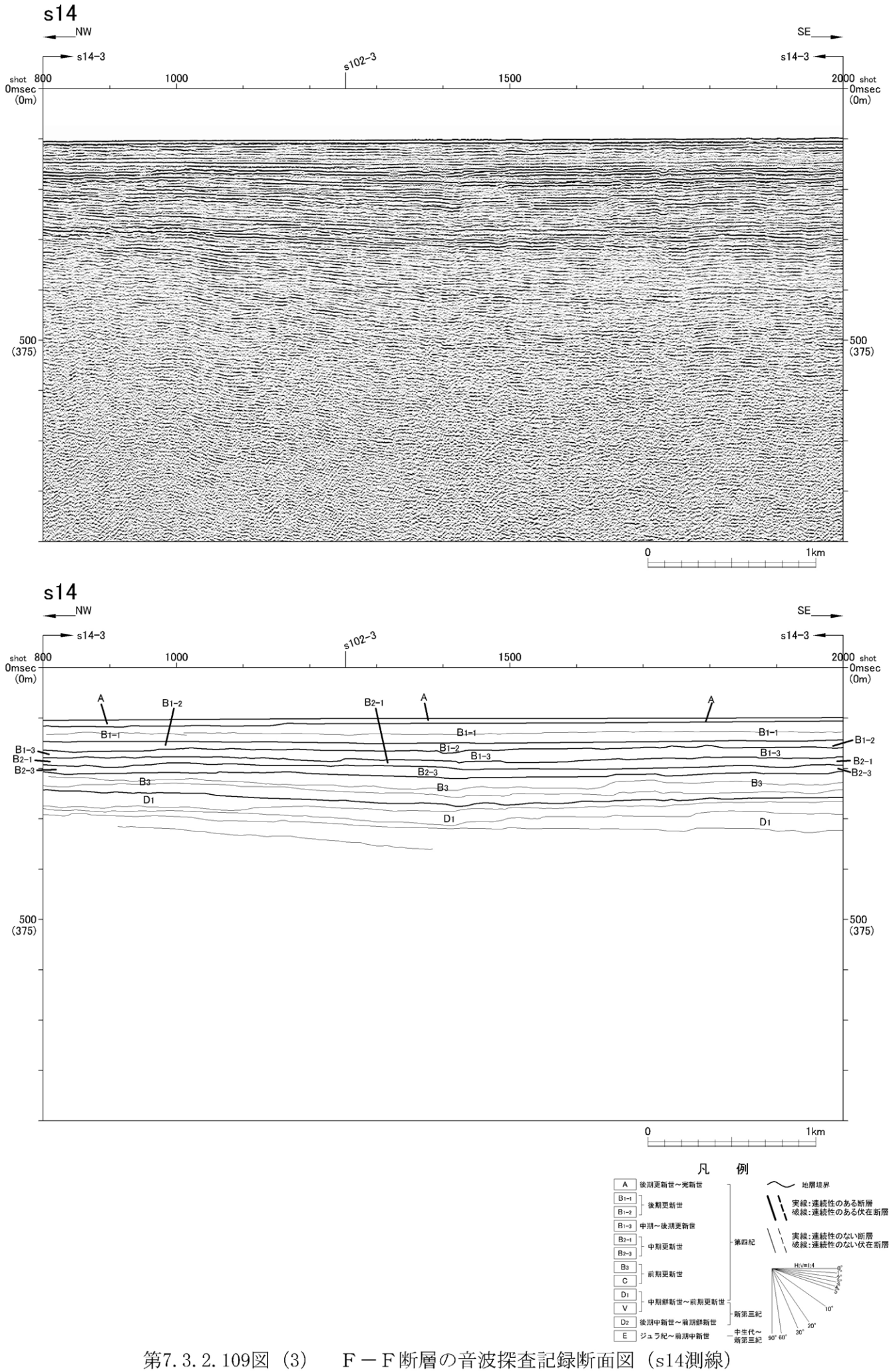
第7.3.2.108図　Ｆ－Ｆ断層位置図



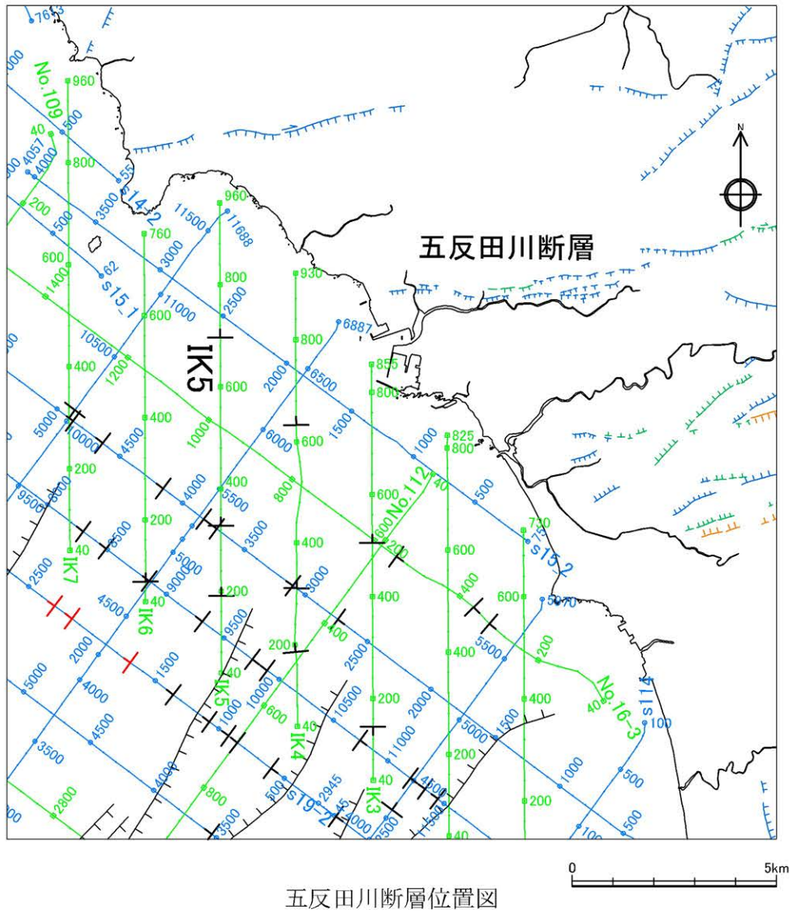
第7.3.2.109図（1）　Ｆ－Ｆ断層の音波探査記録断面図（s08測線）



第7.3.2.109図（2）　Ｆ－Ｆ断層の音波探査記録断面図（s05測線）



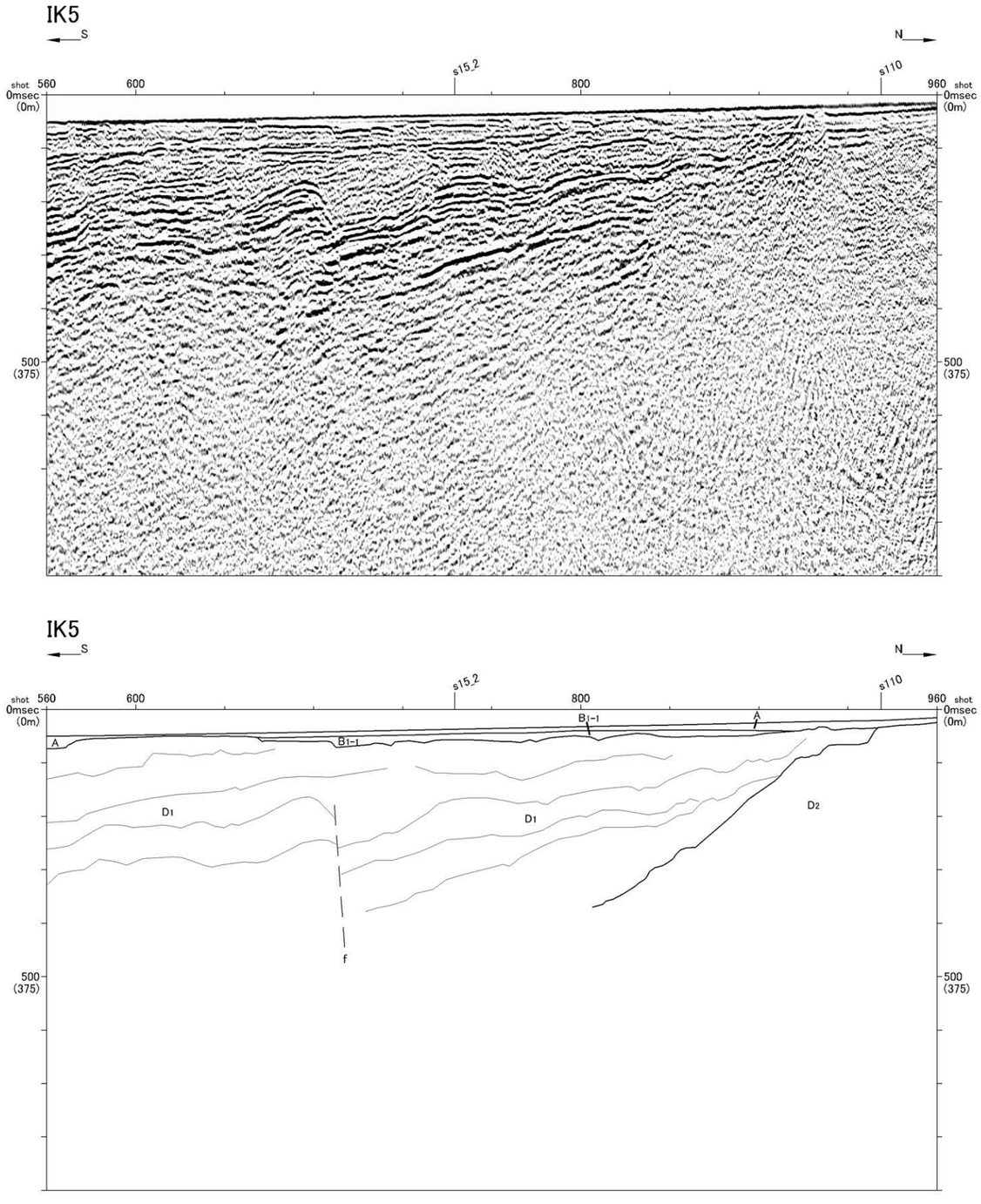
第7.3.2.109図（3）　Ｆ－Ｆ断層の音波探査記録断面図（s14測線）



五反田川断層位置図

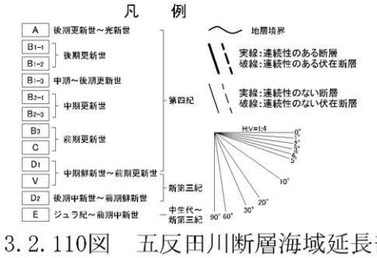
凡　　例

- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力㈱によるマルチチャンネル音波探査測線（ＧＩガン、ウォーターガン）
- 九州電力㈱によるシングルチャンネル音波探査測線（ウォーターガン、スパーカ）
- L_Bリニアメント
- L_Cリニアメント
- L_Dリニアメント

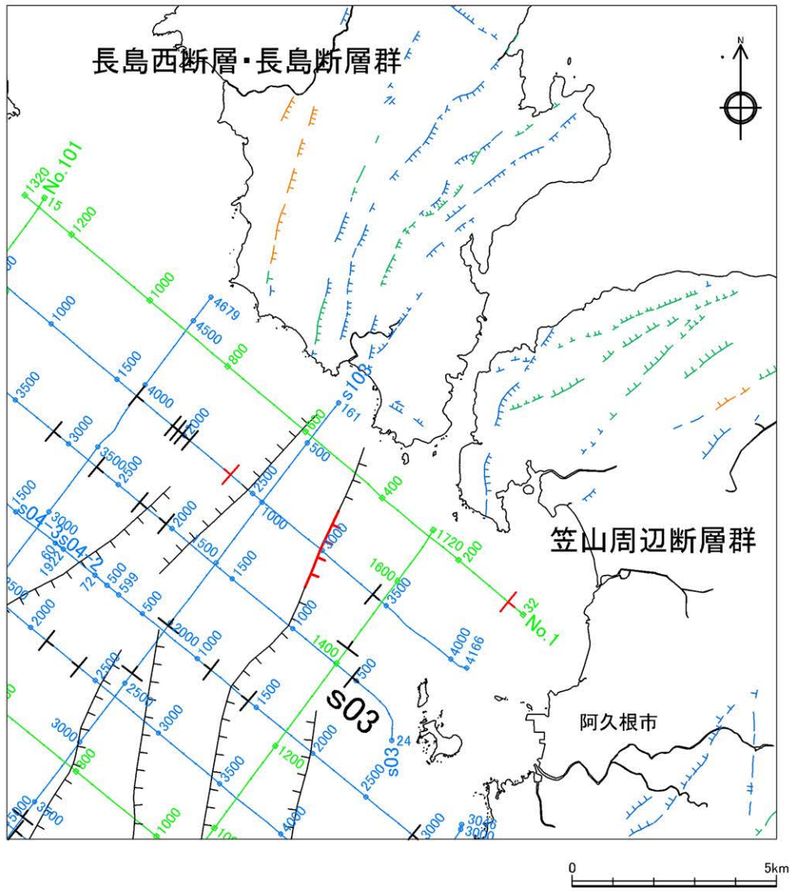


音波探査記録断面図

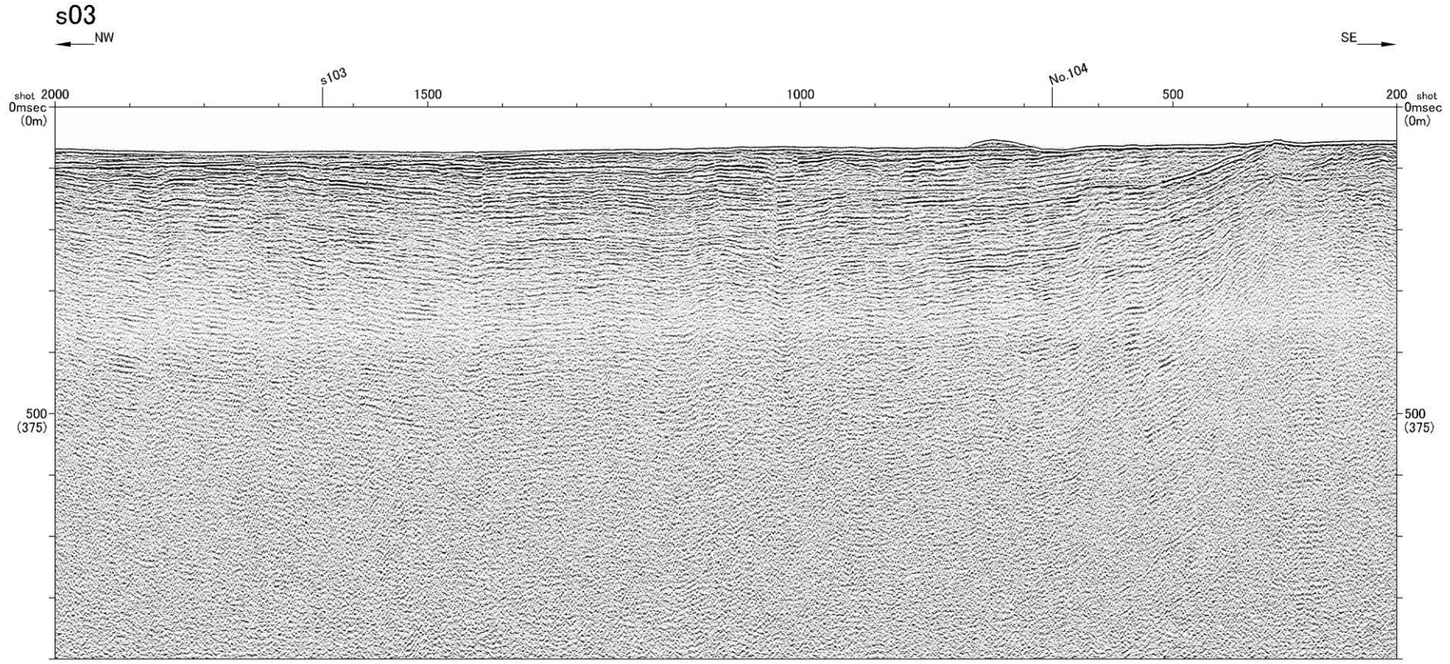
水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤（鹿児島）を編集したものである。

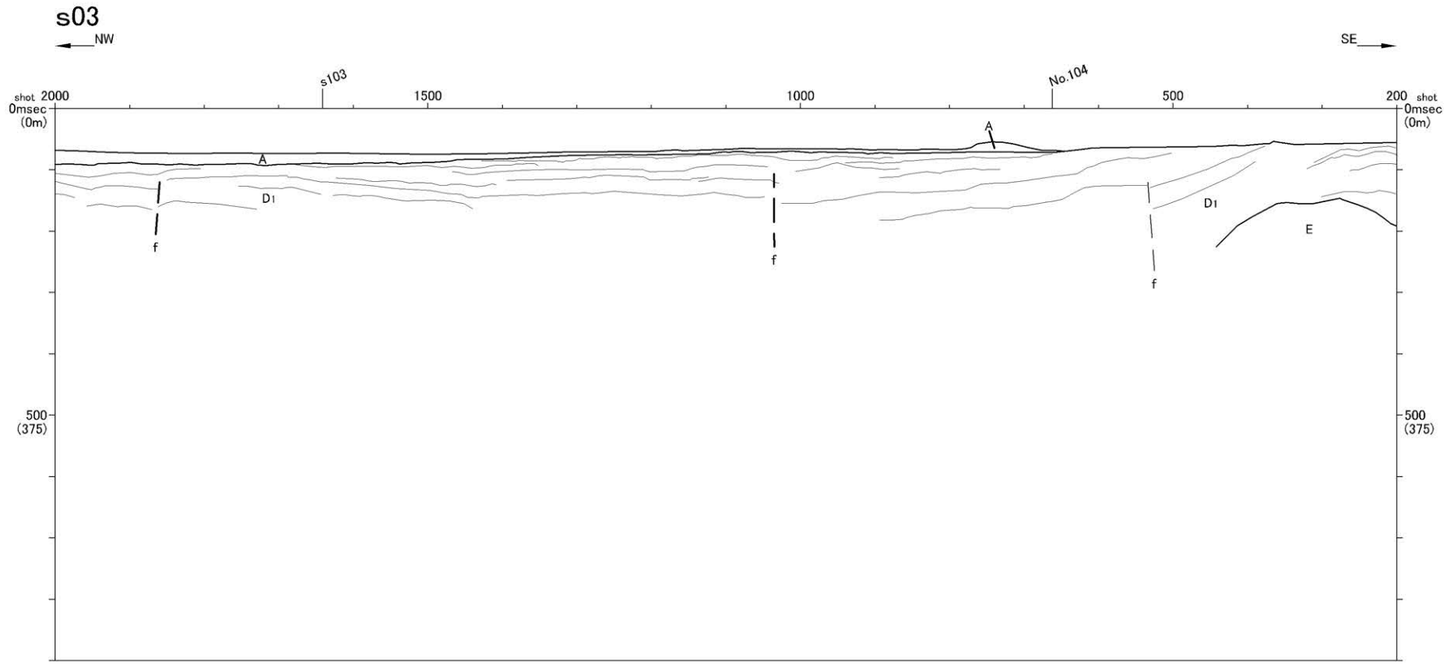


第7.3.2.110図　五反田川断層海域延長部（IK5測線）



長島西断層・長島断層、笠山周辺断層位置図

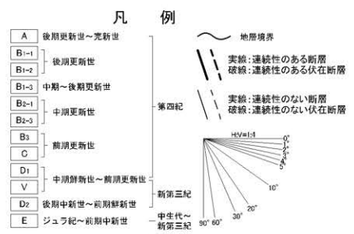




音波探査記録断面図

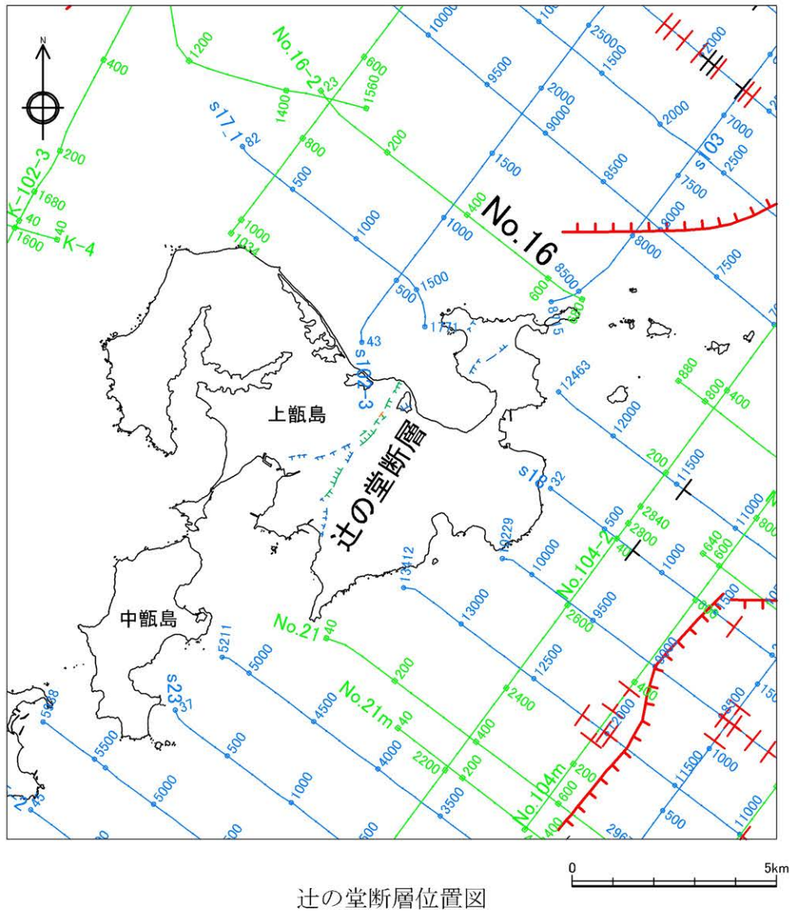
凡　例

- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力㈱によるマルチチャンネル音波探査測線（ＧＩガン、ウォーターガン）
- 九州電力㈱によるシングルチャンネル音波探査測線（ウォーターガン、スパーカ）
- L_Bリニアメント
- L_Cリニアメント
- L_Dリニアメント



水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤（熊本・鹿児島）を編集したものである。

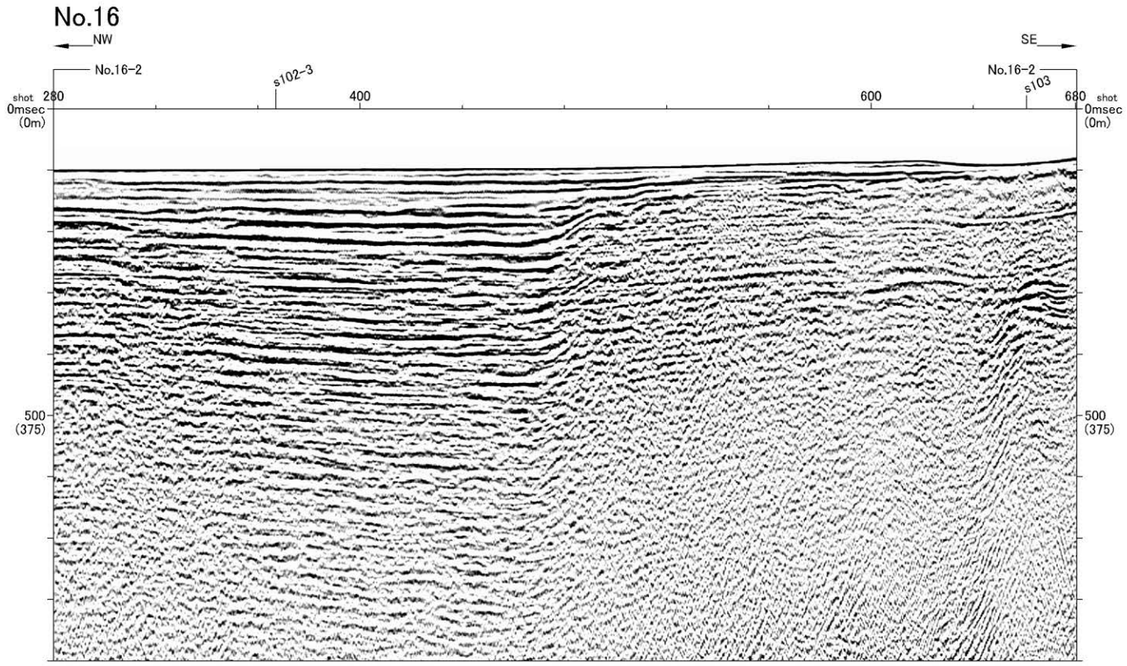
第7.3.2.111図　長島西断層・長島断層群、笠山周辺断層群海域延長部（s03測線）

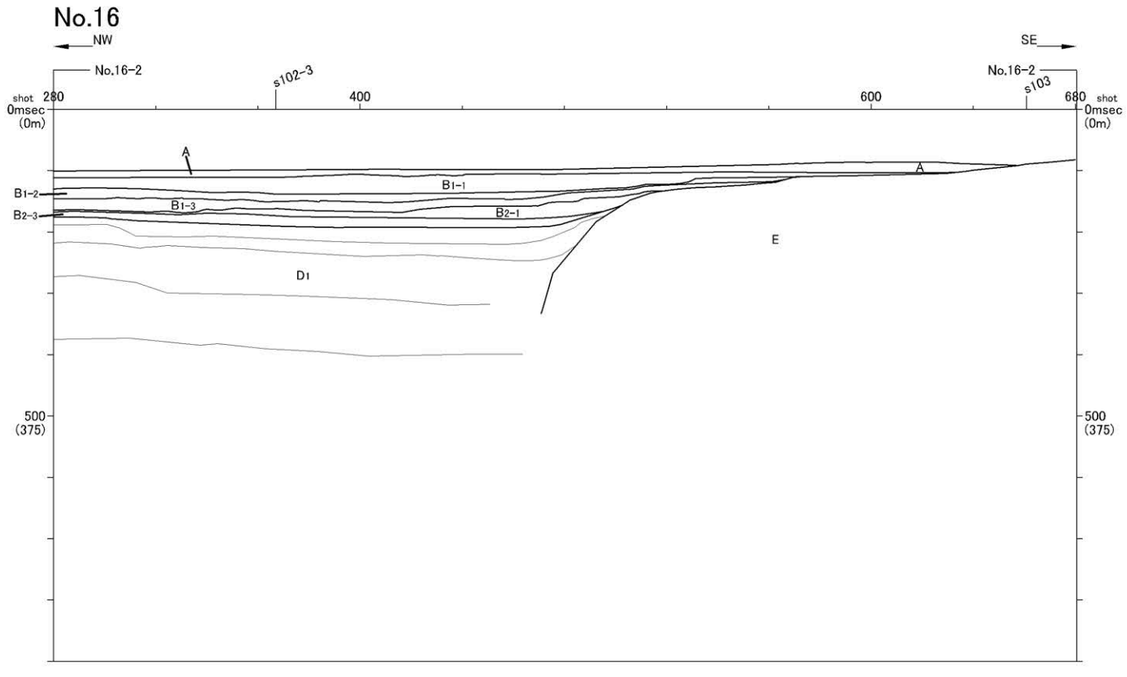


辻の堂断層位置図

凡　　例

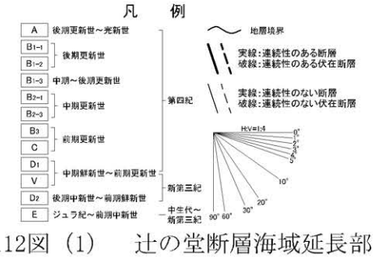
- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力㈱によるマルチチャンネル音波探査測線（ＧＩガン、ウォーターガン）
- 九州電力㈱によるシングルチャンネル音波探査測線（ウォーターガン、スパーカ）
- L_Bリニアメント
- L_Cリニアメント
- L_Dリニアメント



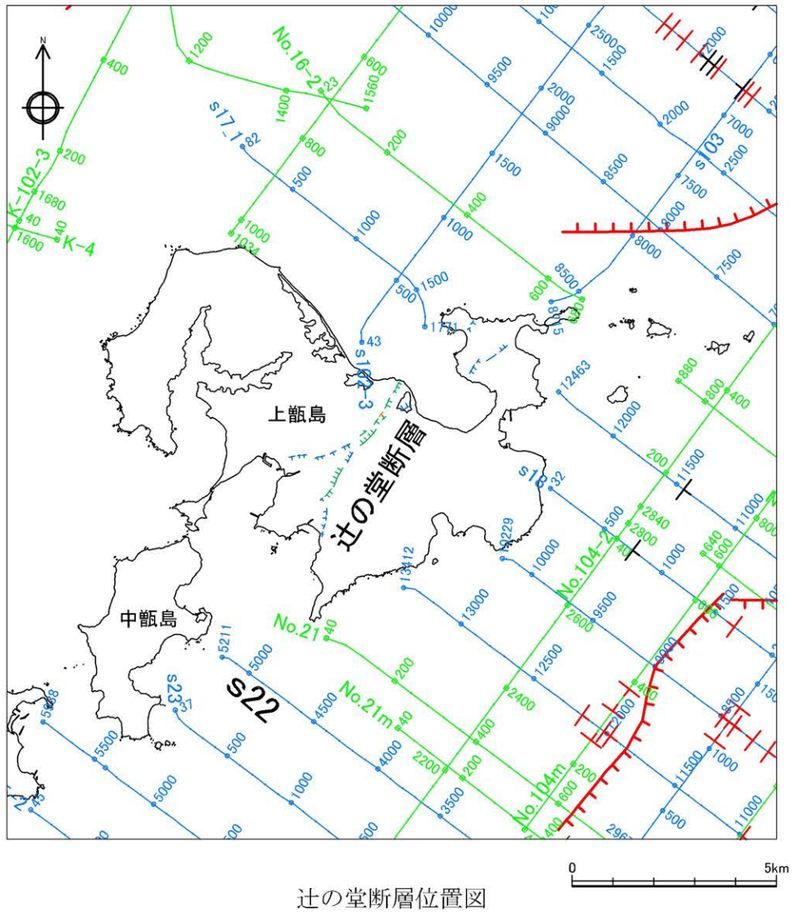


音波探査記録断面図

水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(鹿児島)を編集したものである。



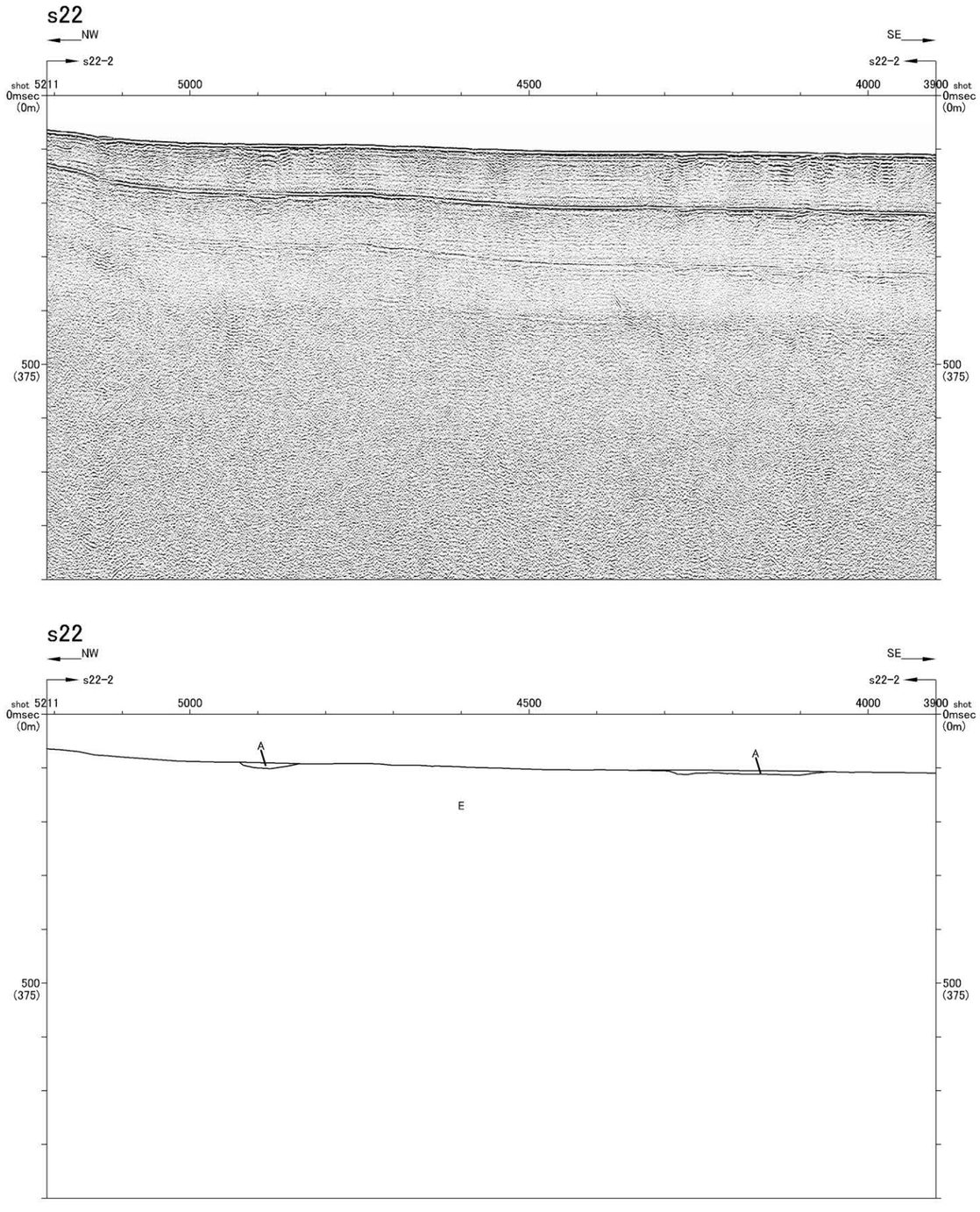
第7.3.2.112図（1）　辻の堂断層海域延長部（No.16測線）



辻の堂断層位置図

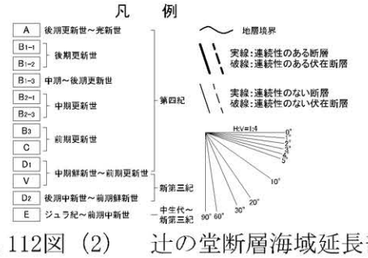
凡　　例

- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力㈱によるマルチチャンネル音波探査測線（ＧＩガン、ウォーターガン）
- 九州電力㈱によるシングルチャンネル音波探査測線（ウォーターガン、スパーカ）
- L_Bリニアメント
- L_Cリニアメント
- L_Dリニアメント

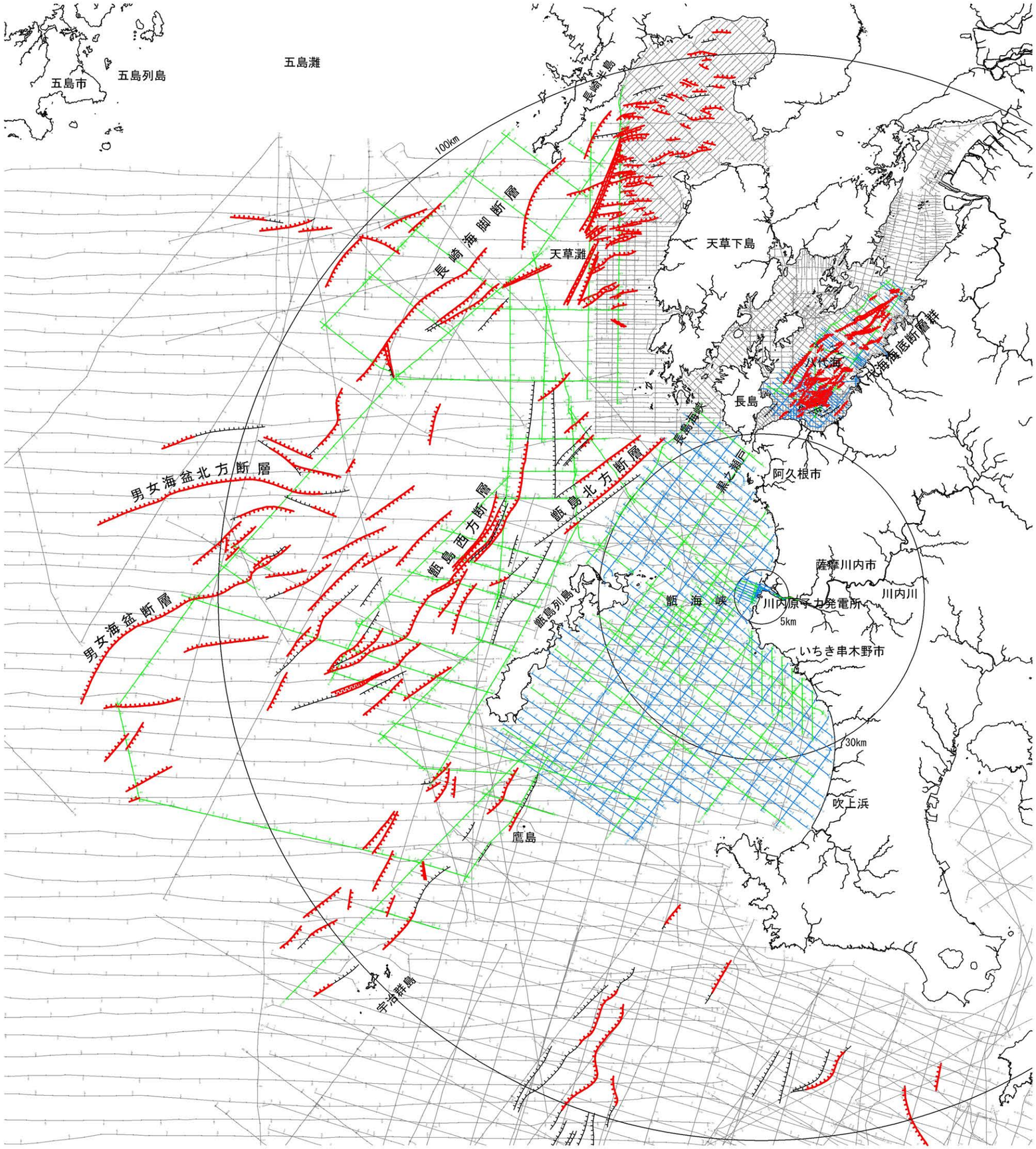


音波探査記録断面図

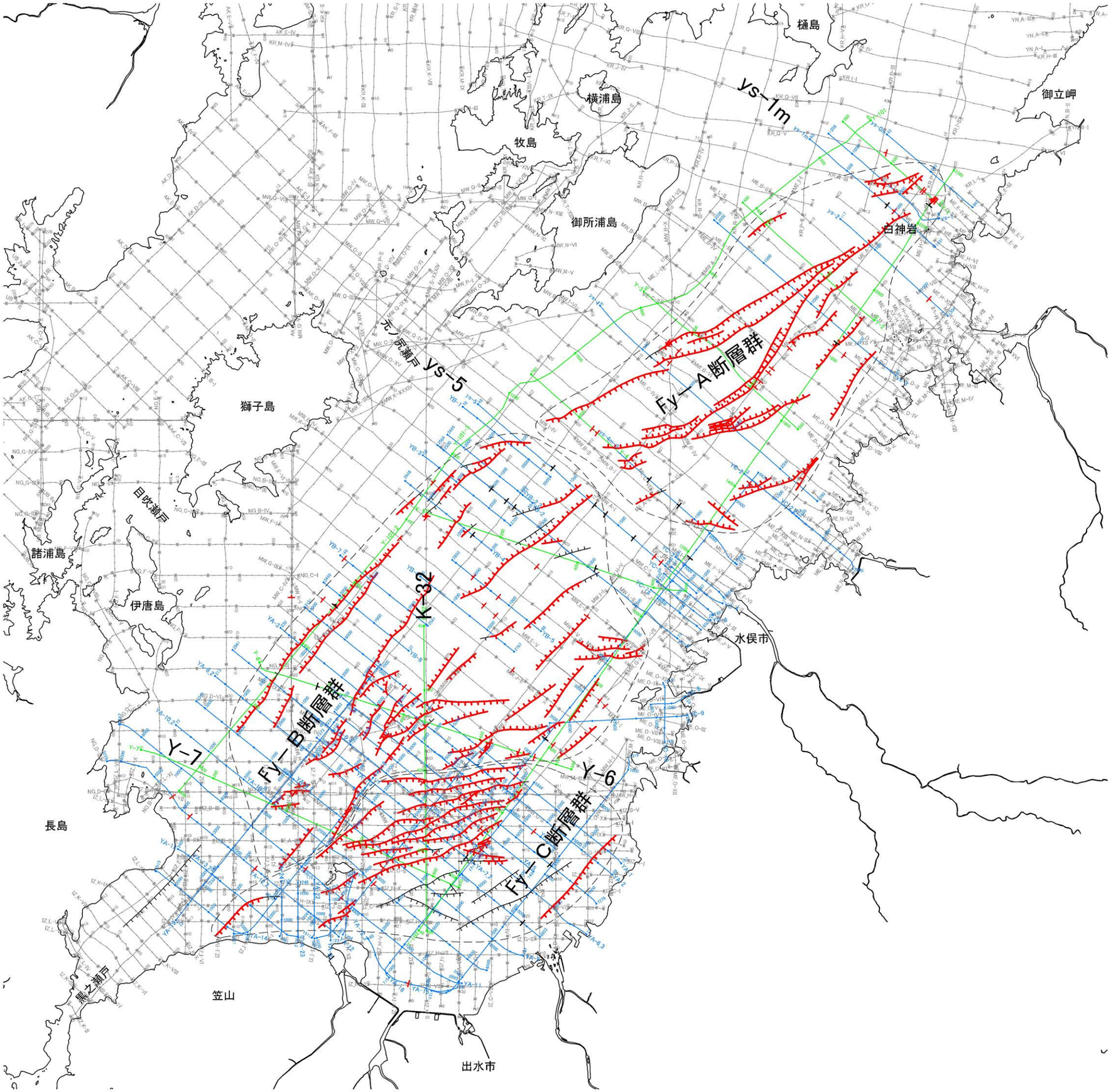
水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(鹿児島)を編集したものである。

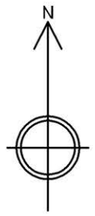


第7.3.2.112図（2）　辻の堂断層海域延長部（s22測線）



第7.3.2.113図　敷地周辺海域の断層分布図





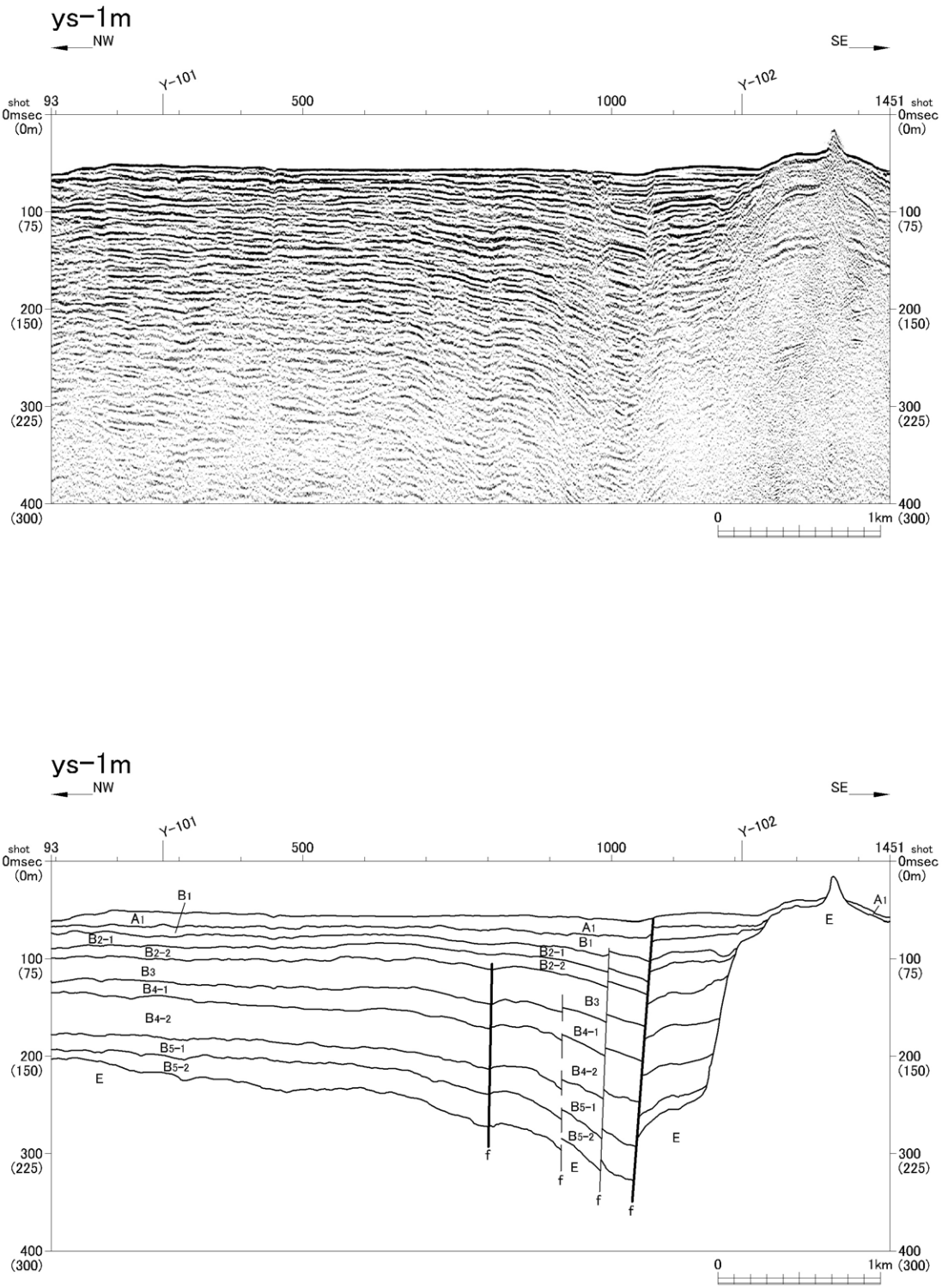
凡　　例

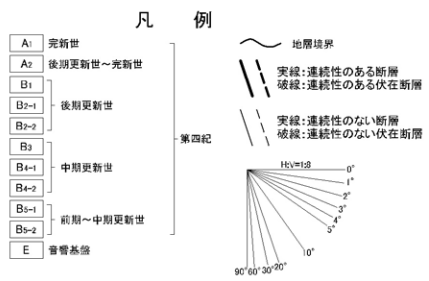
- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力㈱による マルチチャンネル音波探査測線 （ＧＩガン）
- 九州電力㈱による シングルチャンネル音波探査測線 （ウォーターガン、スパーカ）
- 国土地理院による音波探査測線

水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤（熊本・鹿児島）を編集したものである。

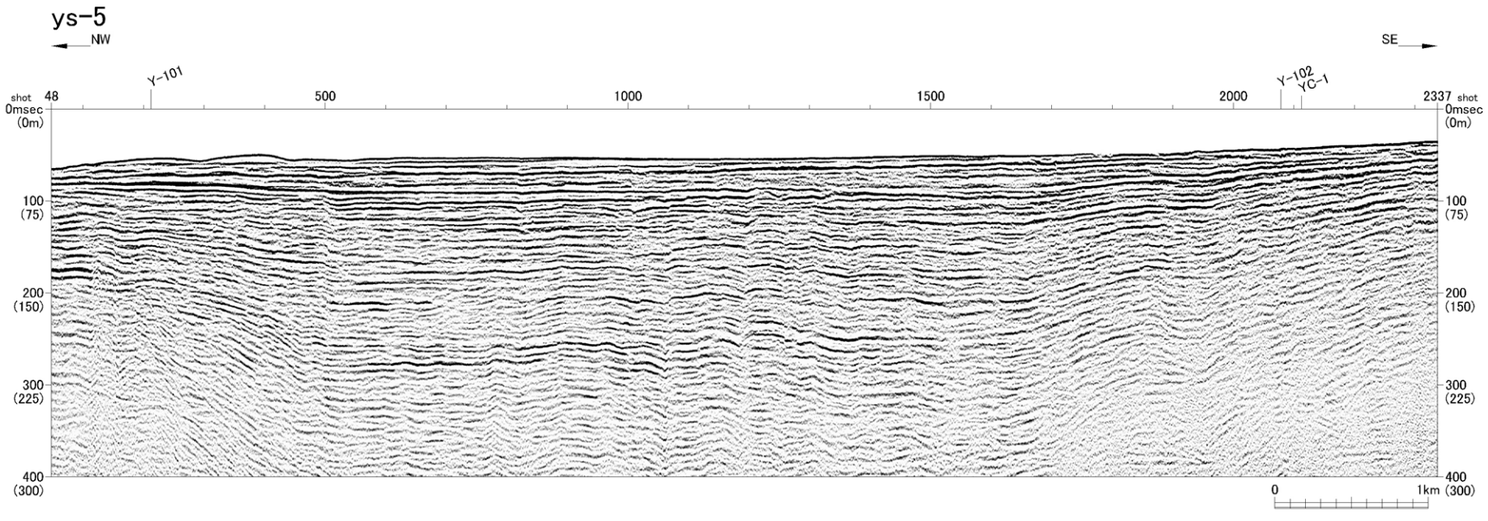
0　5km

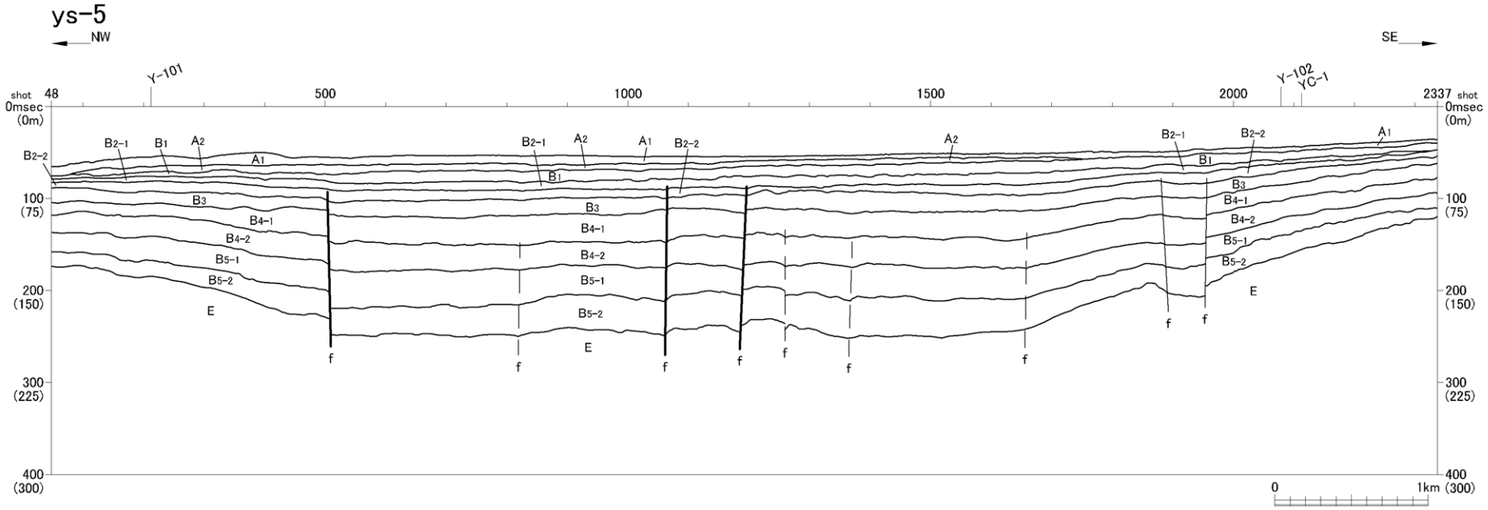
第7.3.2.114図　八代海の断層分布図

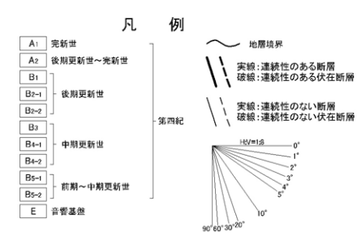




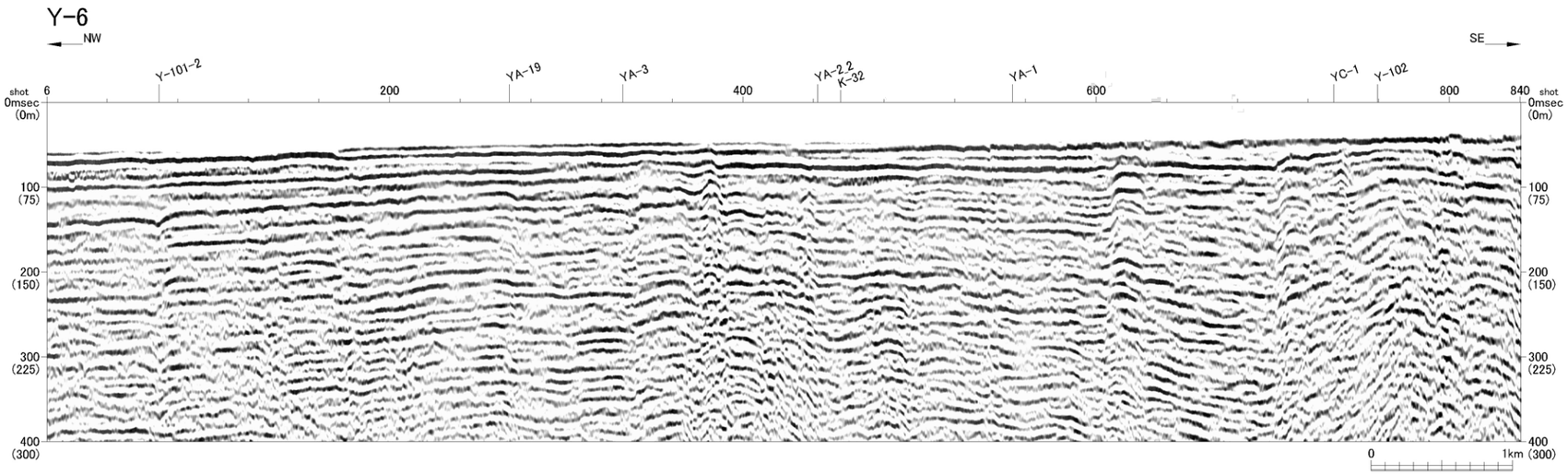
第7.3.2.115図　Fy－A断層群の音波探査記録断面図（ys－1m測線）

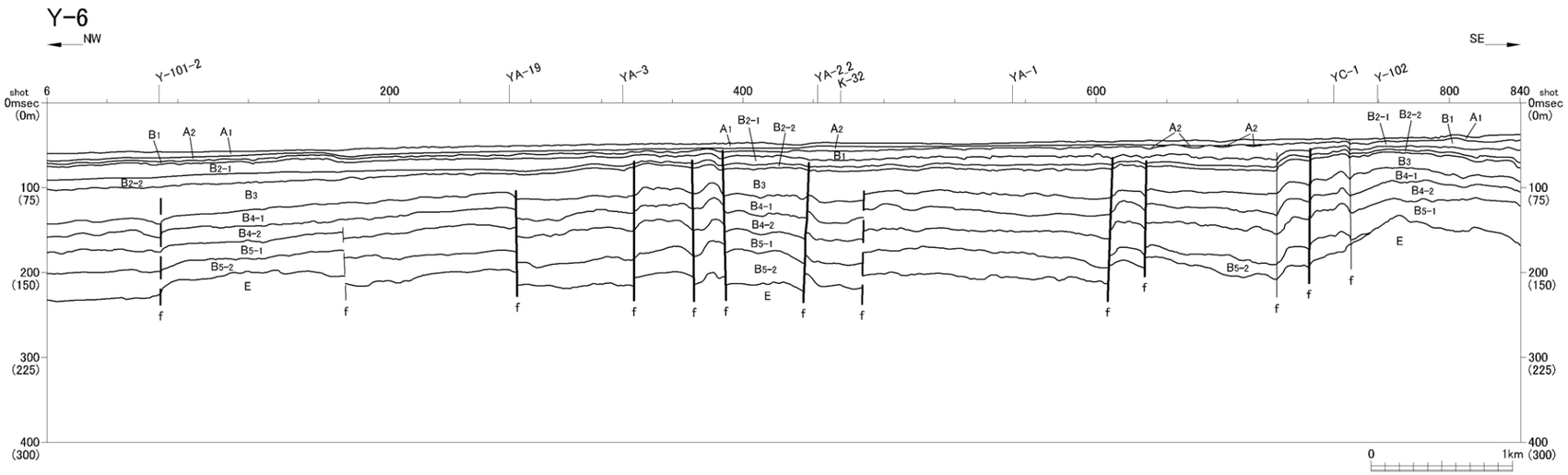


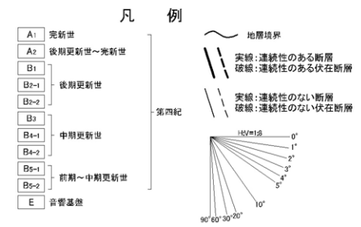




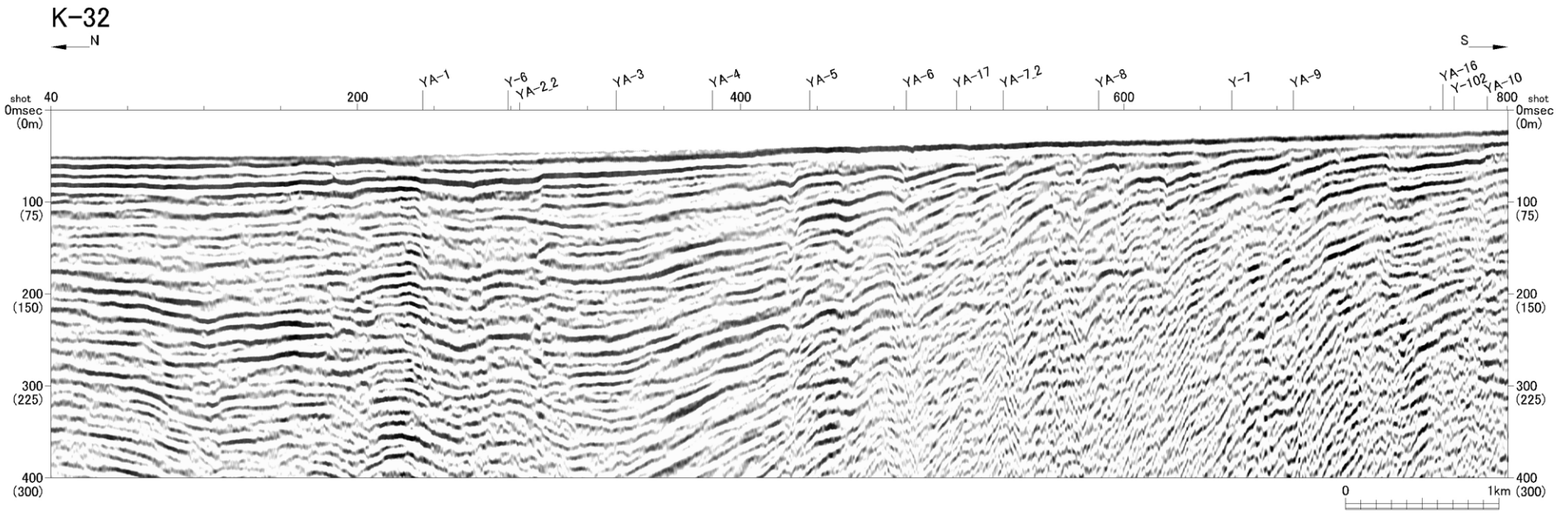
第7.3.2.116図（1）　Fy－Ｂ断層群の音波探査記録断面図（ys－５測線）

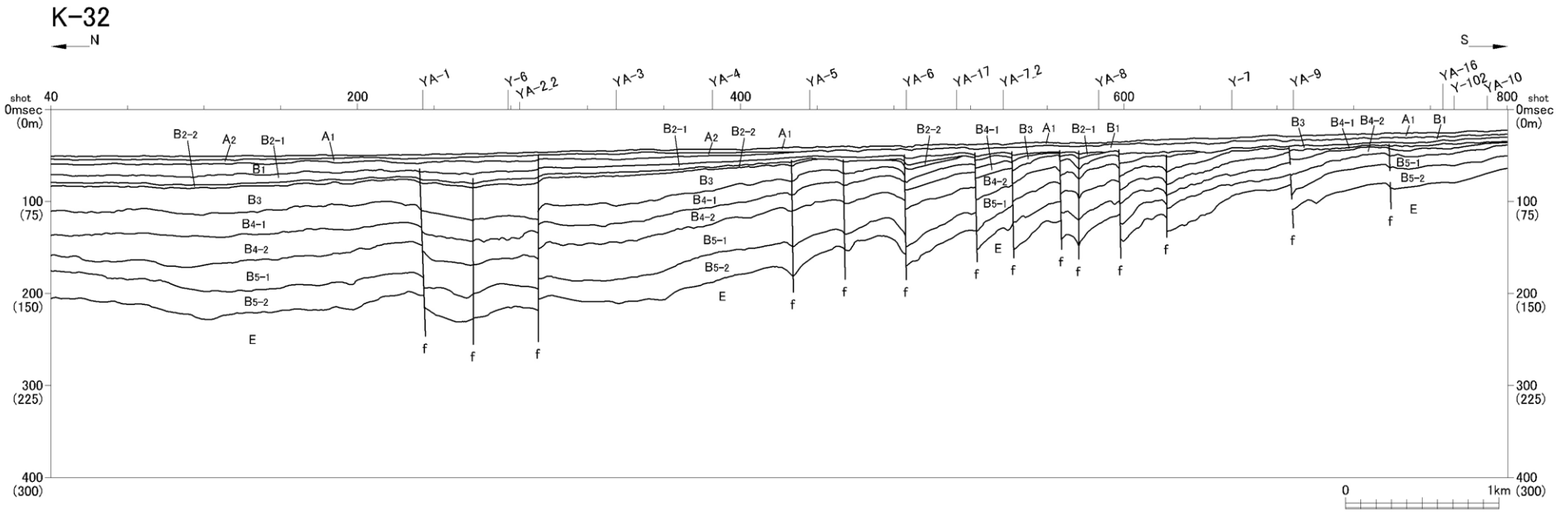


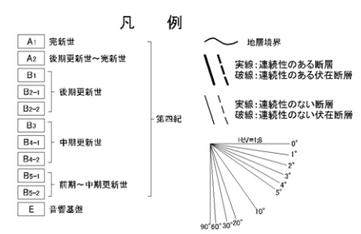




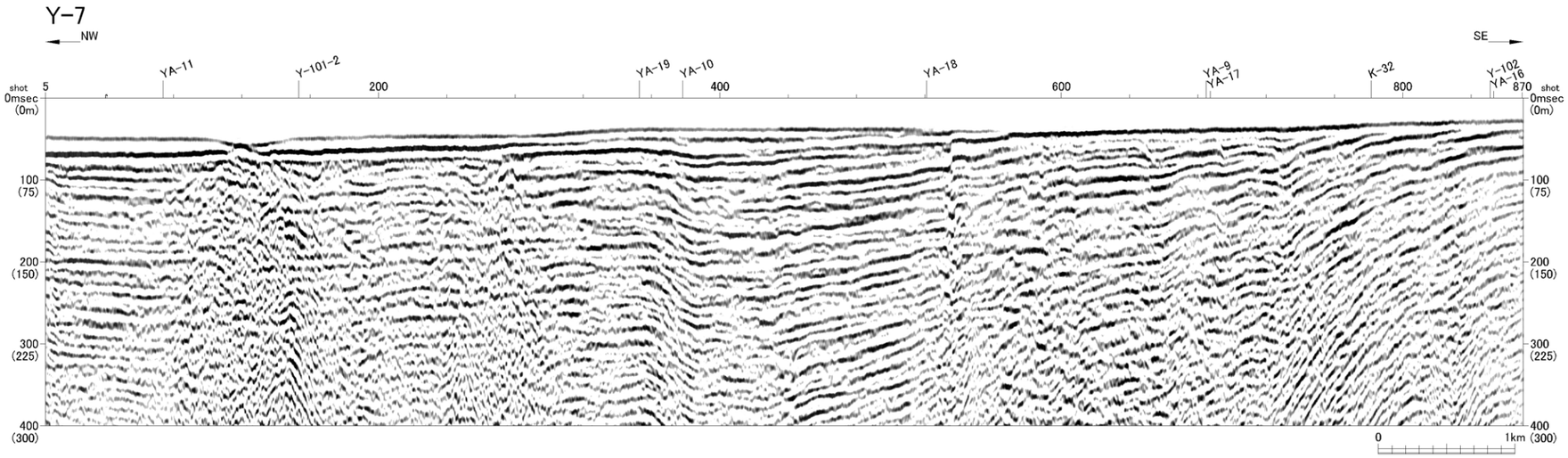
第7.3.2.116図（2）　Fy－Ｂ断層群の音波探査記録断面図（Ｙ－６測線）

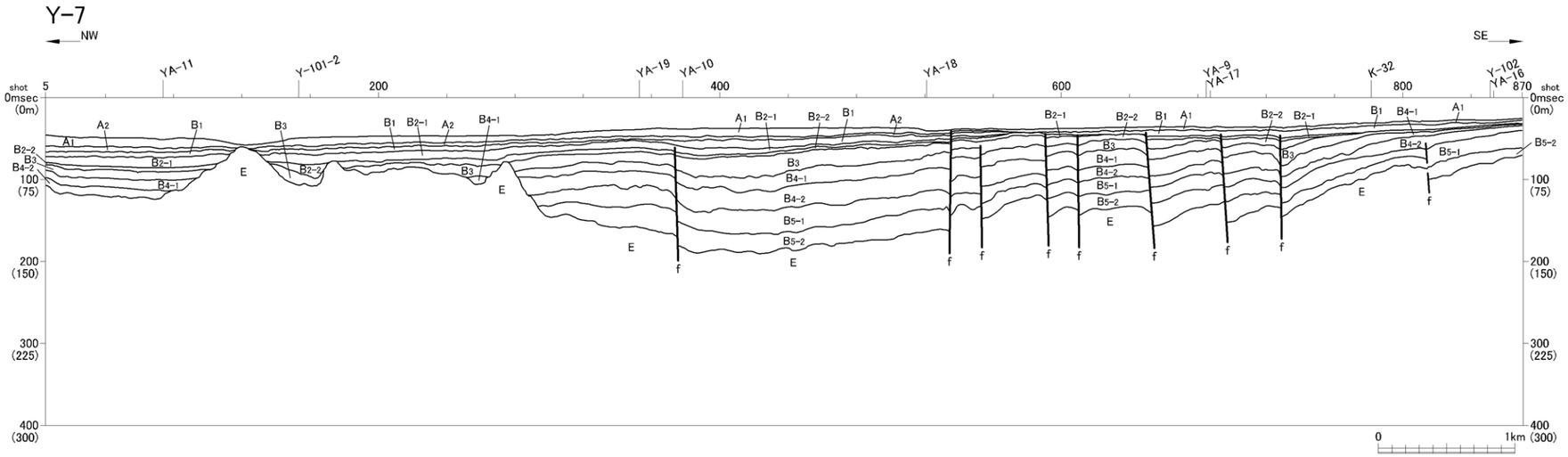


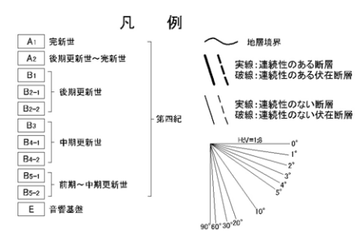




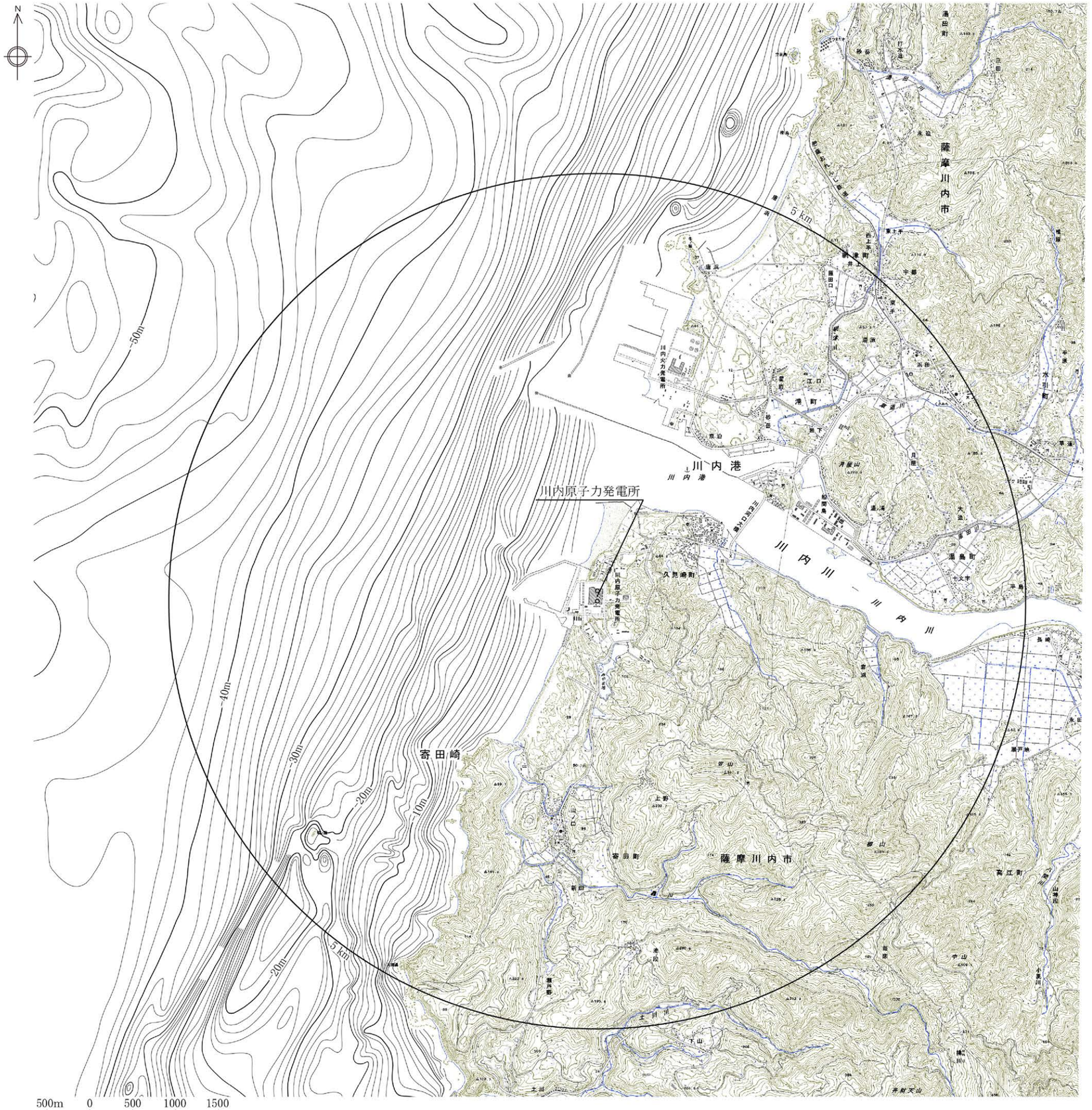
第7.3.2.117図（1）　Fy－C断層群の音波探査記録断面図（K－32測線）





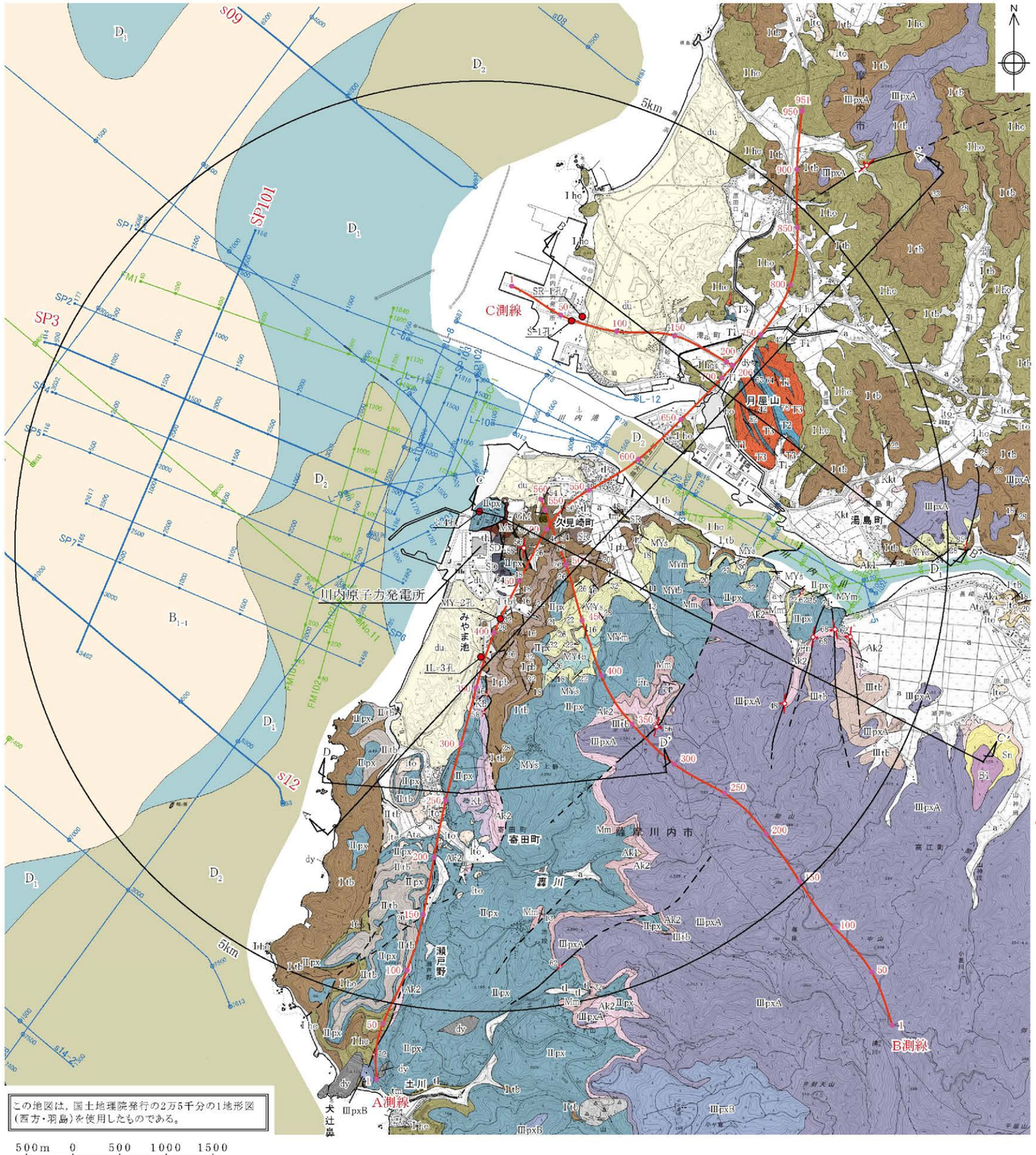


第7.3.2.117図（2）　Fy－C断層群の音波探査記録断面図（Y－7測線）



この陸域の地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図（西方・羽島）を使用したものである。海域の地図は，海上保安庁刊行の5万分の1沿岸の海の基本図（阿久根・串木野）を編集したものである。

第 7.3.3.1 図　敷地近傍の地形図



凡例−陸域

- a 沖積層及び盛土
- 崩壊〜崖錐性堆積物
- du 砂丘堆積物
- tl 低位段丘堆積物
- Ito 入戸火砕流堆積物
- Ata 阿多火砕流堆積物
- tm 中位段丘堆積物
- Kkt 加久藤火砕流堆積物
- th 高位段丘堆積物
- Bt 川内玄武岩1（溶岩）｝川内玄武岩類
- Sn 川内火砕流堆積物
- dy 貫入岩類
- Kr 倉野火砕流堆積物
- IIIpxB 輝石安山岩溶岩B
- IIIpxA 輝石安山岩溶岩A
- IIItb 輝石安山岩質凝灰角礫岩
  } 北薩火山岩類III
- Ak2 阿久根2火砕流堆積物
- Kb 久保野火砕流堆積物
- Fn 舟川火砕流堆積物
- Mm 百次火砕流堆積物
- Ak1 阿久根1火砕流堆積物
- IIpx 輝石安山岩溶岩
- IItb 凝灰角礫岩〜火山礫凝灰岩・火山角礫岩
  } 北薩火山岩類II
- MYm 凝灰質泥岩
- MYs 凝灰質砂岩
- MYtb 輝石安山岩質凝灰角礫岩・礫岩
  } みやま層
- Ipp 軽石質凝灰角礫岩
- Itb 火山・凝灰角礫岩
- Ihe 角閃石安山岩溶岩
  } 北薩火山岩類I
- SR 滄浪層
- GM 久見崎層
- SD 川内層
- Mx 混在岩
- TS チャート
- TC 石灰岩
- TM 砂岩・粘板岩
  } 月屋山層
  } 秩父層群
- 断 層(破線は推定，点線は伏在)
- 50 断層面の走向・傾斜
- 10 層理面の走向・傾斜
- 地質断面位置
- 200 反射法地震探査解析測線（数字はCMP番号）
- 1−4孔 ボーリング位置・孔番号

凡例−海域

［A層を除いた地質図］

- B_{1-1} B_{1-1}層
- D_1 D_1層
- D_2 D_2層

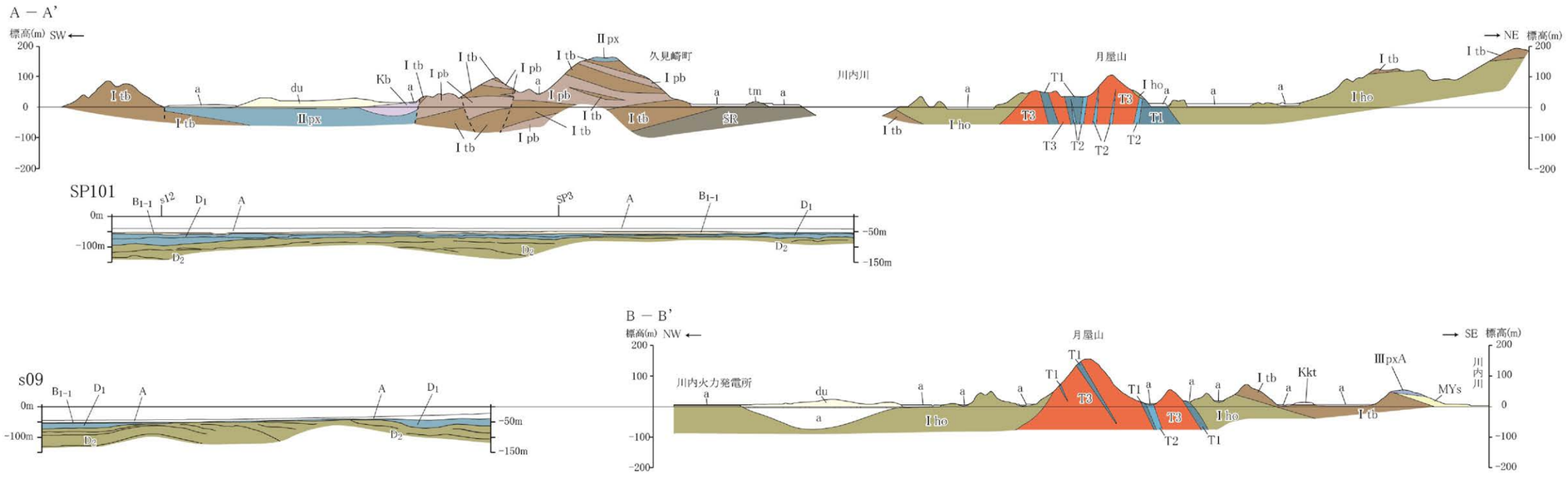
音波探査凡例

- 九州電力㈱によるシングルチャンネル音波探査（ウォーターガン，スパーカ）
- 九州電力㈱による6chマルチチャンネル音波探査（ウォーターガン）

地質時代				陸域の地質	海域の地層
新生代	第四紀	完新世		沖積層・砂丘堆積物など	A 層
		更新世	後期	入戸火砕流堆積物	B_{1-1}層
				阿多火砕流堆積物など	
			中期	加久藤火砕流堆積物など	
			前期		
	新第三紀	鮮新世		北薩火山岩類II・III*	D_1層
		中新世		北薩火山岩類I	D_2層
中生代	白亜紀			秩父層群	E 層
	ジュラ紀				

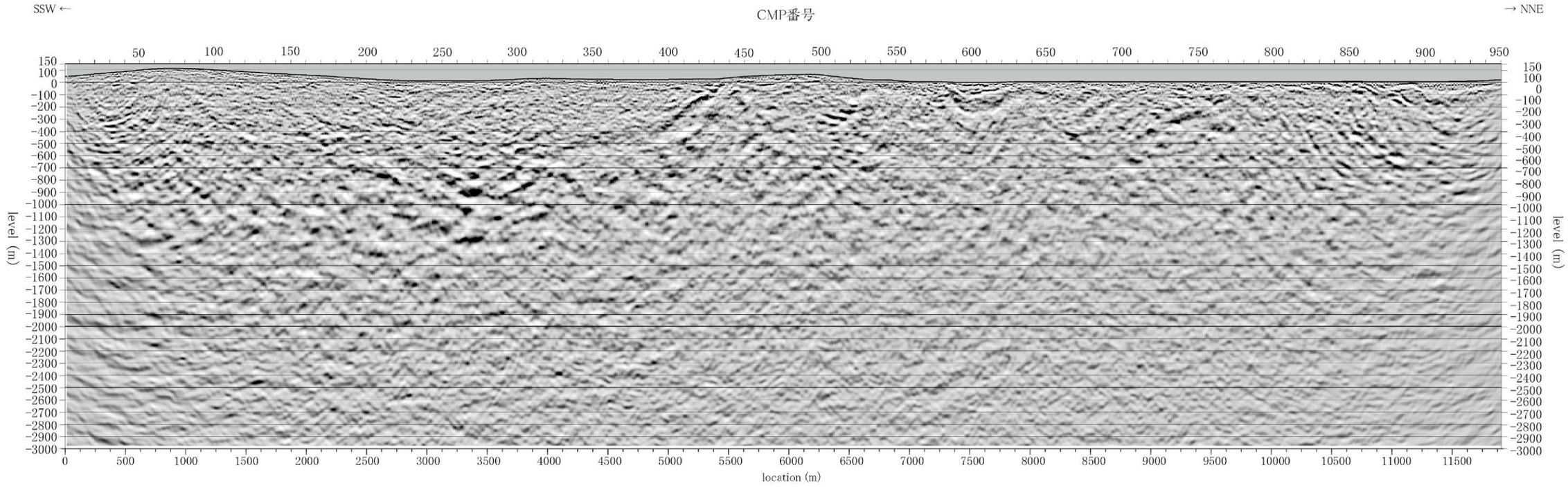
*: 阿久根2火砕流堆積物，久保野火砕流堆積物，舟川火砕流堆積物及び百次火砕流堆積物を含む。

第 7.3.3.2 図　敷地近傍の地質図



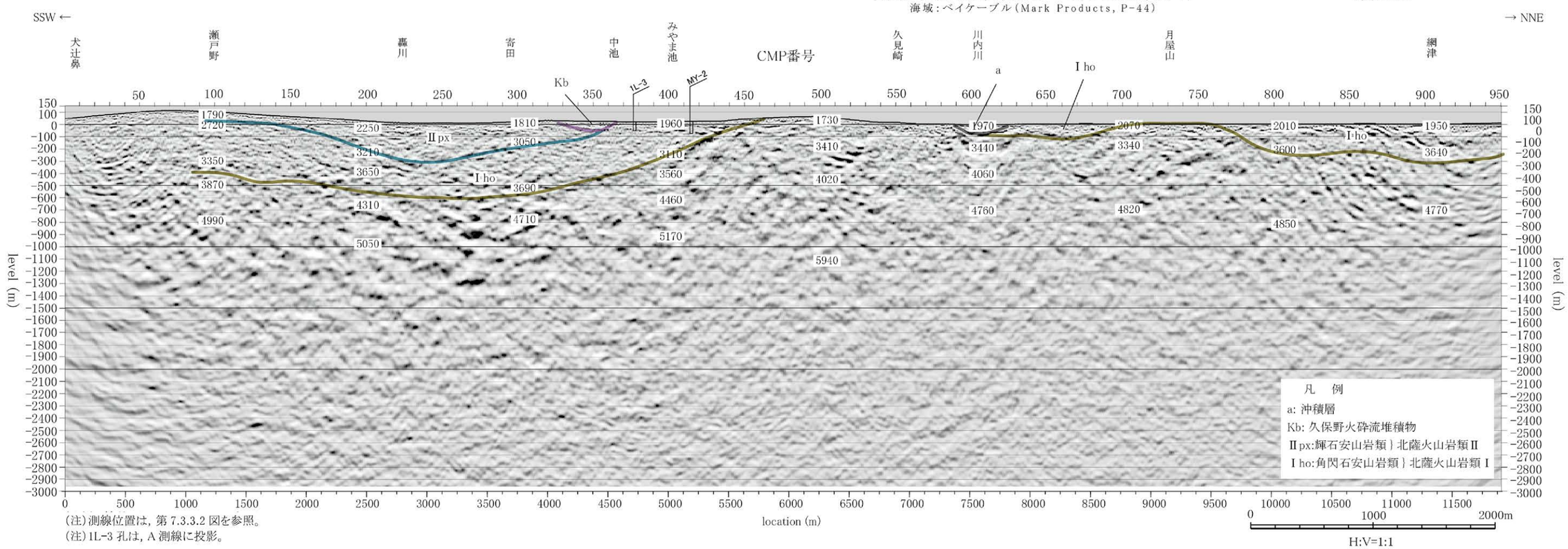
（注）凡例は、第 7.3.3.2 図を参照。

第 7.3.3.3 図　敷地近傍の地質断面図



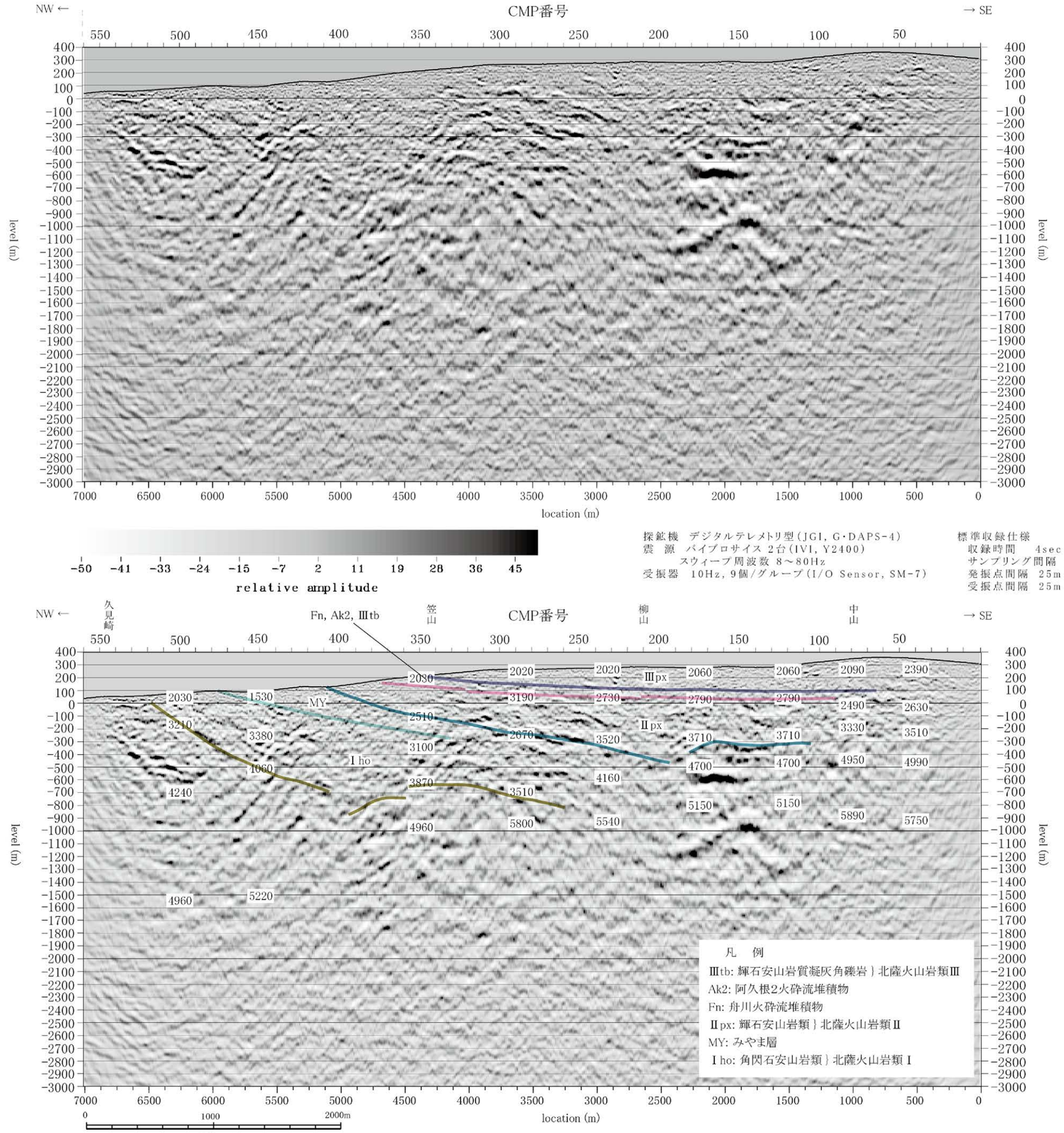
探鉱機　デジタルテレメトリ型（JGI, G･DAPS-4）
震　源　陸域：バイブロサイス 2台（IVI, Y2400）
スウィープ周波数 8～80Hz
油圧インパクタ　（補助震源）1台（JGI, JMI-200Ⅱ）
加速式重錘落下，重錘質量 200kg
海域：エアガン（40立方インチ；Bolt）
受振器　陸域：10Hz，9個/グループ（I/O Sensor, SM-7）
海域：ベイケーブル（Mark Products, P-44）

標準収録仕様
収録時間　陸域：4sec
海域：4.5sec
サンプリング間隔　2msec
発振点間隔　25m
受振点間隔　陸域：25m
海域：20m



（注）測線位置は，第 7.3.3.2 図を参照。
（注）1L-3 孔は，A 測線に投影。

第 7.3.3.4 図(1)　反射法地震探査による深度断面とその解釈（A測線）

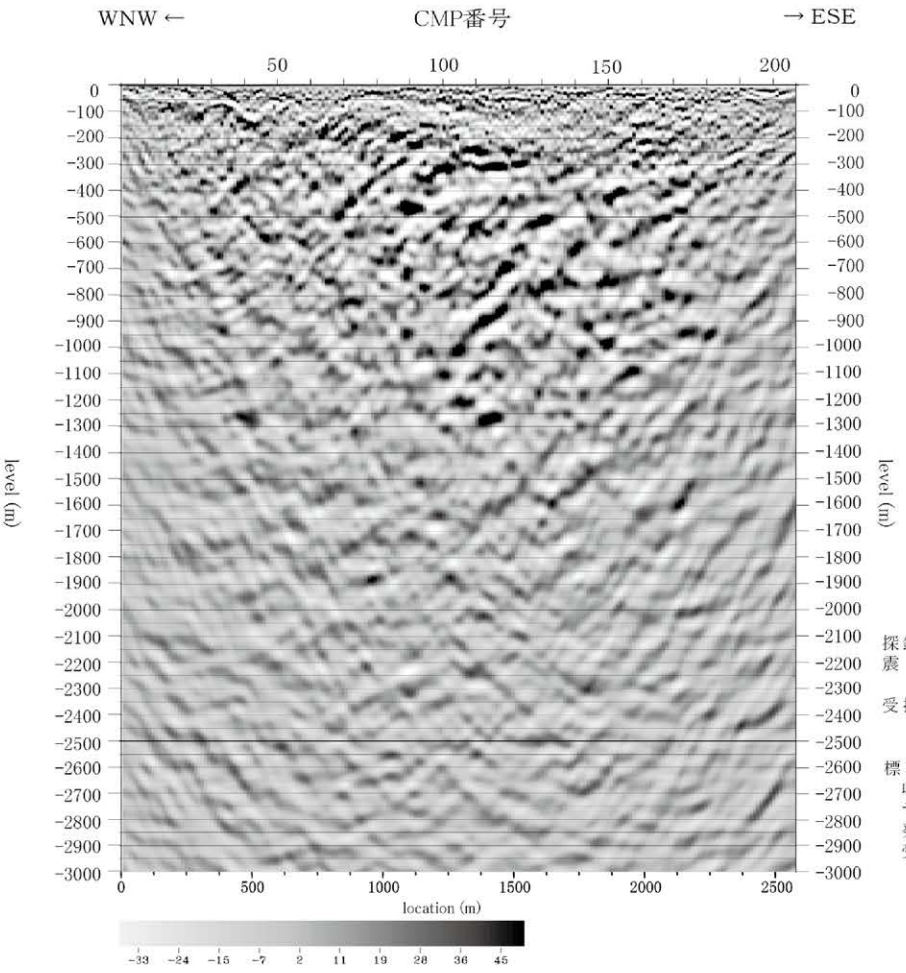


探鉱機　デジタルテレメトリ型(JGI, G･DAPS-4)
震　源　バイブロサイス 2台(IVI, Y2400)
　　スウィープ周波数 8～80Hz
受振器　10Hz, 9個/グループ(I/O Sensor, SM-7)

標準収録仕様
　収録時間　4sec
　サンプリング間隔　2msec
　発振点間隔　25m

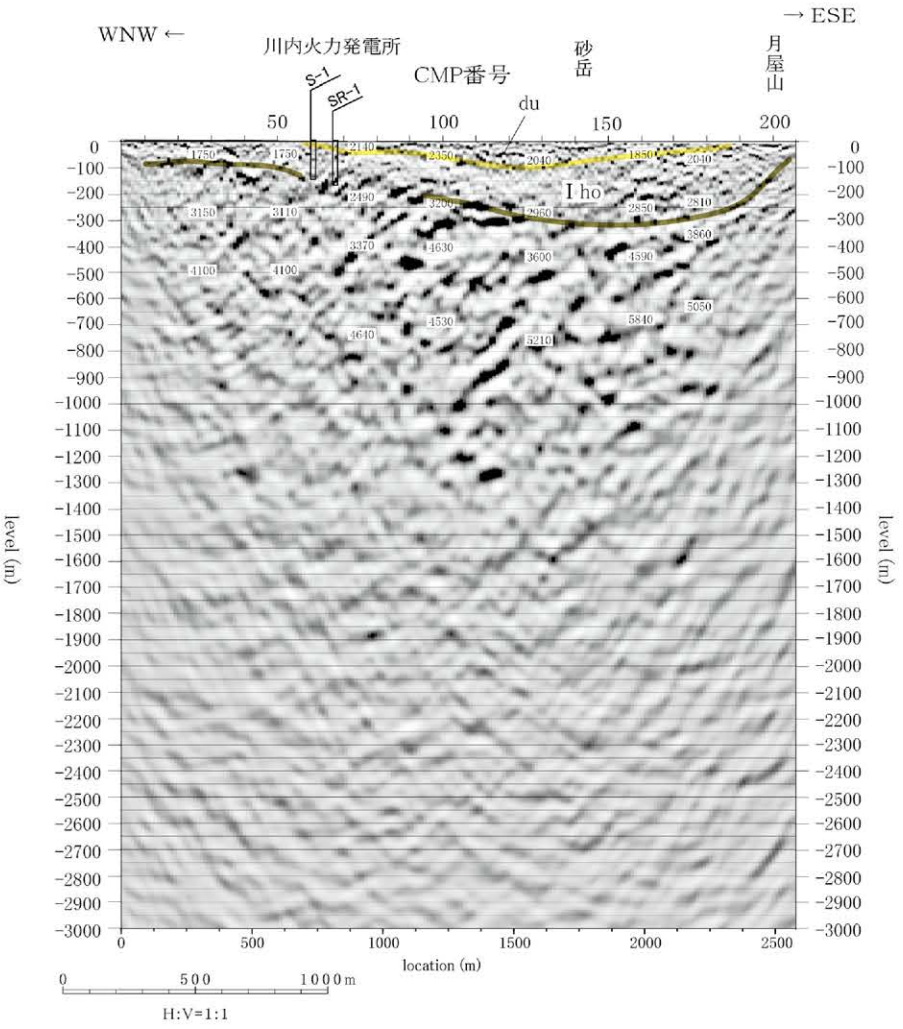
(注)測線位置は，第 7.3.3.2 図を参照。

第 7.3.3.4 図(2)　反射法地震探査による深度断面とその解釈（B測線）



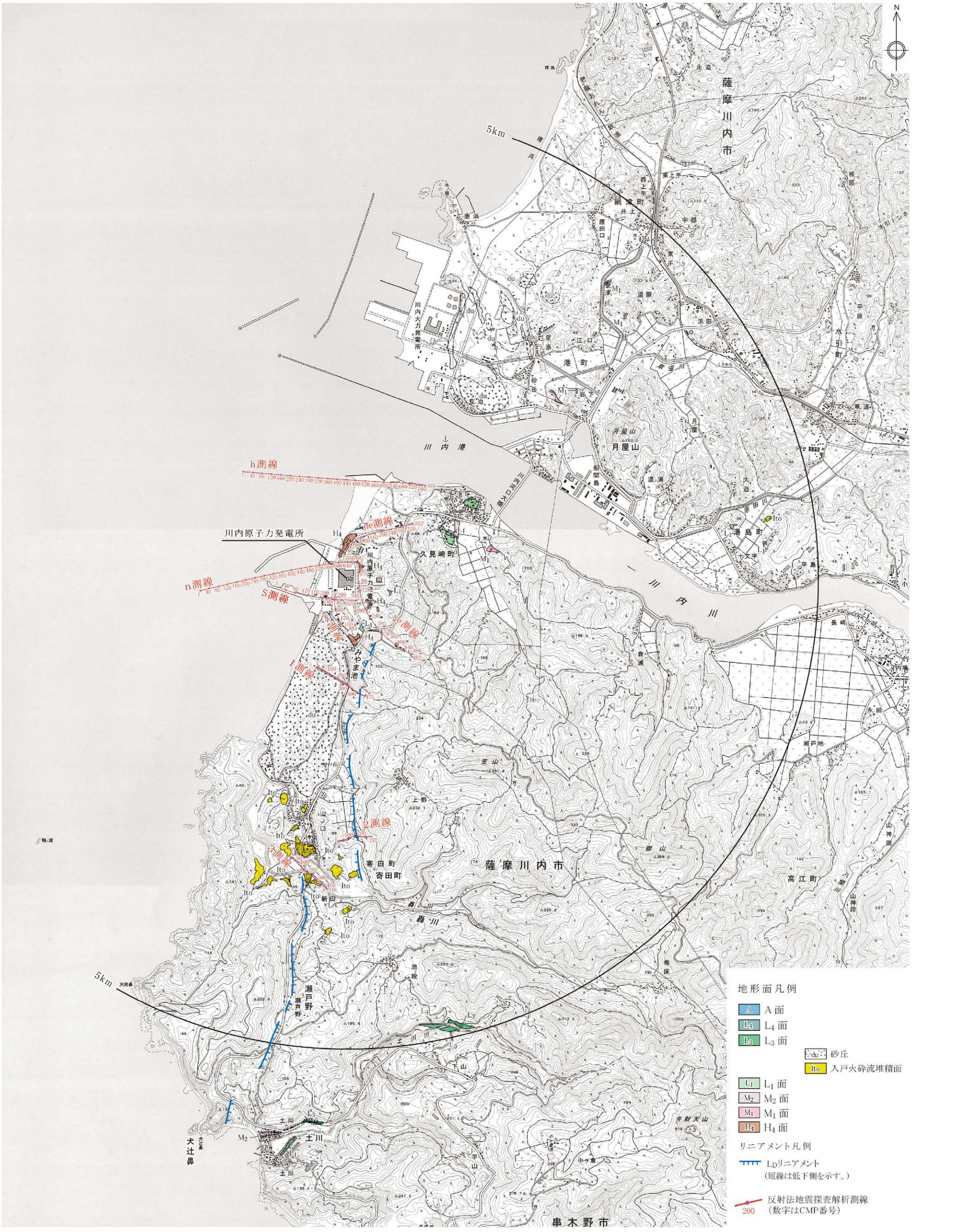
探鉱機　デジタルテレメトリ型（JGI, G・DAPS-4）
震　源　バイブロサイス 2台（IVI, Y2400）
　　スウィープ周波数 8～80Hz
受振器　10Hz, 9個/グループ
　　（I/O Sensor, SM-7）

標準収録仕様
　収録時間　4sec
　サンプリング間隔　2msec
　発振点間隔　25m
　受振点間隔　25m

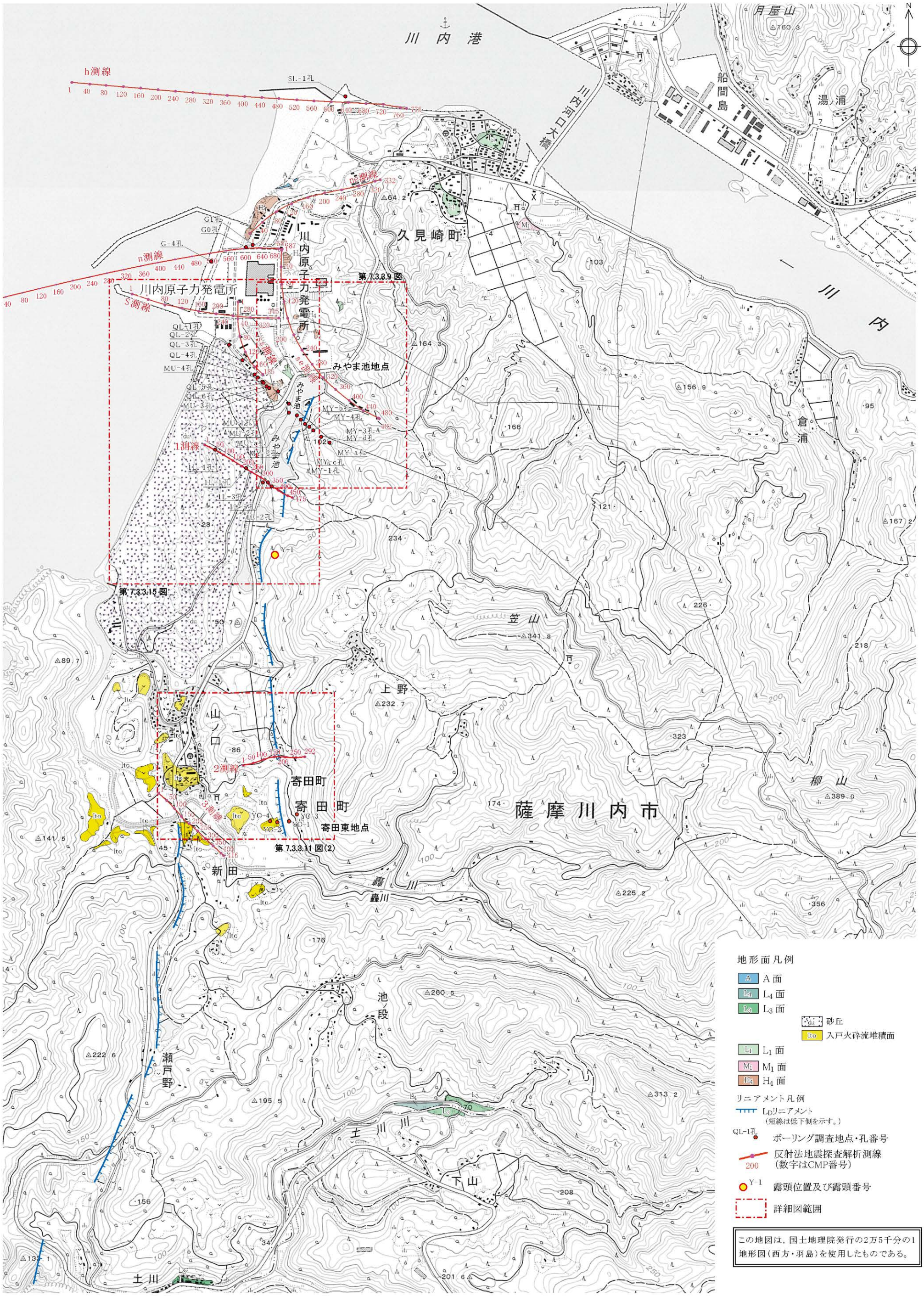


（注）測線位置は，第 7.3.3.2 図を参照。
（注）SR-1 孔は，C測線に投影。

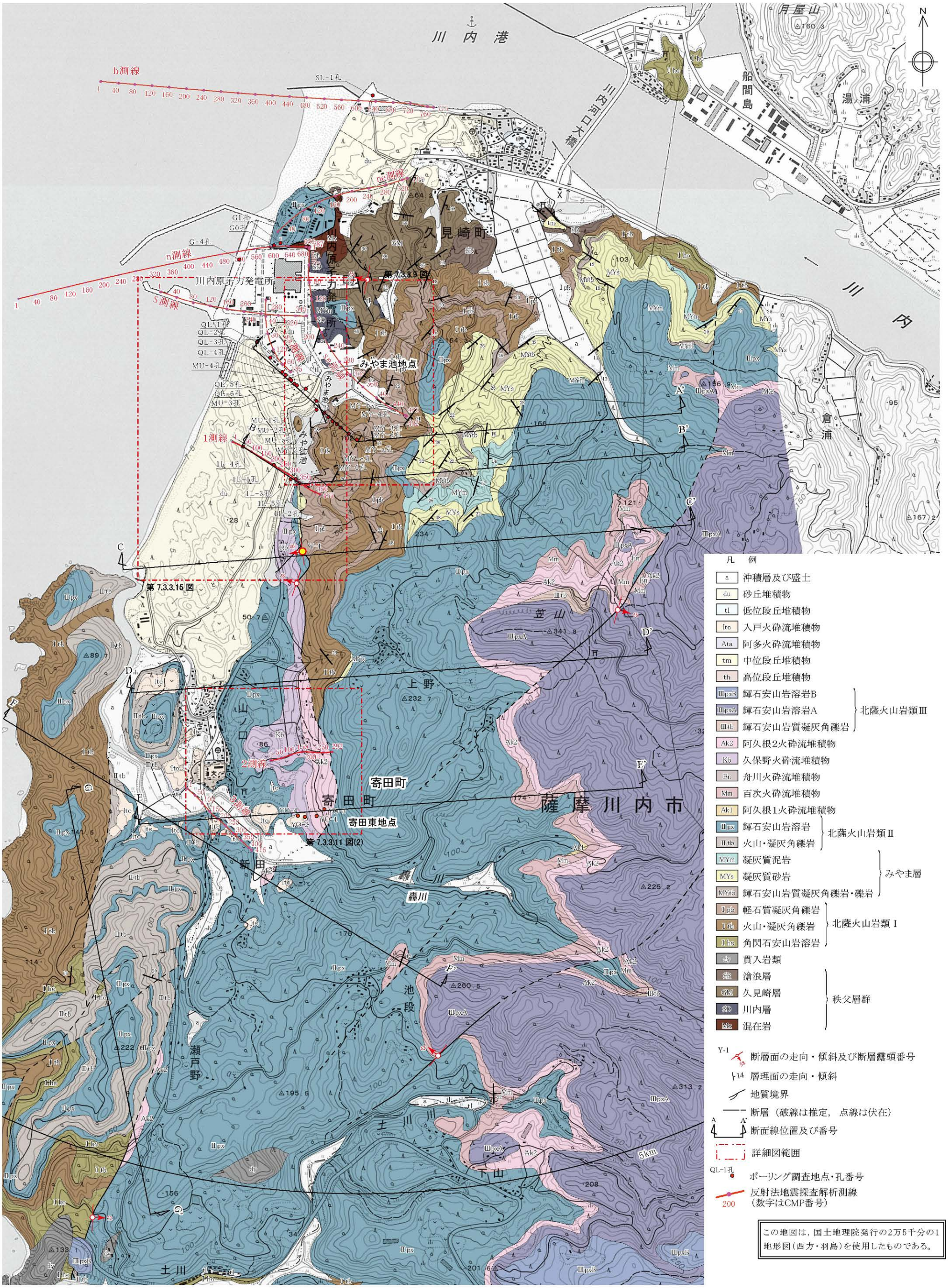
第 7.3.3.4 図(3)　反射法地震探査による深度断面とその解釈（C測線）



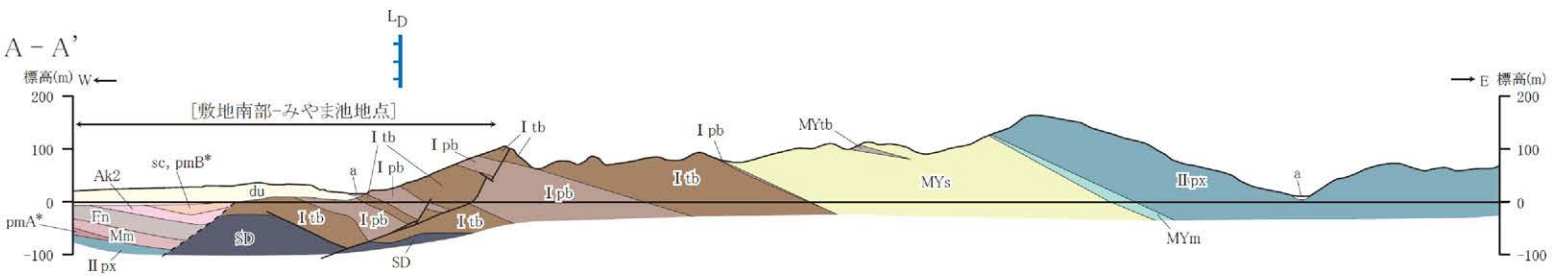
第 7.3.3.5 図　敷地近傍陸域の空中写真判読図



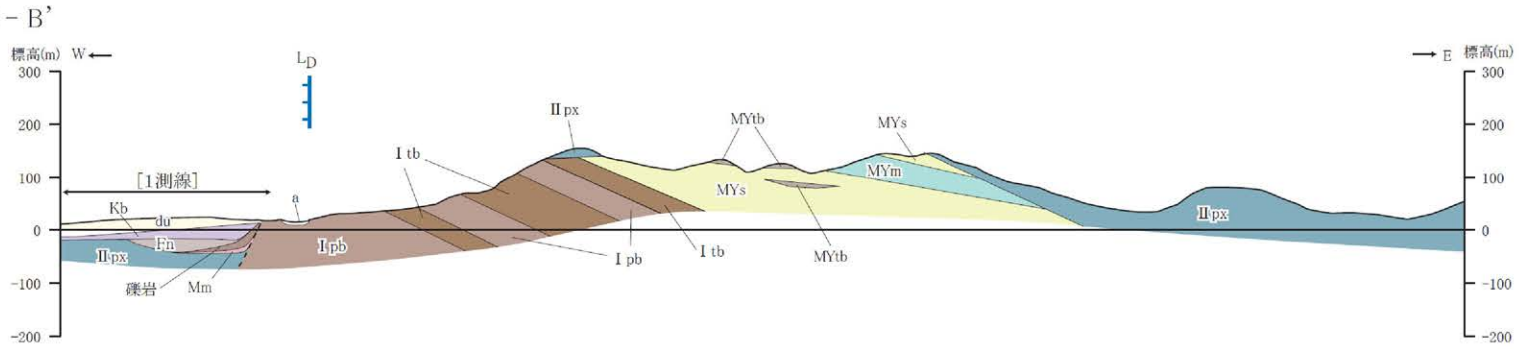
第7.3.3.6図　寄田東リニアメント周辺の空中写真判読図

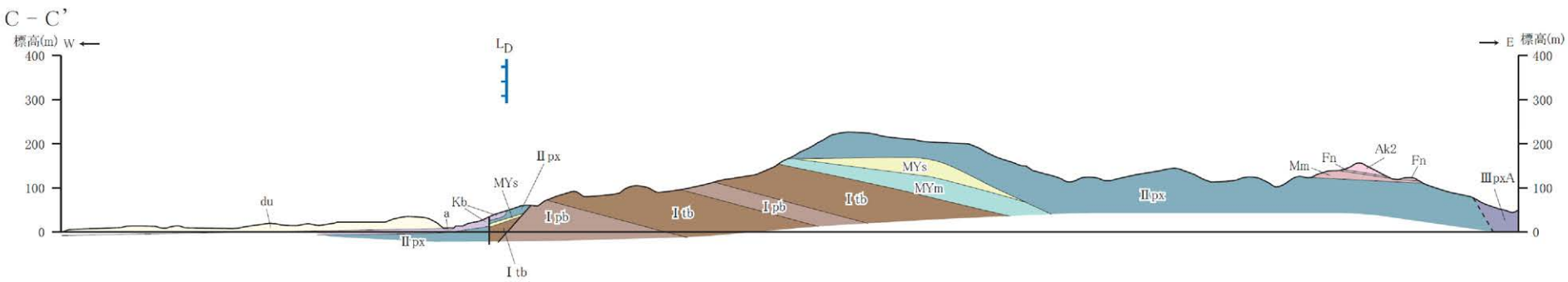


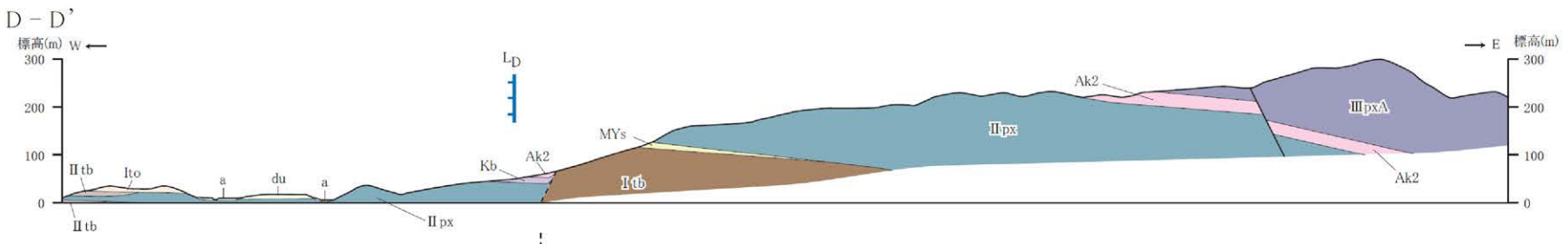
第7.3.3.7図　寄田東リニアメント周辺の地質図

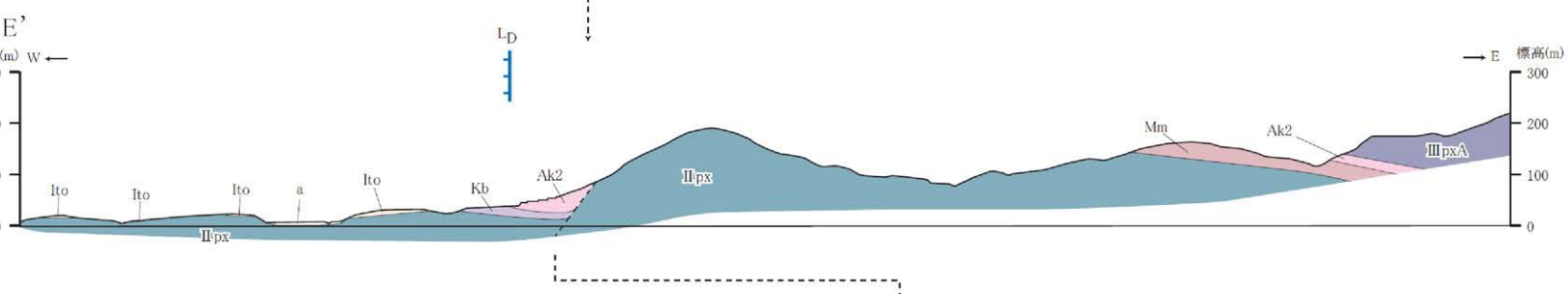


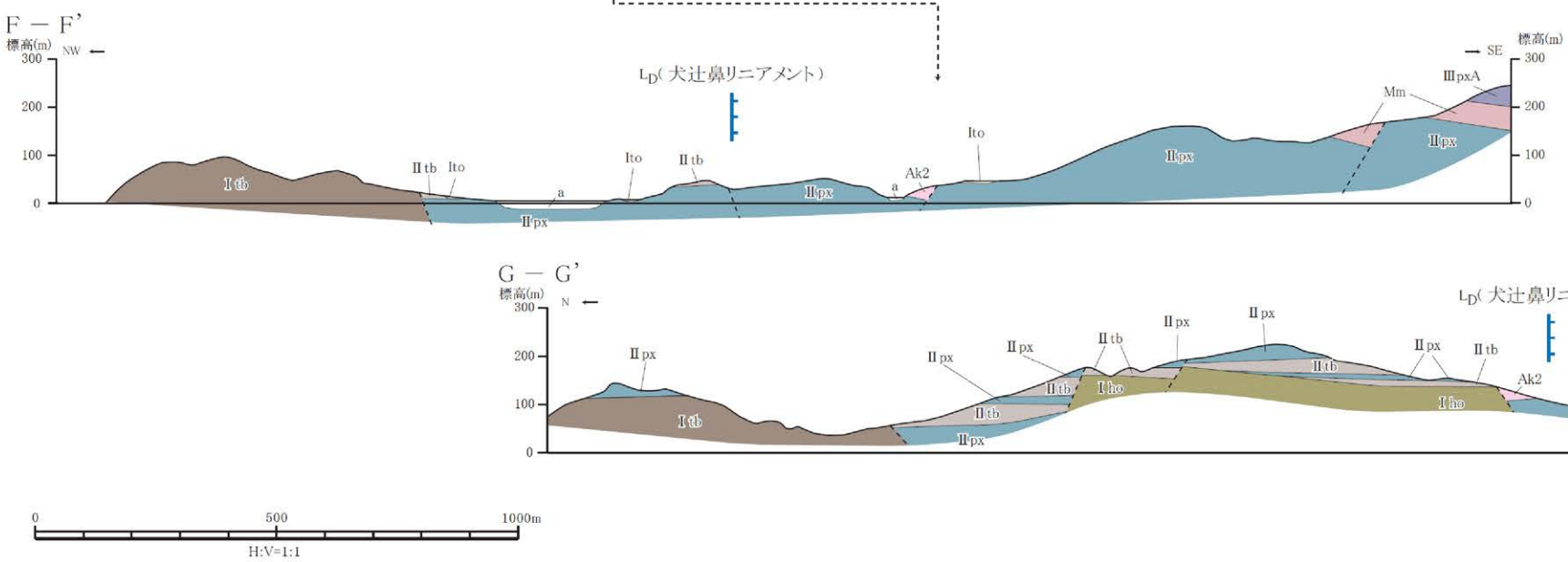
(注)*は第7.3.3.15図を参照。





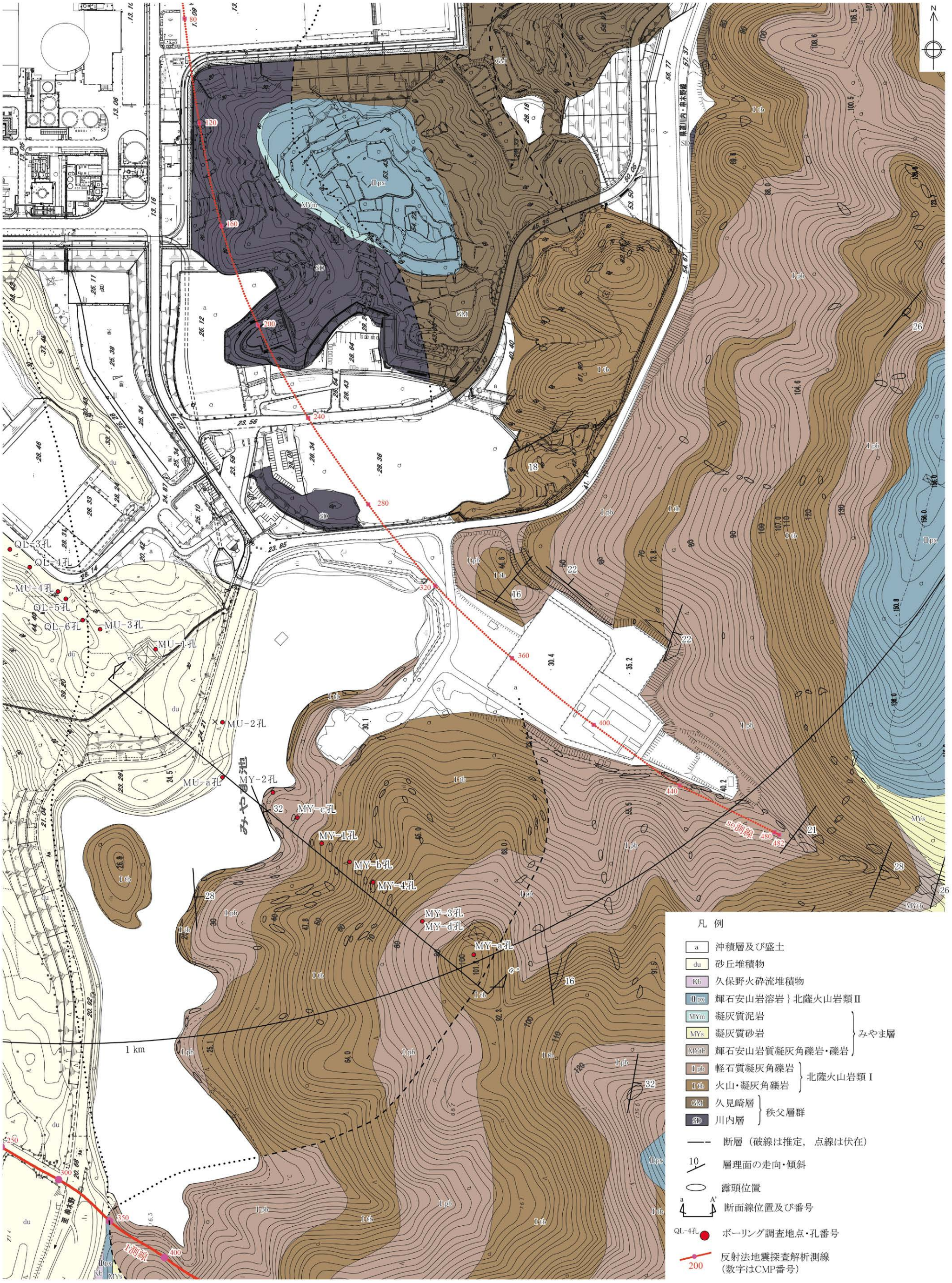




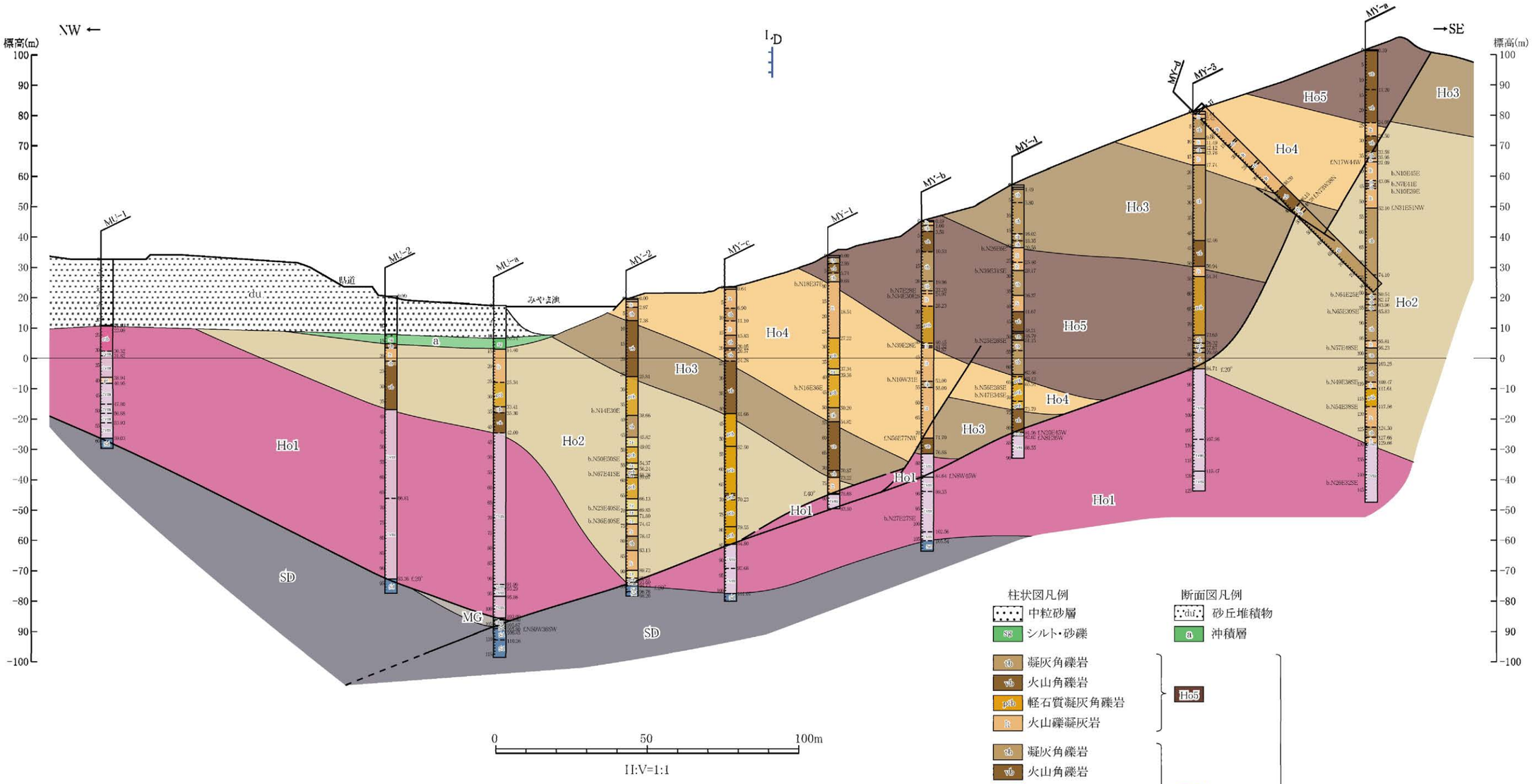


(注)凡例は、第 7.3.3.7 図を参照。

第 7.3.3.8 図　寄田東リニアメント周辺の地質断面図



第 7.3.3.9 図　みやま池地点の地質図・ボーリング調査位置図



柱状図凡例

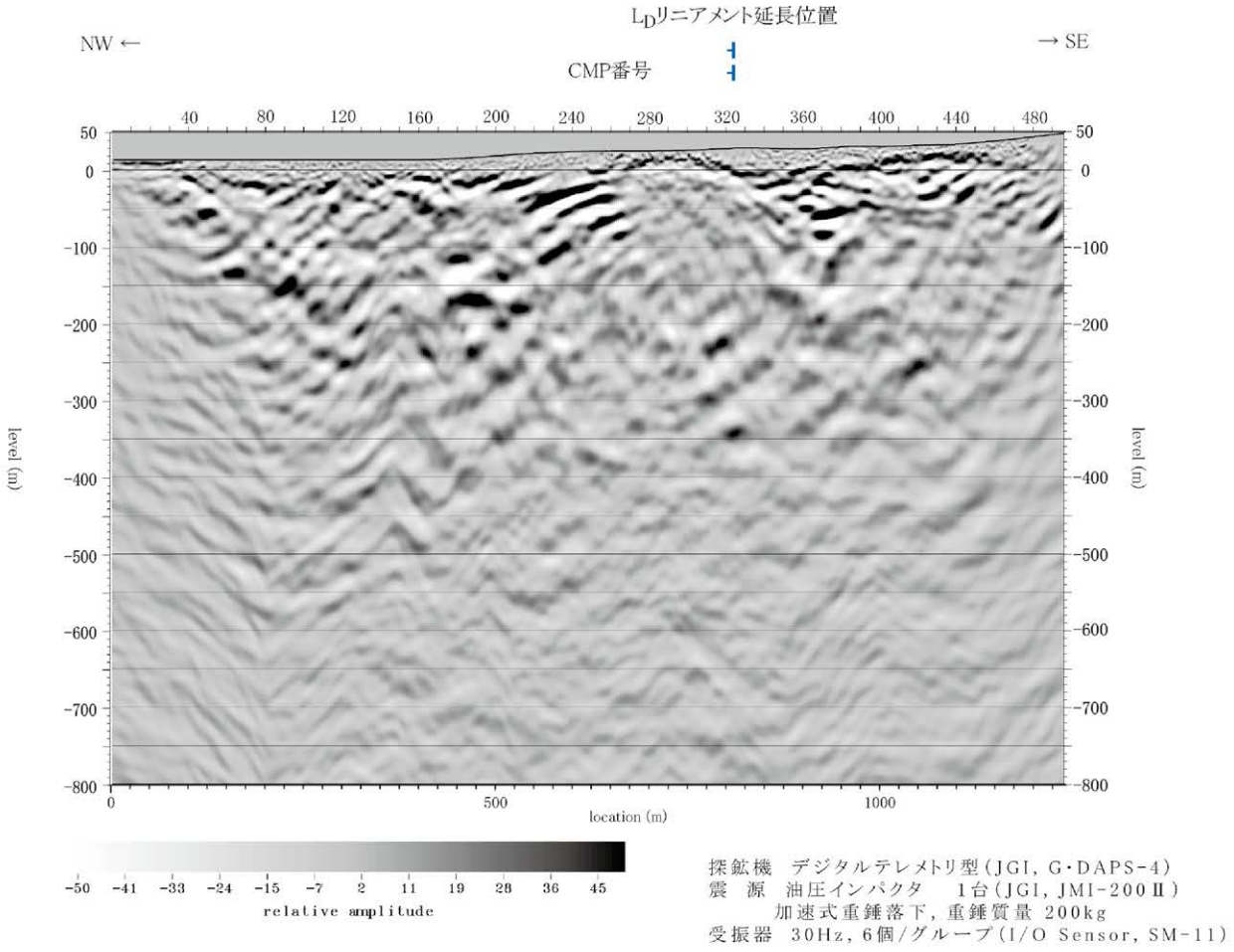
- 中粒砂層
- ss シルト・砂礫
- tb 凝灰角礫岩
- vb 火山角礫岩
- ptb 軽石質凝灰角礫岩
- lt 火山礫凝灰岩
- ts 凝灰質砂岩
- rtb 赤色凝灰角礫岩
- tvm 凝灰角礫岩(泥岩礫含む)
- pt 軽石混じり凝灰岩
- tbp 礫岩
- Sd 礫岩・砂岩・粘板岩

断面図凡例

- du 砂丘堆積物
- a 沖積層
- Ho5
- Ho4
- Ho3
- Ho2
- Ho1
- MG 馬込礫岩層
- SD 川内層 } 秩父層群
- 北薩火山岩類Ⅰ

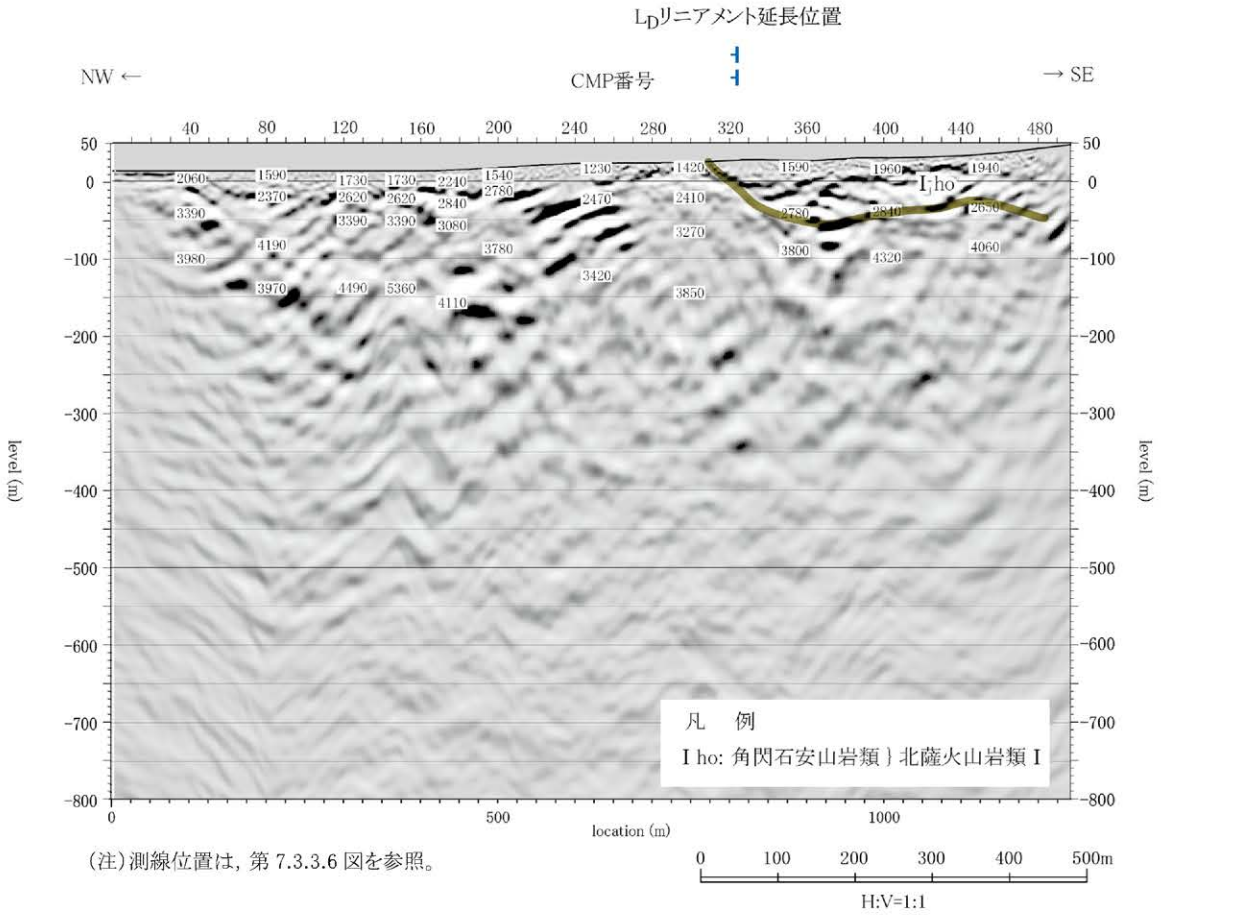
- 断 層
- 推定断層
- f.N20E45W 断層の走向・傾斜 (ボアホールカメラによる)
- b.N47E34SE 地層の走向・傾斜 (ボアホールカメラによる)

第 7.3.3.10 図　地質断面図（みやま池地点）



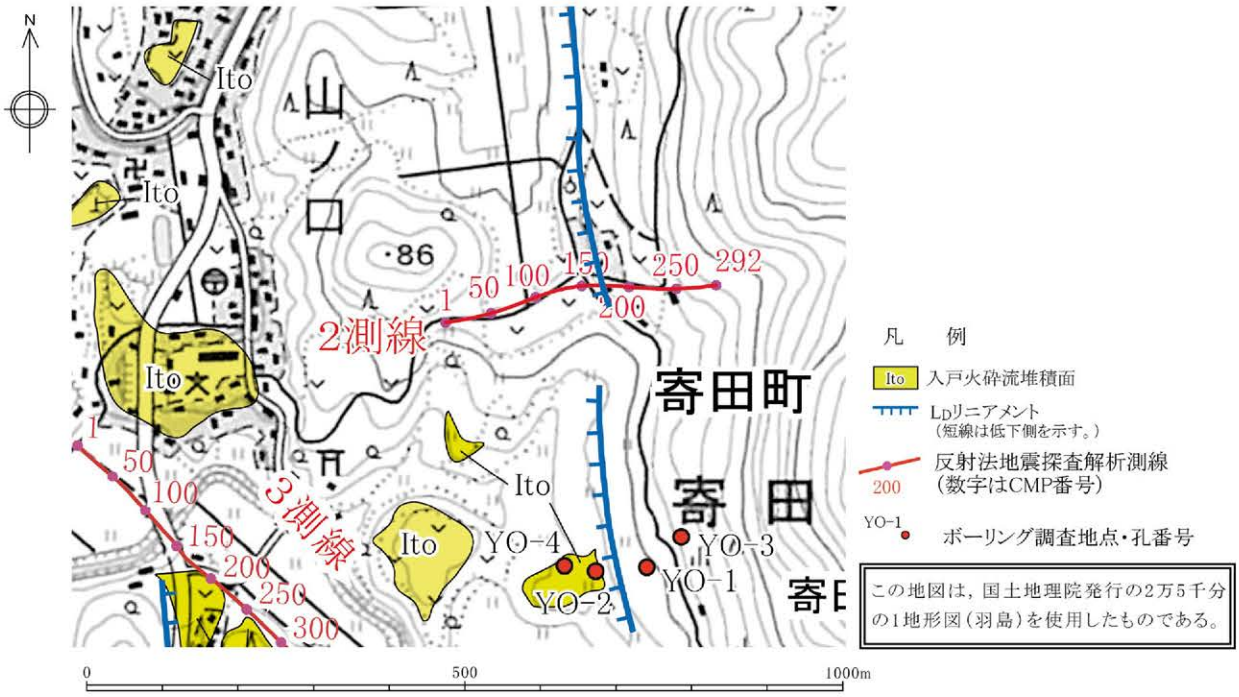
探鉱機　デジタルテレメトリ型（JGI, G･DAPS-4）
震　源　油圧インパクタ　1台（JGI, JMI-200Ⅱ）
　　加速式重錘落下，重錘質量 200kg
受振器　30Hz，6個/グループ（I/O Sensor, SM-11）

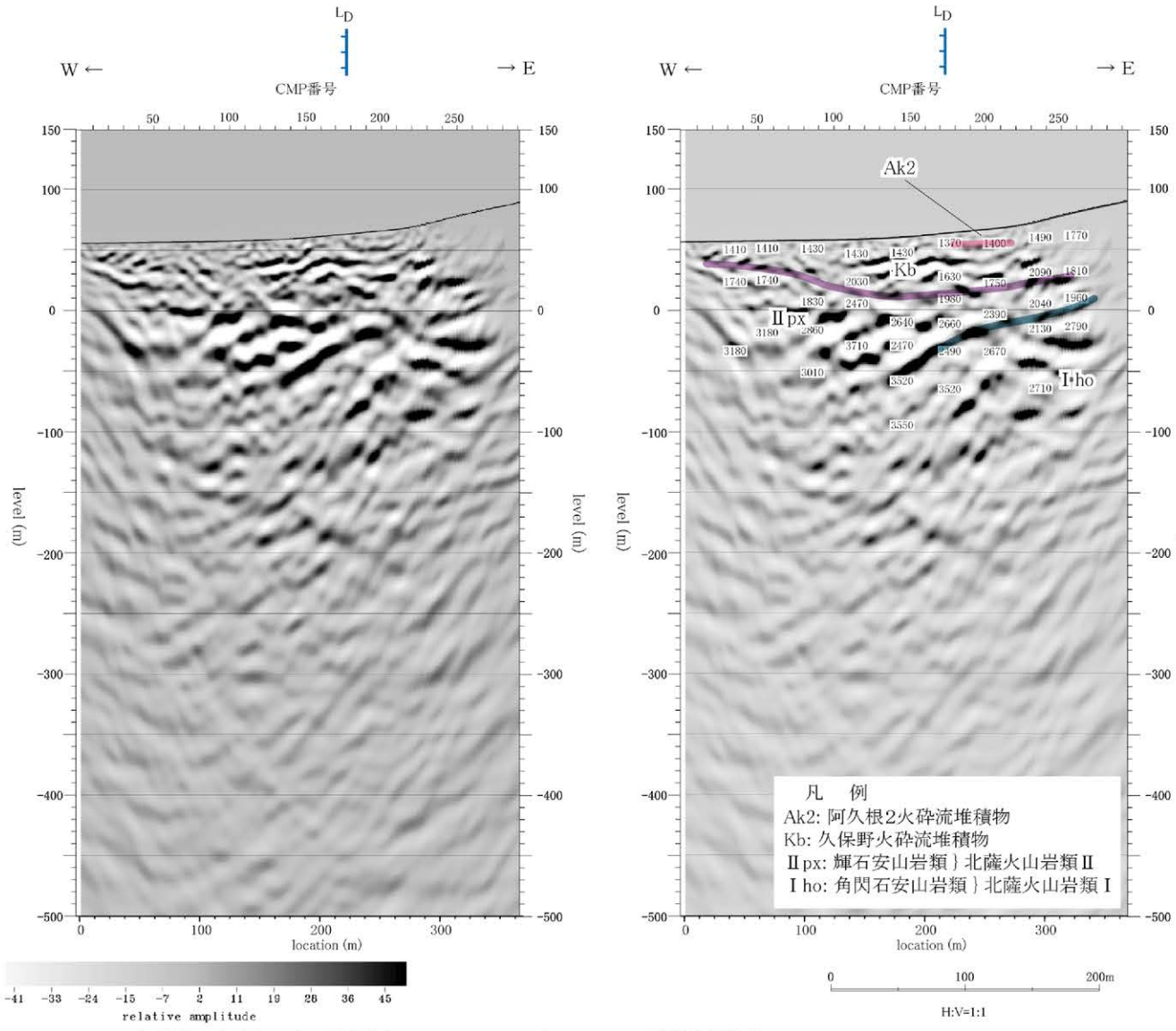
標準収録仕様
　収録時間　2sec
　サンプリング間隔　1msec
　発振点間隔　5m
　受振点間隔　5m



（注）測線位置は，第 7.3.3.6 図を参照。

第 7.3.3.11 図(1)　反射法地震探査による深度断面とその解釈（se 測線）

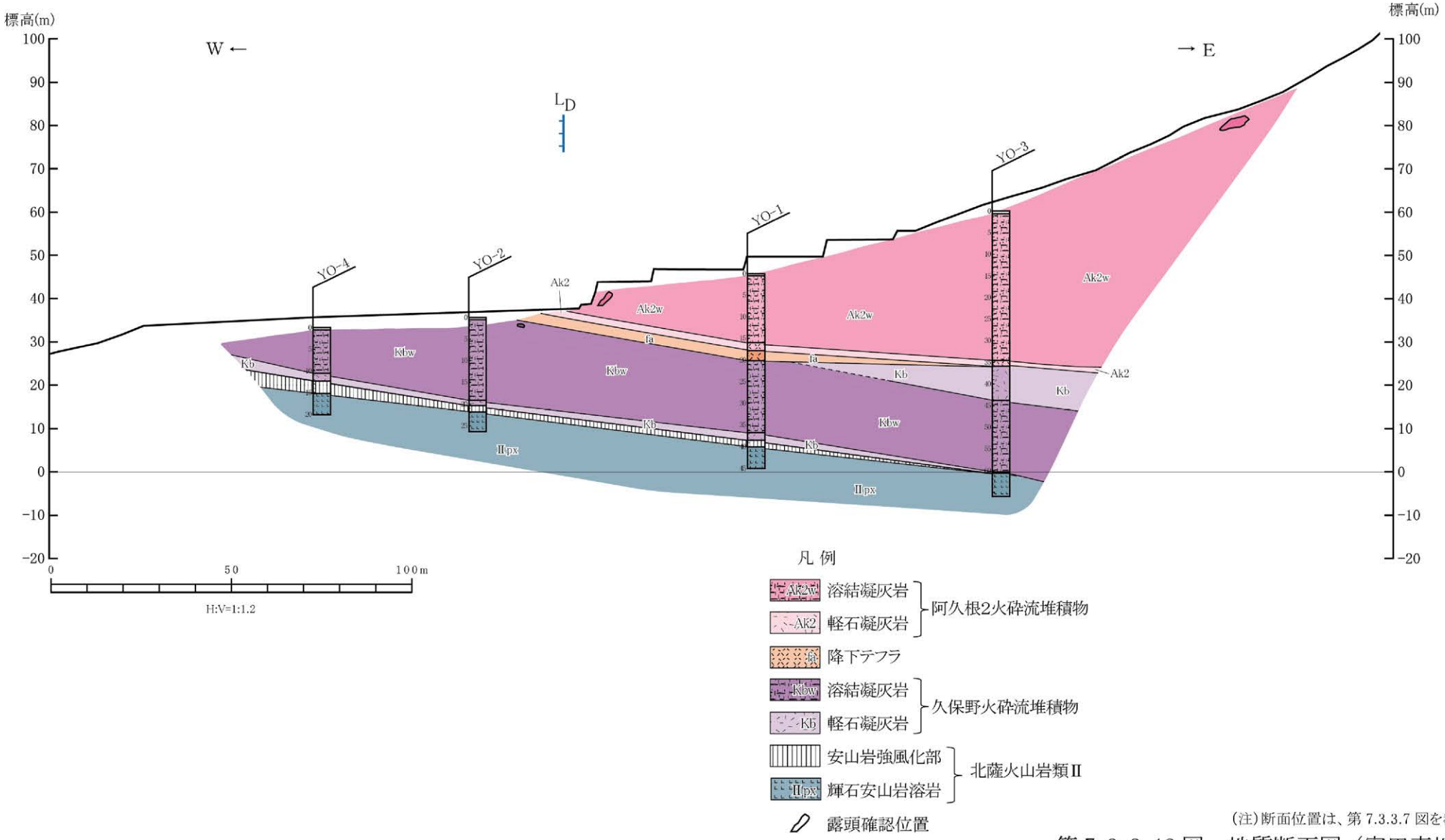




探鉱機　デジタルテレメトリ型（JGI，G・DAPS-4）
震　源　油圧インパクタ　1台（JGI，JMI-200Ⅱ）
　　加速式重錘落下，重錘質量 200kg
受振器　30Hz，6個/グループ（I/O Sensor，SM-11）

標準収録仕様
収録時間　2sec
サンプリング間隔　1msec
発振点間隔　2.5m
受振点間隔　5m

第 7.3.3.11 図(2)　反射法地震探査による深度断面とその解釈（２測線）



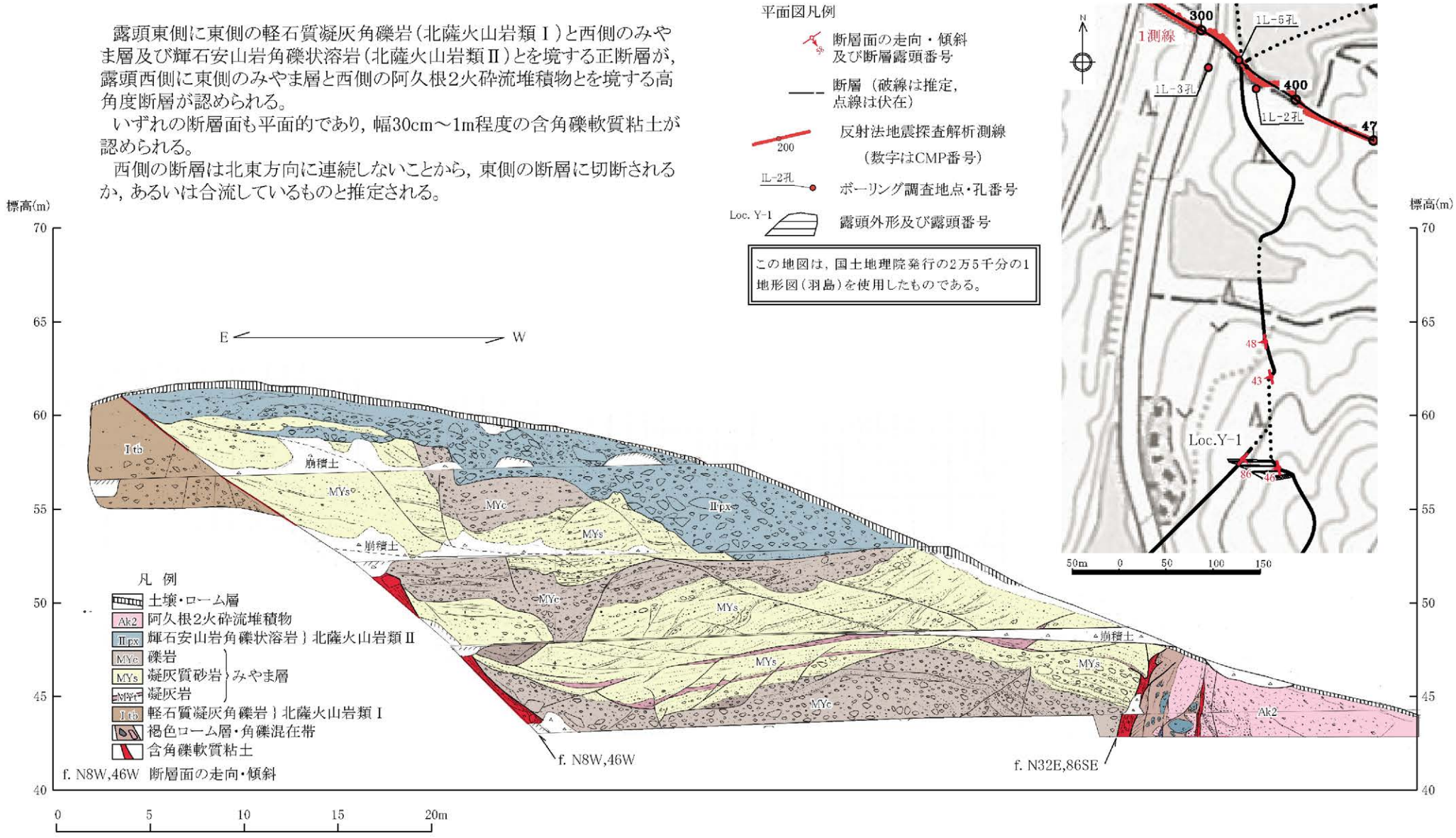
(注)断面位置は、第 7.3.3.7 図を参照。

第 7.3.3.12 図　地質断面図（寄田東地点）

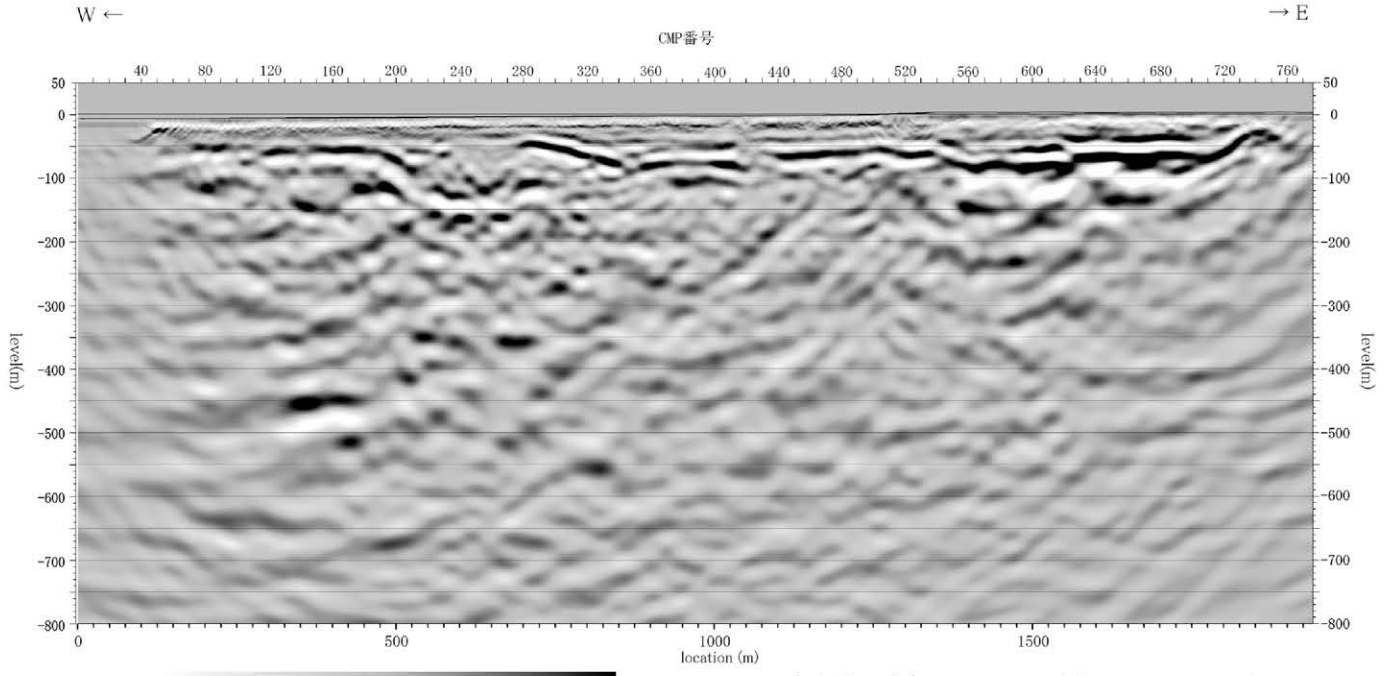
露頭東側に東側の軽石質凝灰角礫岩（北薩火山岩類Ⅰ）と西側のみやま層及び輝石安山岩角礫状溶岩（北薩火山岩類Ⅱ）とを境する正断層が，露頭西側に東側のみやま層と西側の阿久根2火砕流堆積物とを境する高角度断層が認められる。

いずれの断層面も平面的であり，幅30cm～1m程度の含角礫軟質粘土が認められる。

西側の断層は北東方向に連続しないことから，東側の断層に切断されるか，あるいは合流しているものと推定される。

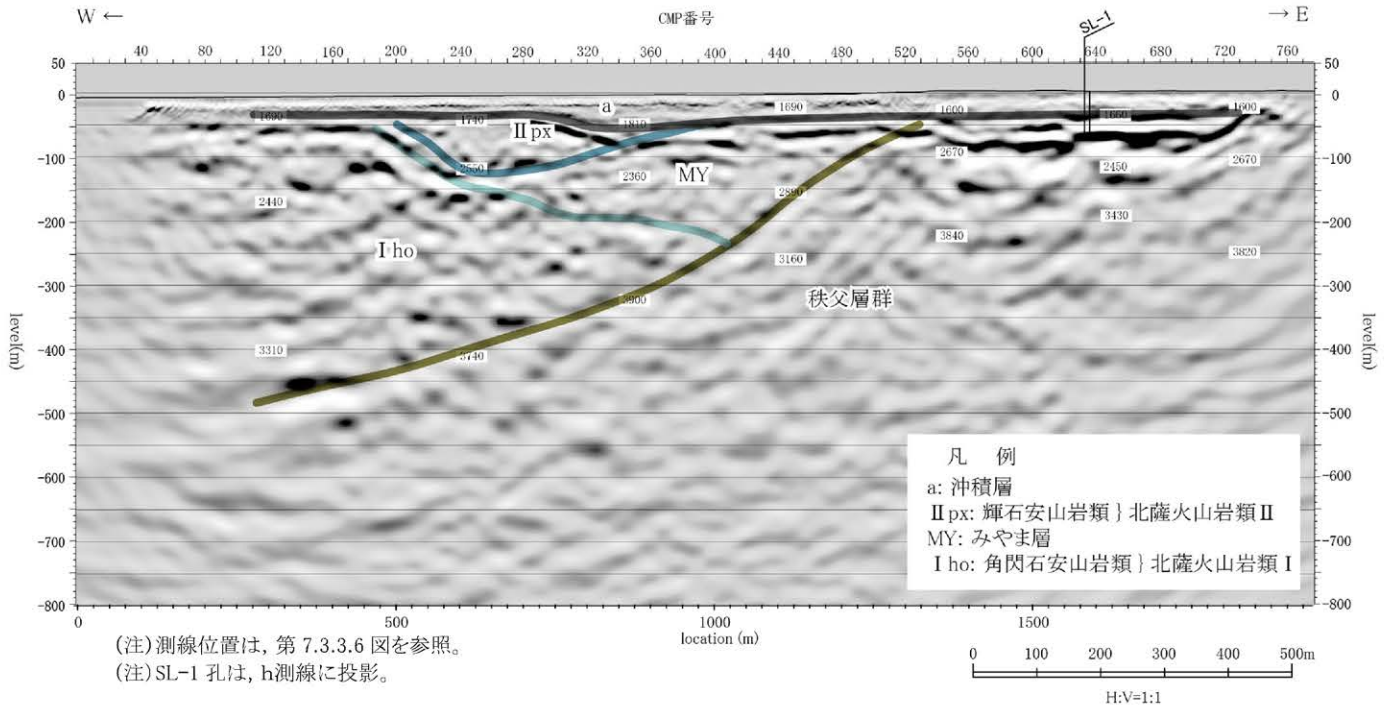


第 7.3.3.13 図　露頭スケッチ（Loc. Y-1，薩摩川内市みやま池南方）



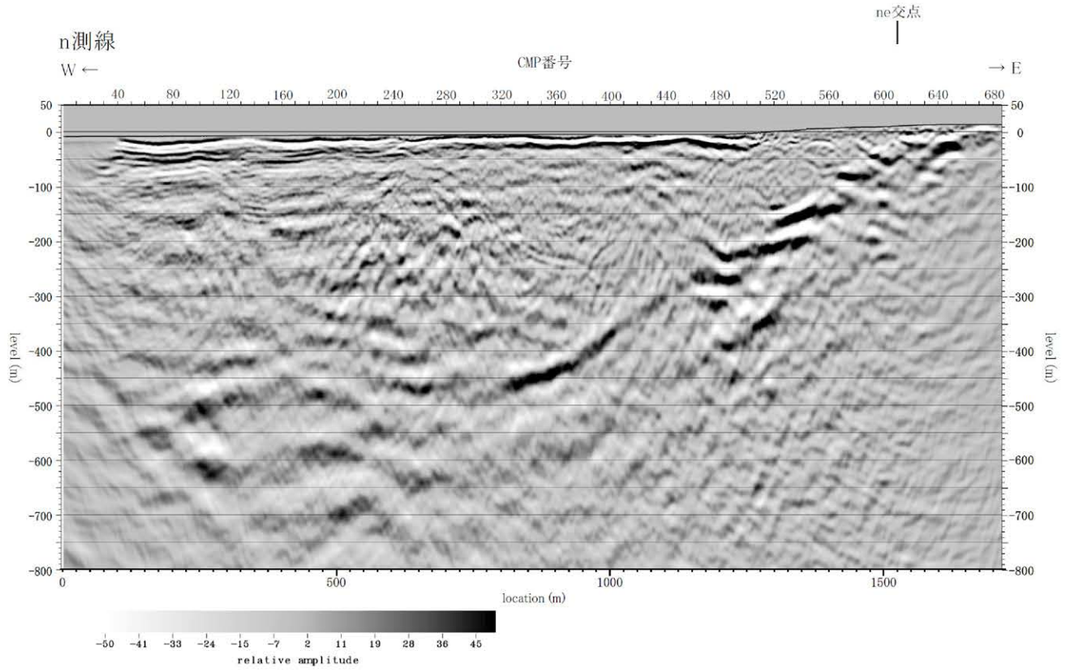
探鉱機　デジタルテレメトリ型（JGI，G・DAPS-4）
震　源　油圧インパクタ　1台（JGI，JMI-200Ⅱ）
　　加速式重錘落下，重錘質量 200kg
受振器　30Hz，6個/グループ（I/O Sensor，SM-11）

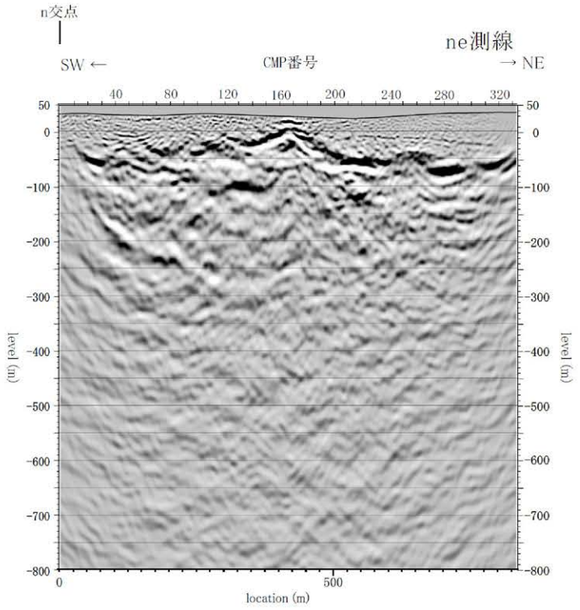
標準収録仕様
　収録時間　2sec
　サンプリング間隔　1msec
　発振点間隔　5m
　受振点間隔　5m



(注)測線位置は，第 7.3.3.6 図を参照。
(注)SL-1 孔は，h測線に投影。

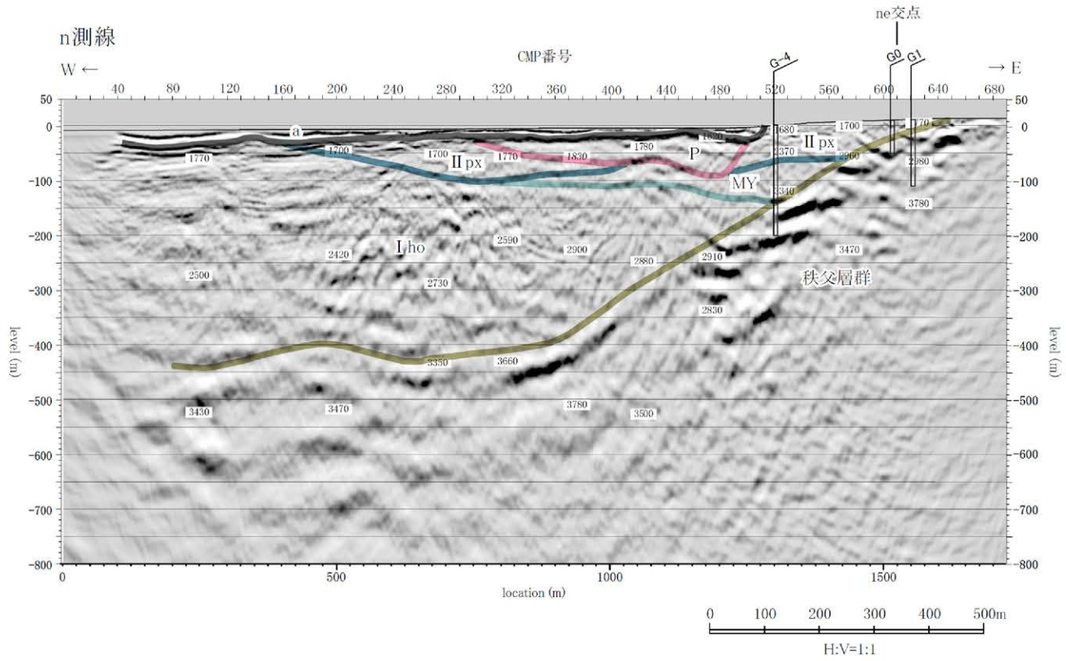
第 7.3.3.14 図(1)　反射法地震探査による深度断面とその解釈（h 測線）

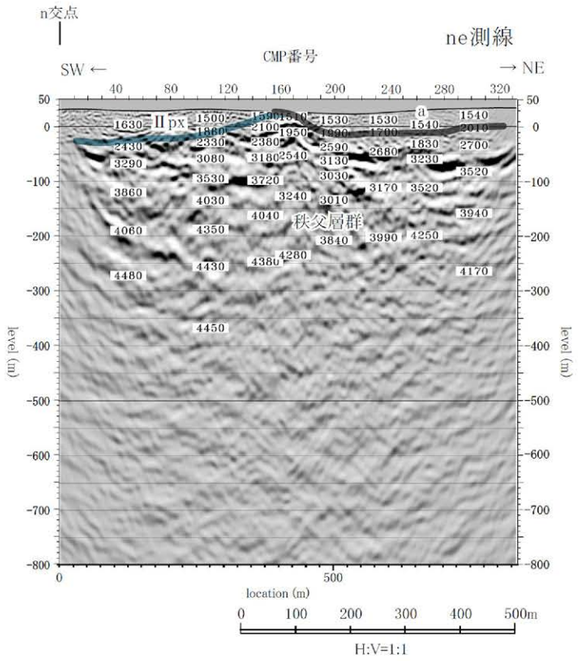




探鉱機　デジタルテレメトリ型（JGI，G･DAPS-4）
震　源　油圧インパクター 1台（JGI，JMI-200Ⅱ）
　　加速式重錘落下，重錘質量 200kg
受振器　30Hz，6個/グループ（I/O Sensor，SM-11）

標準収録仕様
　収録時間　2sec
　サンプリング間隔　1msec
　発振点間隔　5m
　受振点間隔　5m

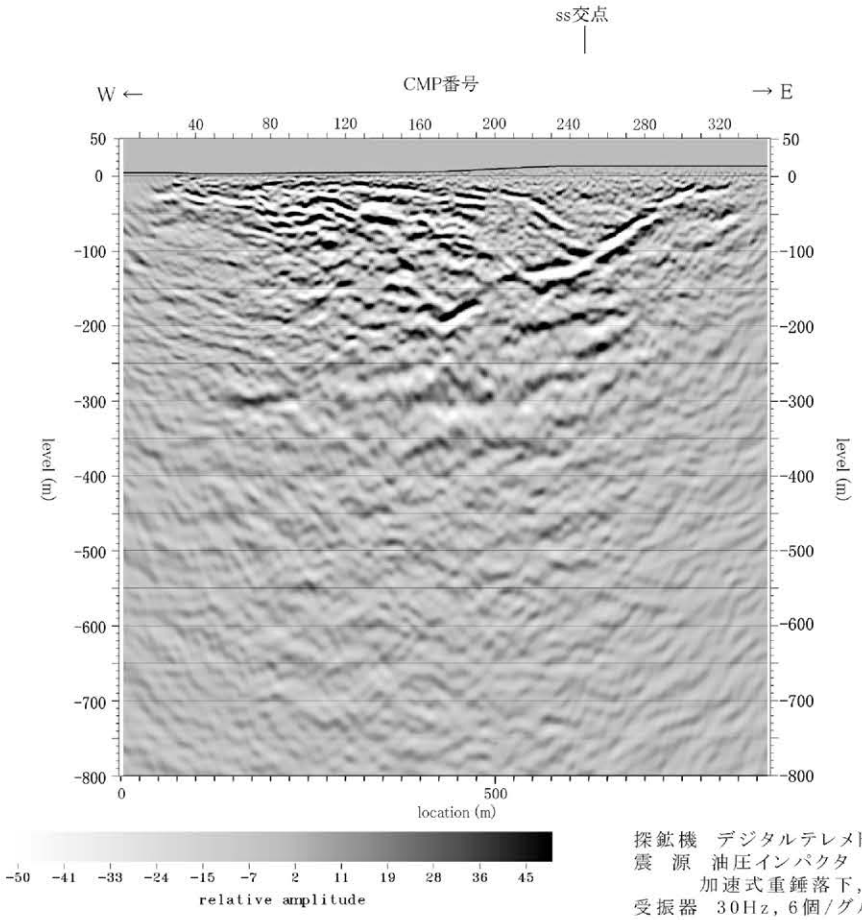




凡　例
a: 沖積層
P: 阿久根2火砕流堆積物など
Ⅱpx: 輝石安山岩類 } 北薩火山岩類Ⅱ
MY: みやま層
Ⅰho: 角閃石安山岩類 } 北薩火山岩類Ⅰ

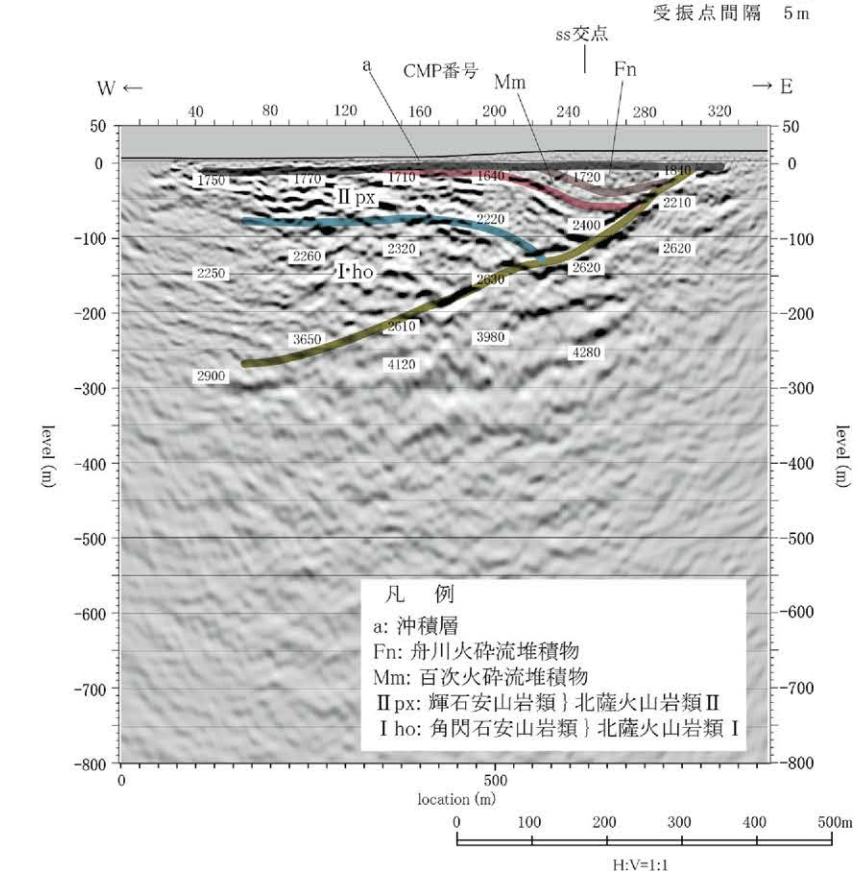
（注）測線位置は，第 7.3.3.6 図を参照。
（注）G-4 孔及び G1 孔は，n 測線に投影。

第 7.3.3.14 図(2)　反射法地震探査による深度断面とその解釈（n 測線、ne 測線）



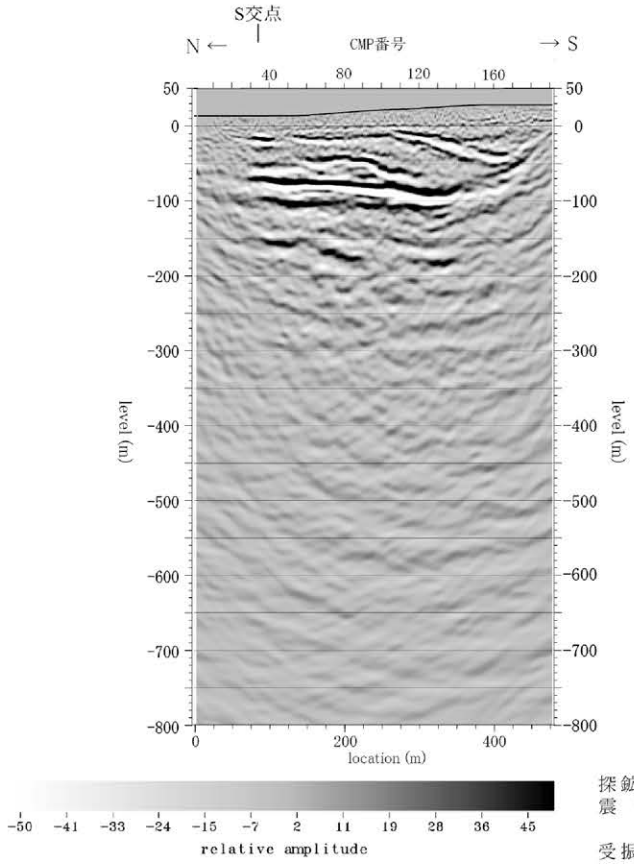
探鉱機　デジタルテレメトリ型（JGI，G・DAPS-4）
震　源　油圧インパクタ　1台（JGI，JMI-200Ⅱ）
　　加速式重錘落下，重錘質量 200kg
受振器　30Hz，6個/グループ（I/O Sensor，SM-11）

標準収録仕様
収録時間　2sec
サンプリング間隔　1msec
発振点間隔　5m
受振点間隔　5m



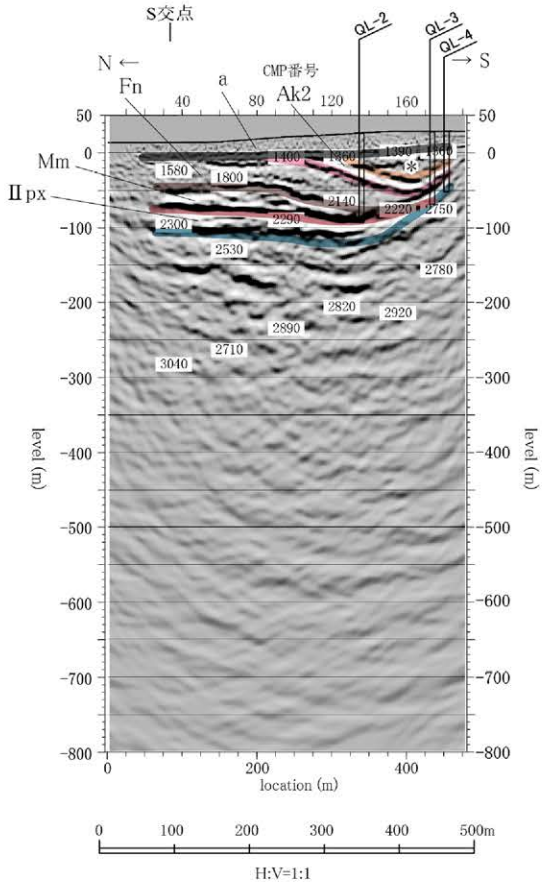
（注）測線位置は，第 7.3.3.6 図を参照。

第 7.3.3.14 図(3)　反射法地震探査による深度断面とその解釈（S 測線）



探鉱機　デジタルテレメトリ型（JGI, G・DAPS-4）
震　源　油圧インパクタ　1台（JGI, JMI-200Ⅱ）
　　加速式重錘落下，重錘質量 200kg
受振器　30Hz，6個/グループ（I/O Sensor, SM-11）

標準収録仕様
　収録時間　2sec
　サンプリング間隔　1msec
　発振点間隔　5m
　受振点間隔　5m

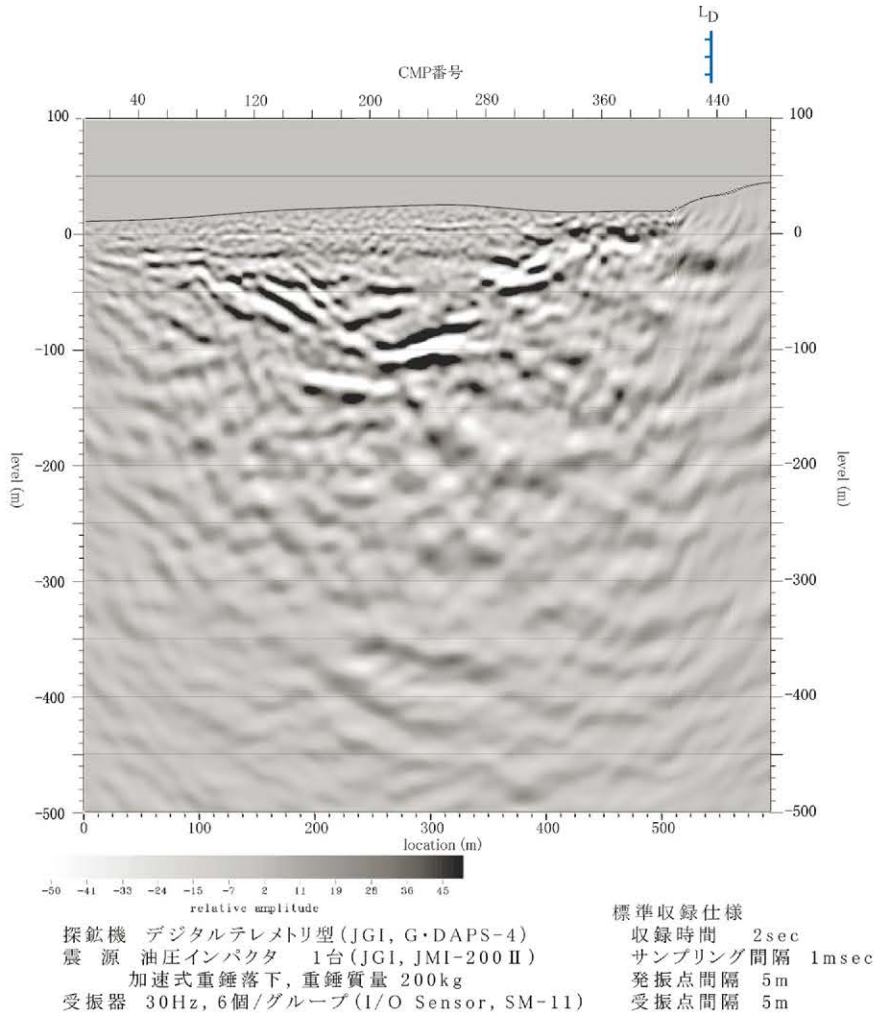


凡　例

a: 沖積層
*: 阿久根2火砕流堆積物などの二次堆積物
Ak2: 阿久根2火砕流堆積物
Fn: 舟川火砕流堆積物
Mm: 百次火砕流堆積物
Ⅱpx: 輝石安山岩類 } 北薩火山岩類Ⅱ

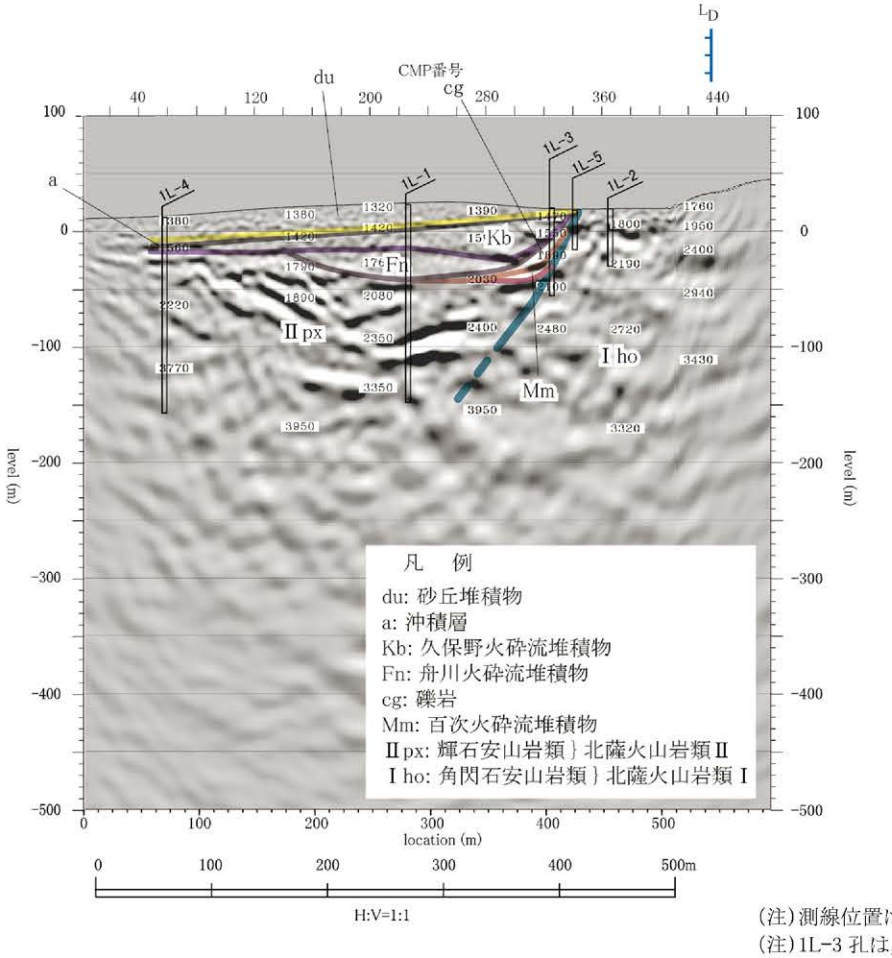
(注)測線位置は，第 7.3.3.6 図を参照。
(注)各ボーリング坑は，ss 測線に投影。

第 7.3.3.14 図(4)　反射法地震探査による深度断面とその解釈（ss 測線）



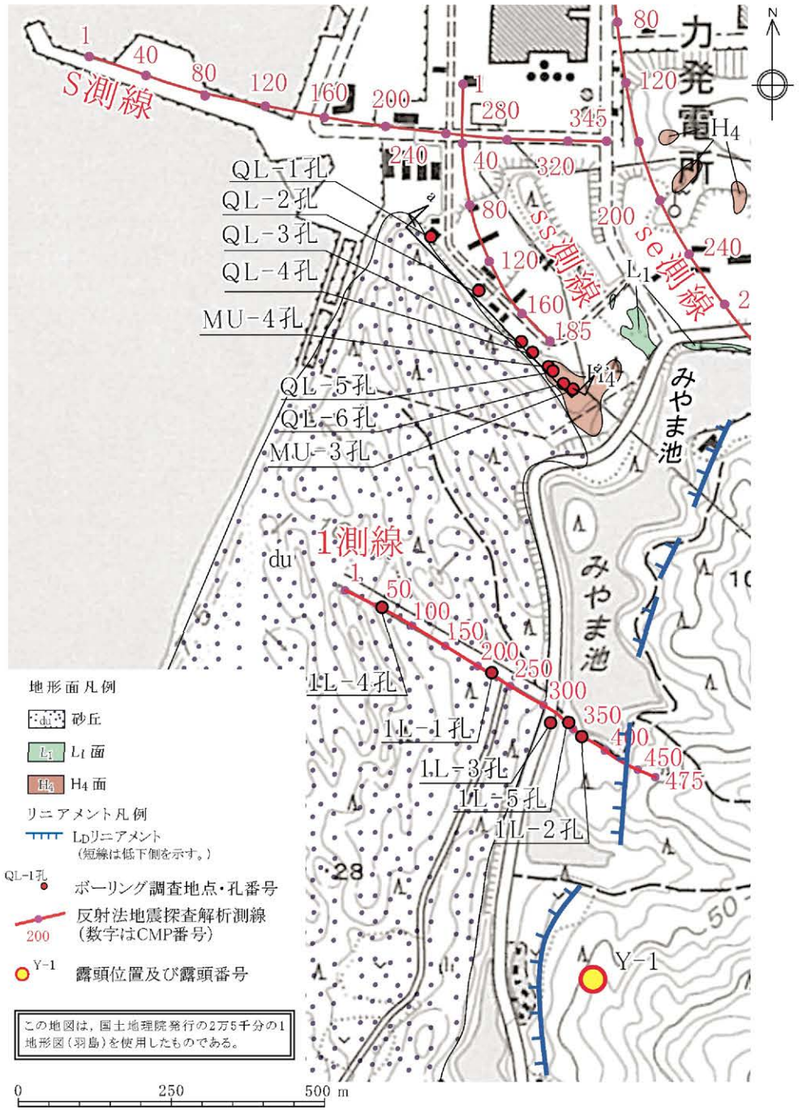
探鉱機　デジタルテレメトリ型（JGI，G･DAPS-4）
震　源　油圧インパクタ　1台（JGI，JMI-200Ⅱ）
　　加速式重錘落下，重錘質量 200kg
受振器　30Hz，6個/グループ（I/O Sensor，SM-11）

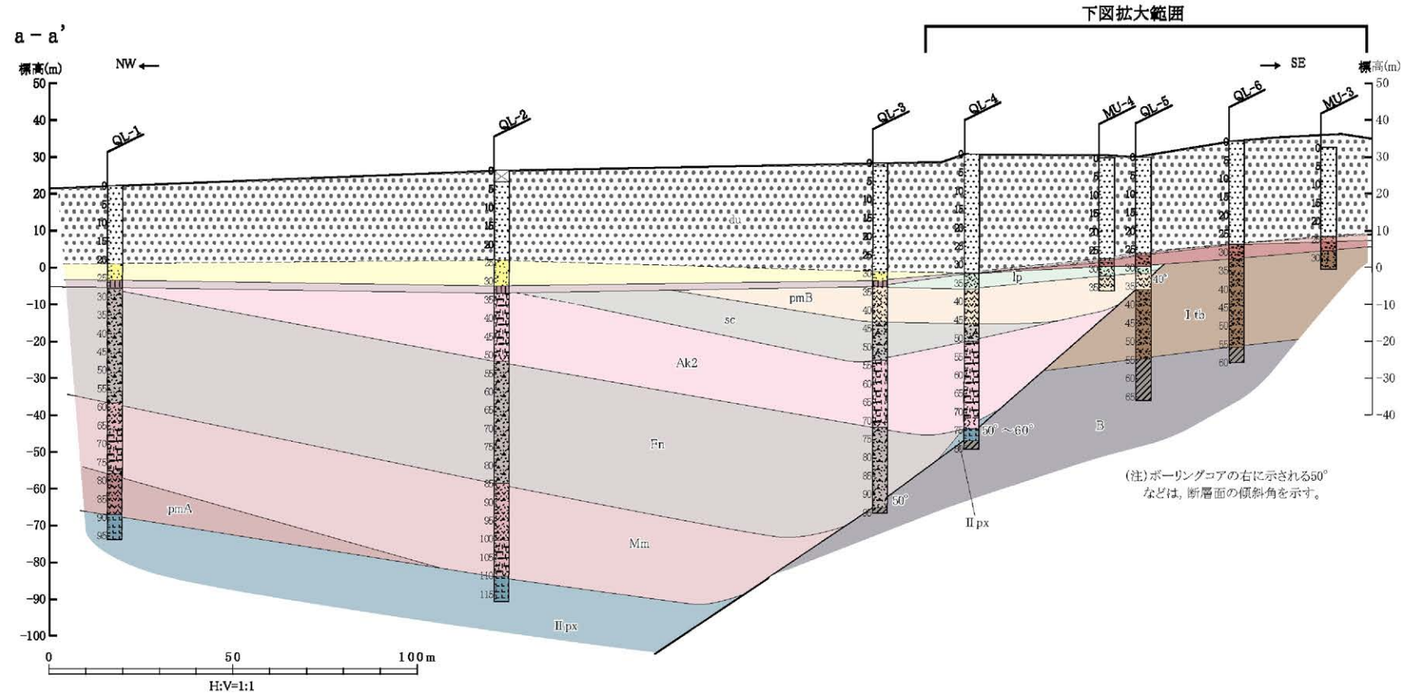
標準収録仕様
収録時間　2sec
サンプリング間隔　1msec
発振点間隔　5m
受振点間隔　5m

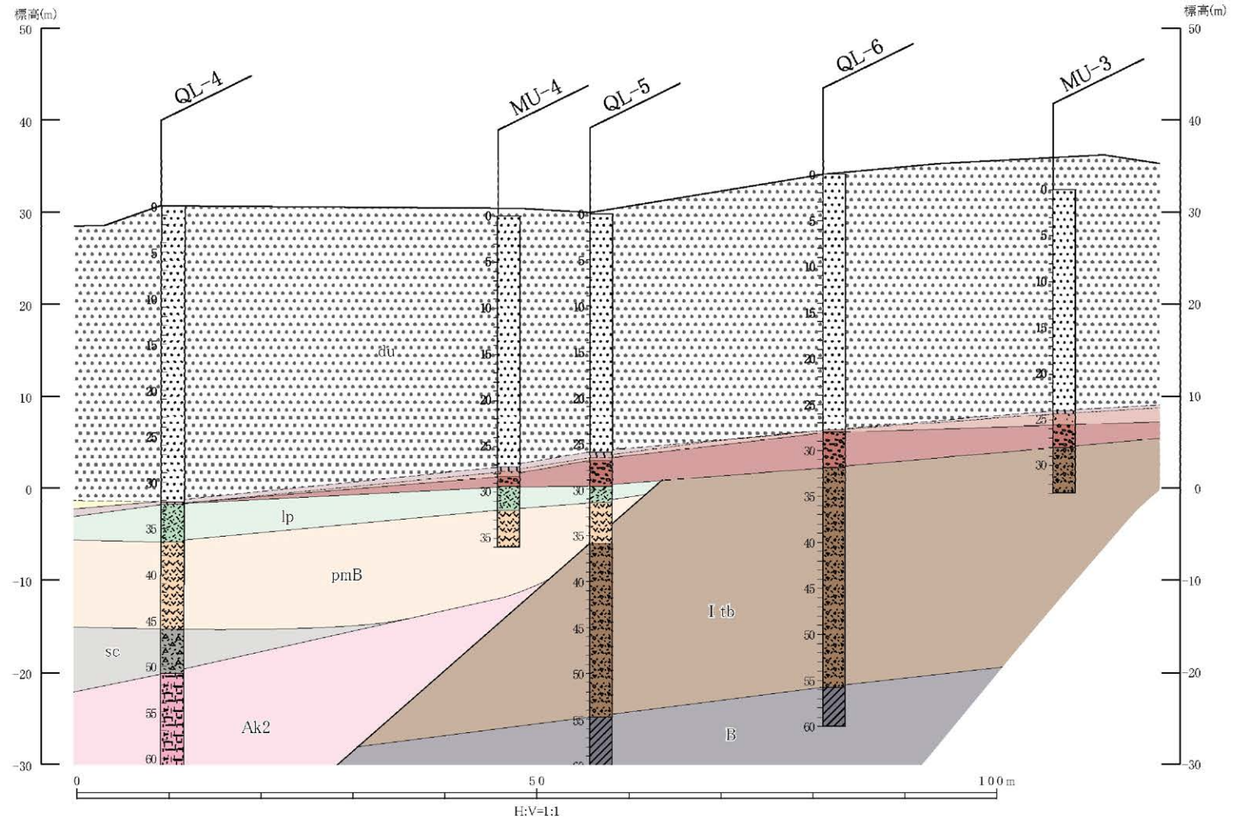


（注）測線位置は，第 7.3.3.6 図を参照。
（注）1L-3 孔は，1測線に投影。

第 7.3.3.14 図(5)　反射法地震探査による深度断面とその解釈（1測線）







柱状図凡例

- 中粒砂層
- 砂
- 腐植質シルト～砂礫
- ローム質砂層
- 砂礫
- 火山礫凝灰岩～凝灰角礫岩
- 軽石流堆積物
- スコリア流堆積物
- 溶結凝灰岩
- 軽石凝灰岩
- 細粒凝灰岩
- スコリア流堆積物
- 火山灰流堆積物
- 溶結凝灰岩
- 細粒凝灰岩
- 軽石流堆積物
- 輝石安山岩溶岩
- 凝灰角礫岩
- 泥質岩

断面図凡例

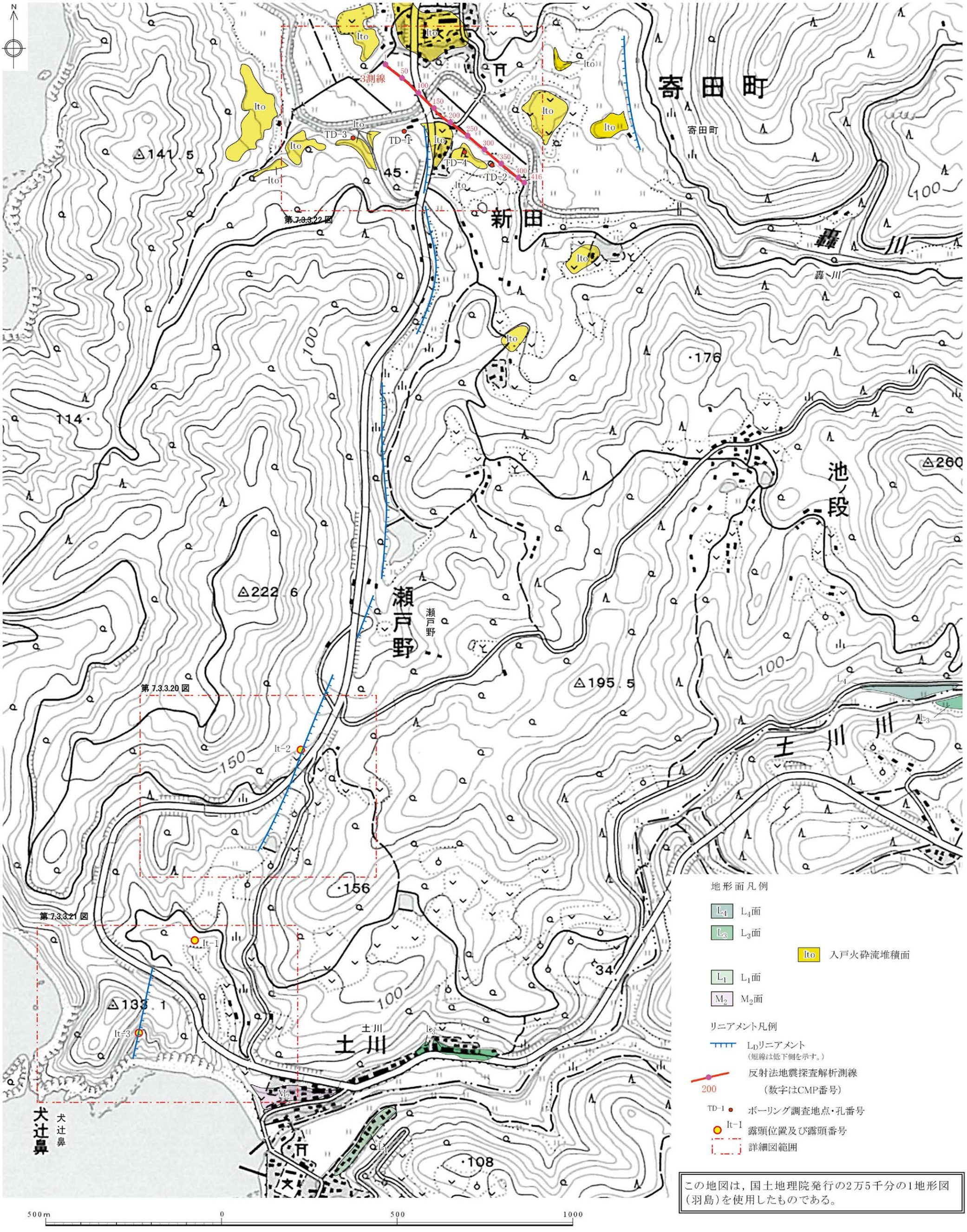
- du 砂丘堆積物
- 海成砂層
- 腐植質シルト～砂礫
- ローム質砂層
- 礫層 } 段丘堆積物
- lp 火山礫凝灰岩～凝灰角礫岩
- pmB 軽石流堆積物B
- sc スコリア流堆積物
- Ak2 阿久根2火砕流堆積物
- Fn 舟川火砕流堆積物
- Mm 百次火砕流堆積物
- pmA 軽石流堆積物A
- IIpx 輝石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類II
- I tb 凝灰角礫岩 } 北薩火山岩類I
- B 泥質岩 } 秩父層群

沖積層

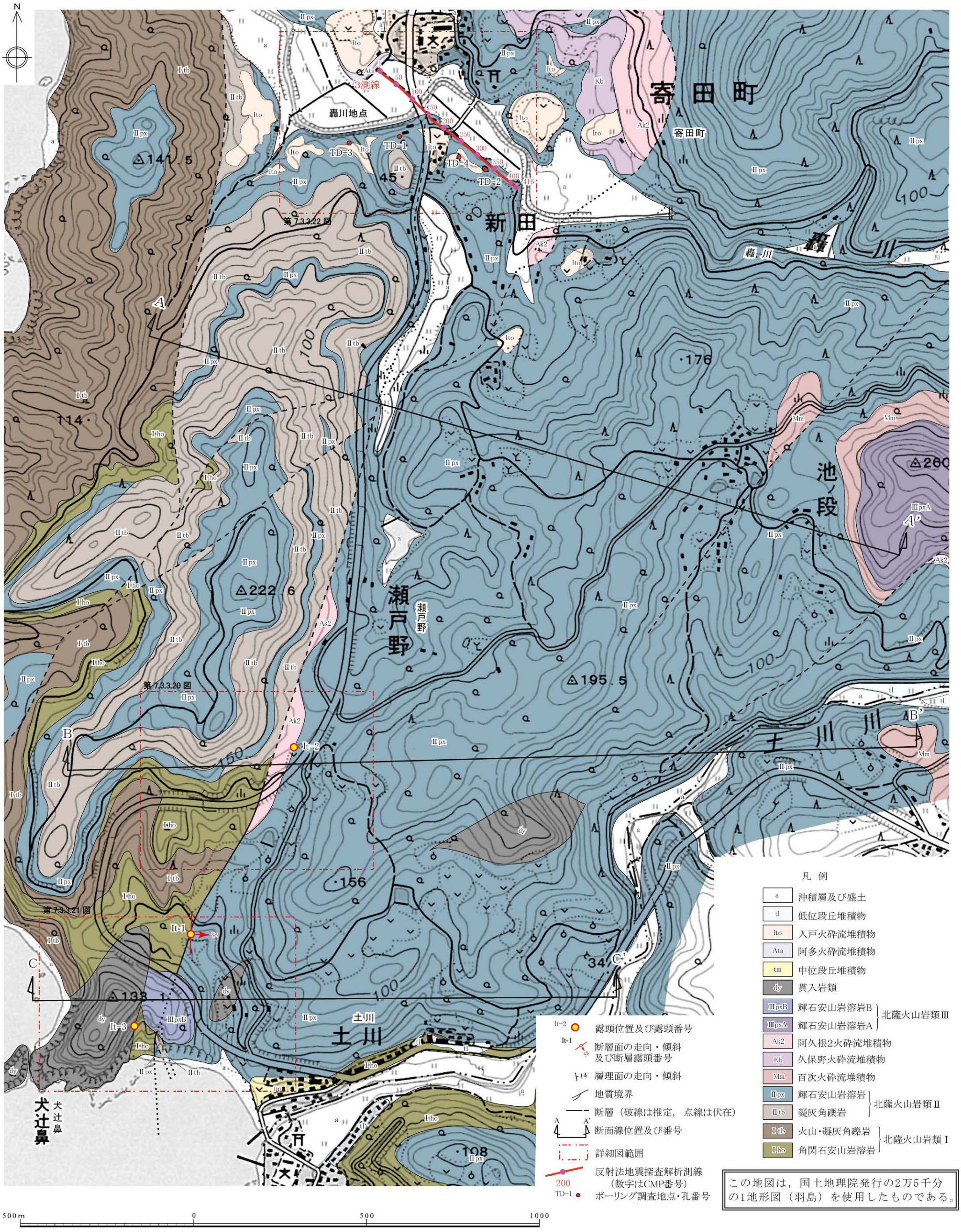
地質境界

断層

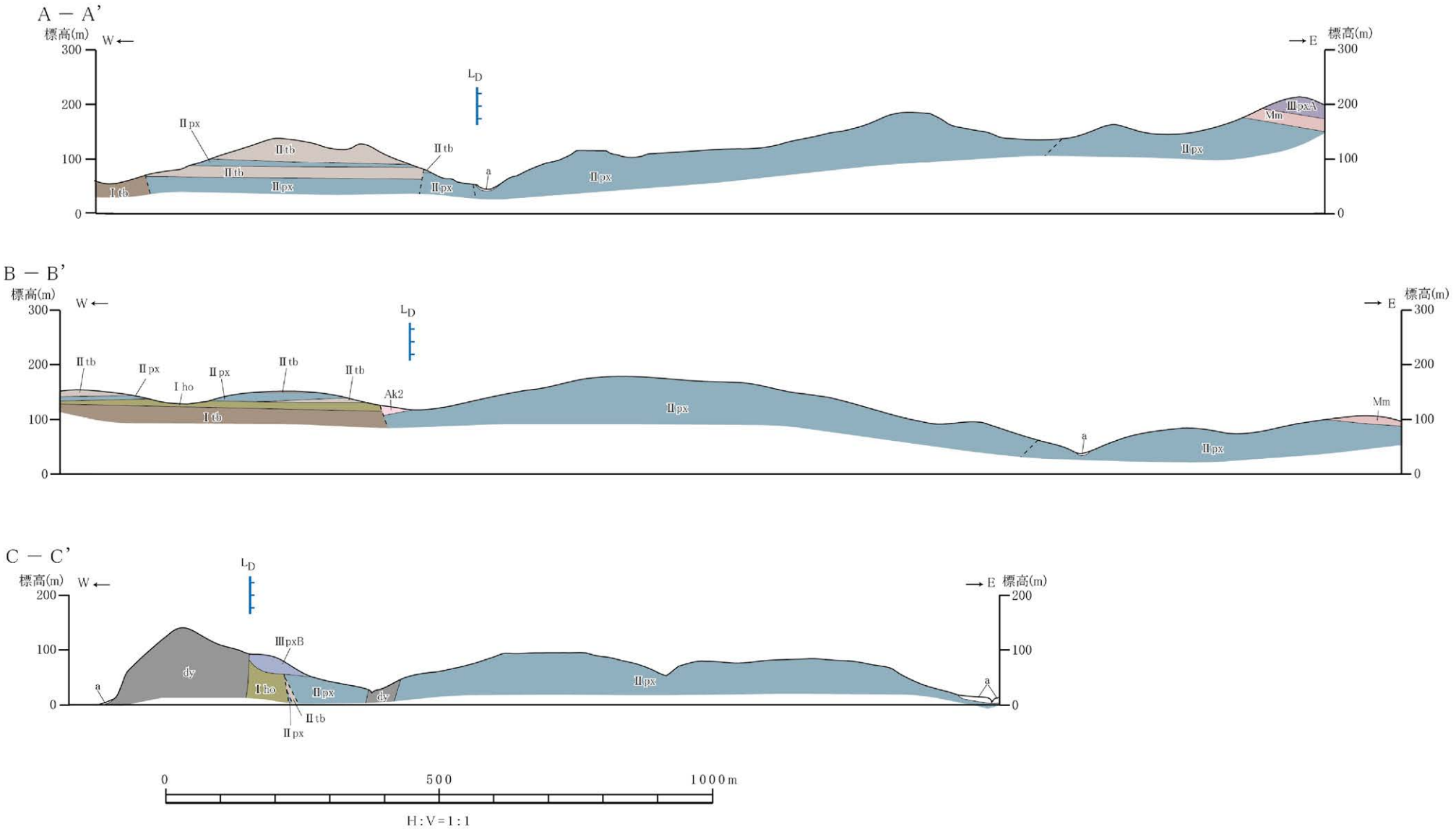
第 7.3.3.15 図　敷地南端部における地質断面図



第 7.3.3.16 図　犬辻鼻リニアメント周辺の空中写真判読図

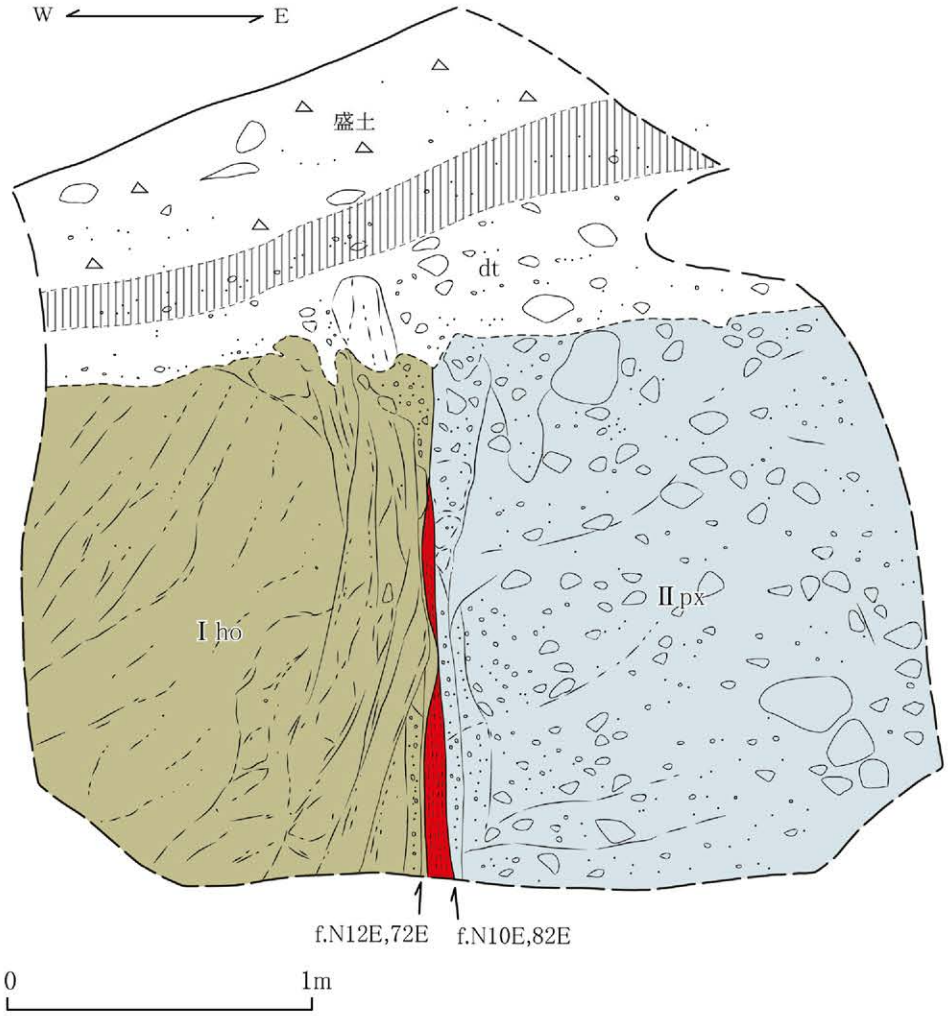


第 7.3.3.17 図　犬辻鼻リニアメント周辺の地質図



（注）凡例は、第 7.3.3.17 図を参照。

第 7. 3. 3. 18 図　犬辻鼻リニアメント周辺の地質断面図

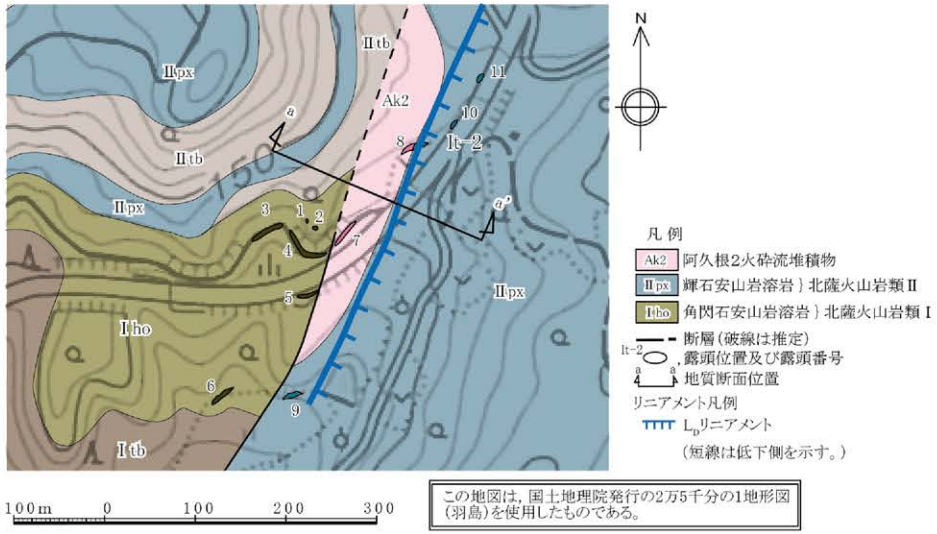


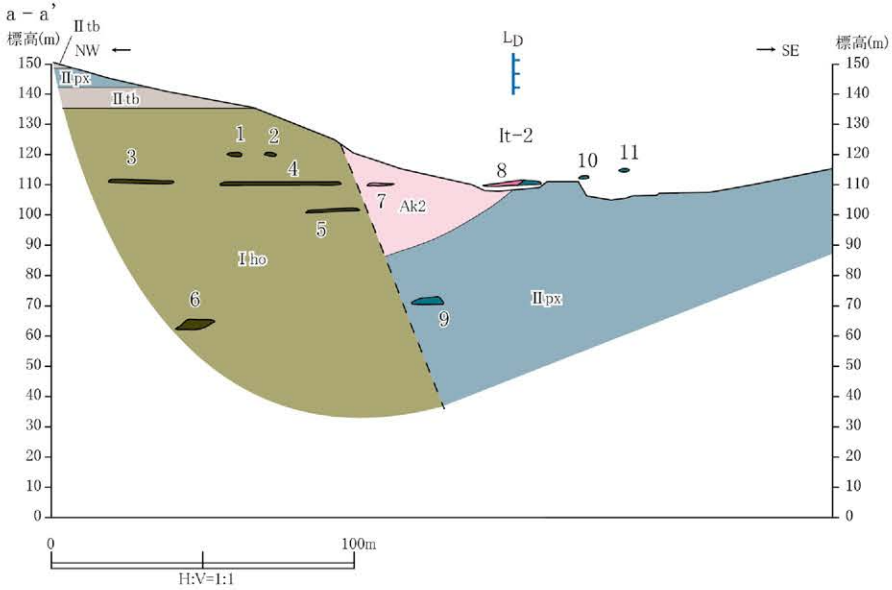
西側の角閃石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅰ）と東側の輝石安山岩自破砕溶岩（北薩火山岩類Ⅱ）とを境する断層。
断層面は平面的であり，面沿いに幅5cm程度の軟質粘土が認められるが，一部で軟質粘土は連続せず，断層面も癒着している。

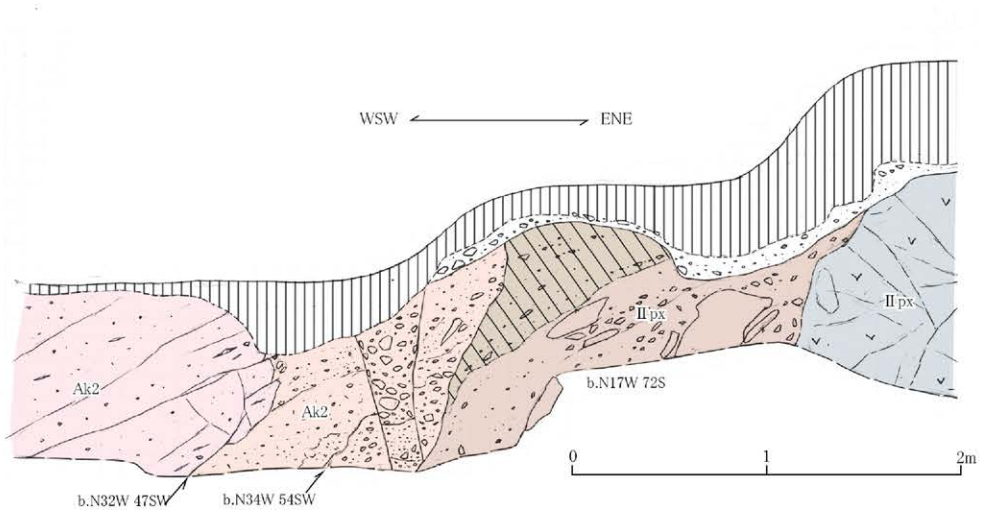
凡 例

- 黒褐色～茶褐色土壌
- dt 黄褐色砂層 } 崖錐性堆積物
- Ⅱpx 輝石安山岩自破砕溶岩 } 北薩火山岩類Ⅱ
- Ⅰho 角閃石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類Ⅰ
- 軟質粘土
- f.N12E,72E 断層面の走向・傾斜

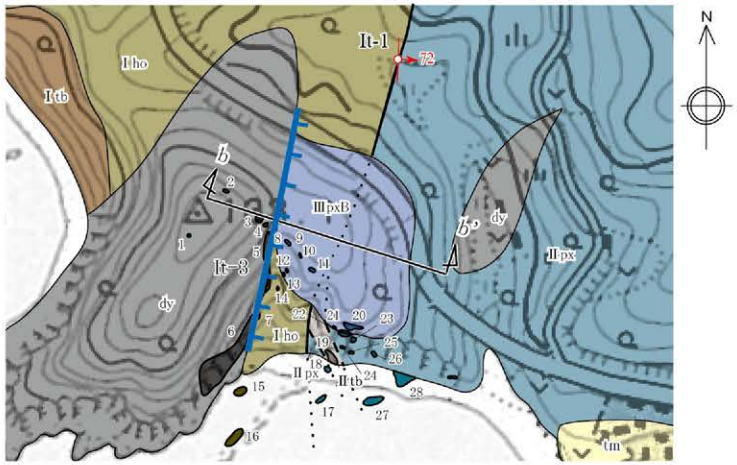
第 7.3.3.19 図　露頭スケッチ（Loc. It-1，薩摩川内市土川北）







第 7.3.3.20 図　ルートマップ・地質断面図・露頭スケッチ（Loc. It-2，薩摩川内市瀬戸野付近）



凡 例

- tm 中位段丘堆積物
- dy 貫入岩類
- ⅢpxB 輝石安山岩溶岩B ｝北薩火山岩類Ⅲ
- Ⅱpx 輝石安山岩溶岩 ｝北薩火山岩類Ⅱ
- Ⅱtb 凝灰角礫岩 ｝北薩火山岩類Ⅱ
- Ⅰtb 火山・凝灰角礫岩 ｝北薩火山岩類Ⅰ
- Ⅰho 角閃石安山岩溶岩 ｝北薩火山岩類Ⅰ

—— 断 層(破線は推定，点線は伏在)

It-1 72 断層面の走向・傾斜及び露頭番号

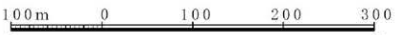
It-3 露頭位置及び露頭番号

b b' 4 地質断面位置

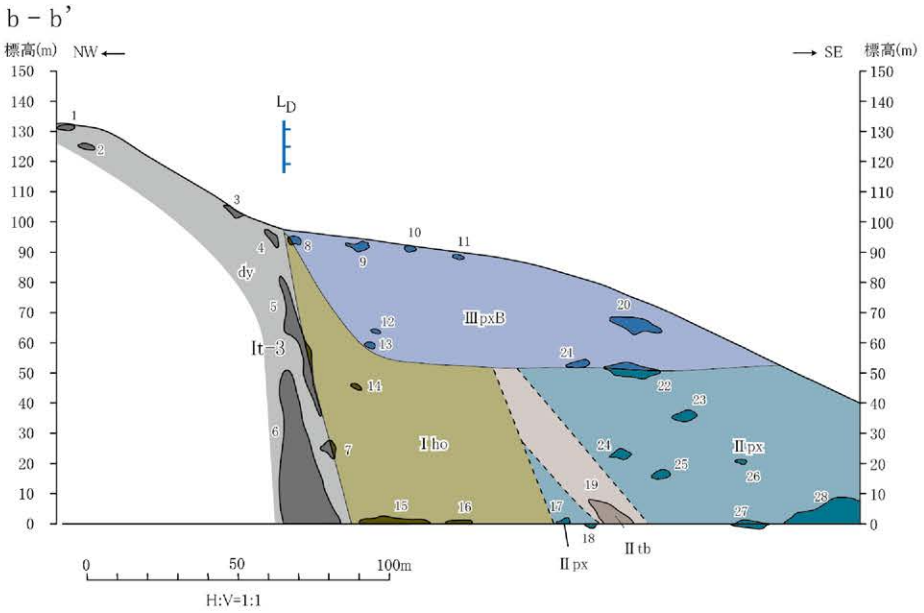
リニアメント凡例

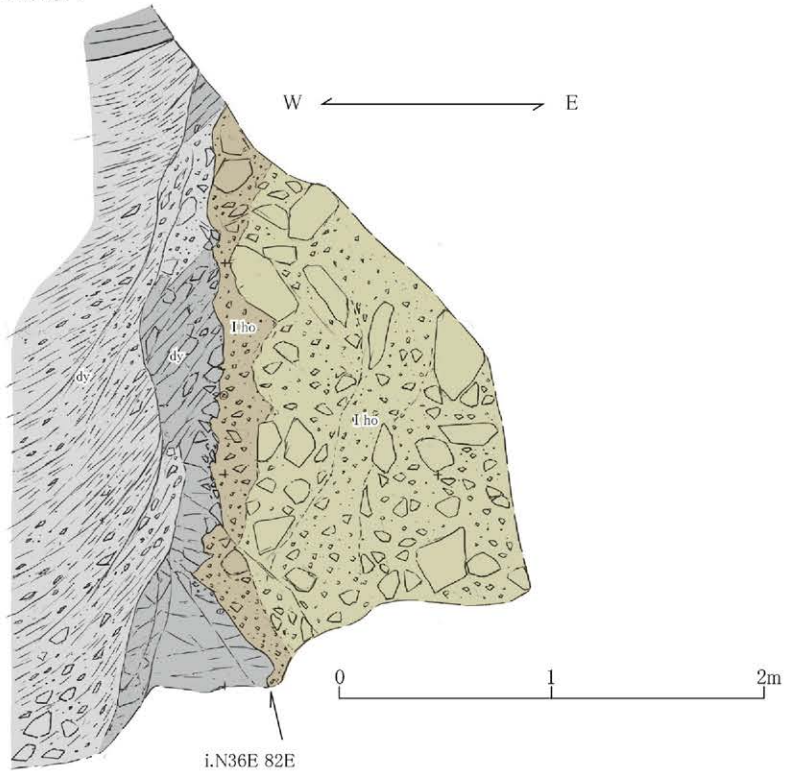
TTTT L_Dリニアメント

(短線は低下側を示す。)



この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図(羽島)を使用したものである。



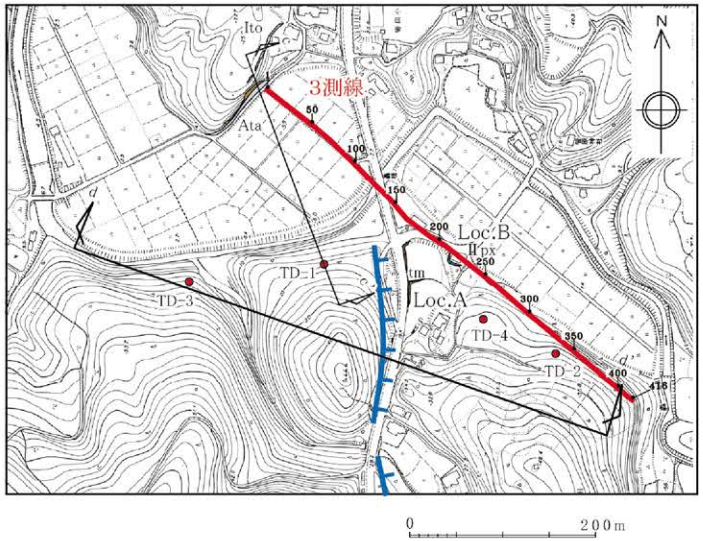


凡 例

- 貫入岩(細片状) ｝貫入岩類(角閃石安山岩)
- 貫入岩(板状節理卓越) ｝貫入岩類(角閃石安山岩)
- 細礫状溶岩 ｝角閃石安山岩溶岩 ｝北薩火山岩類Ⅰ
- 角礫状溶岩 ｝角閃石安山岩溶岩 ｝北薩火山岩類Ⅰ

i.N36E 82E 貫入面の走向・傾斜

第 7.3.3.21 図　ルートマップ・地質断面図・露頭スケッチ（Loc. It-3，薩摩川内市犬辻鼻東方付近）



凡 例

Loc.A　露頭位置及び露頭番号

c　c'　地質断面位置

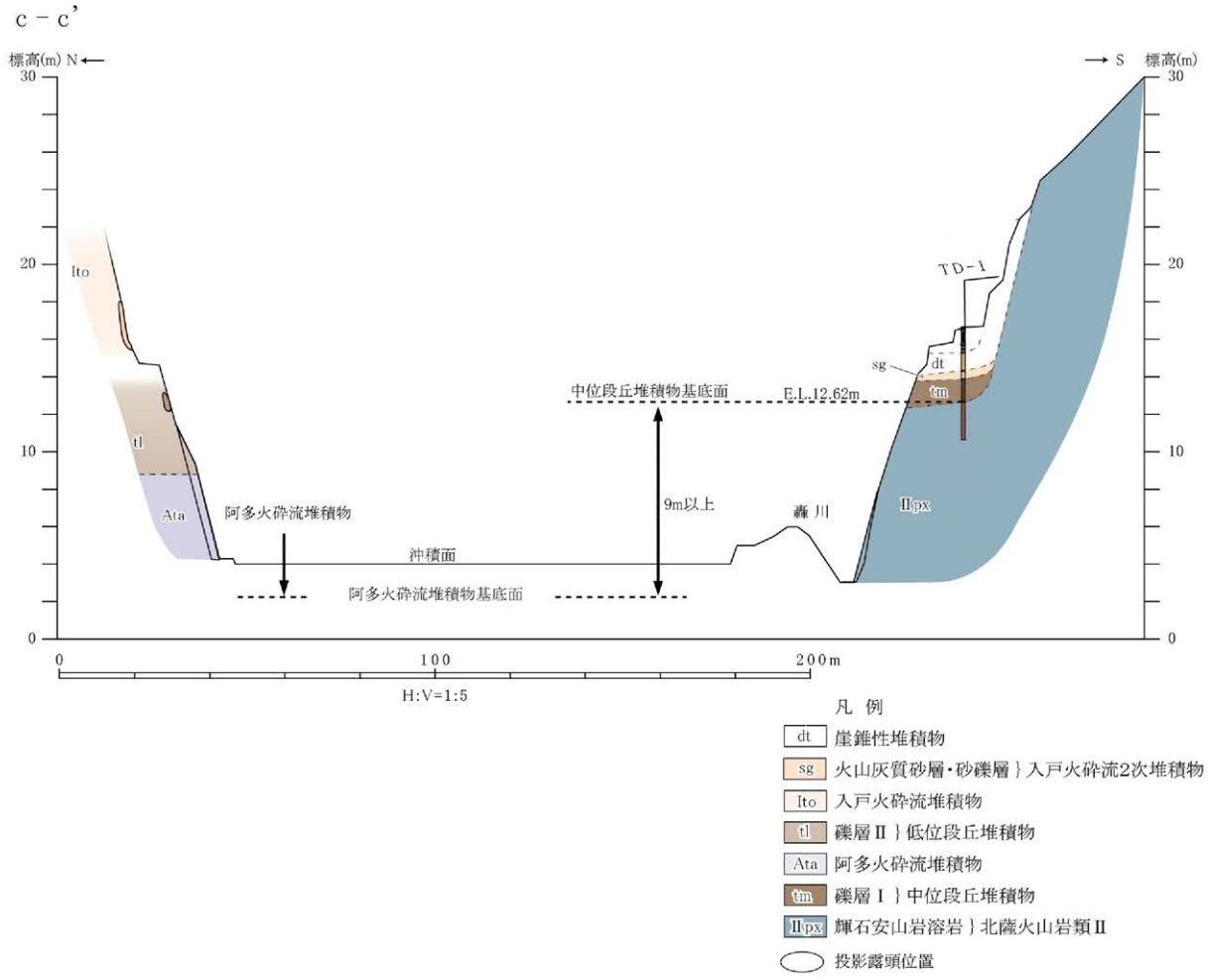
200　反射法地震探査測線（数字はCMP番号）

TD-1　ボーリング調査地点・孔番号

リニアメント凡例

L_Dリニアメント

（短線は低下側を示す。）



凡 例

dt　崖錐性堆積物

sg　火山灰質砂層・砂礫層｝入戸火砕流2次堆積物

Ito　入戸火砕流堆積物

tl　礫層Ⅱ｝低位段丘堆積物

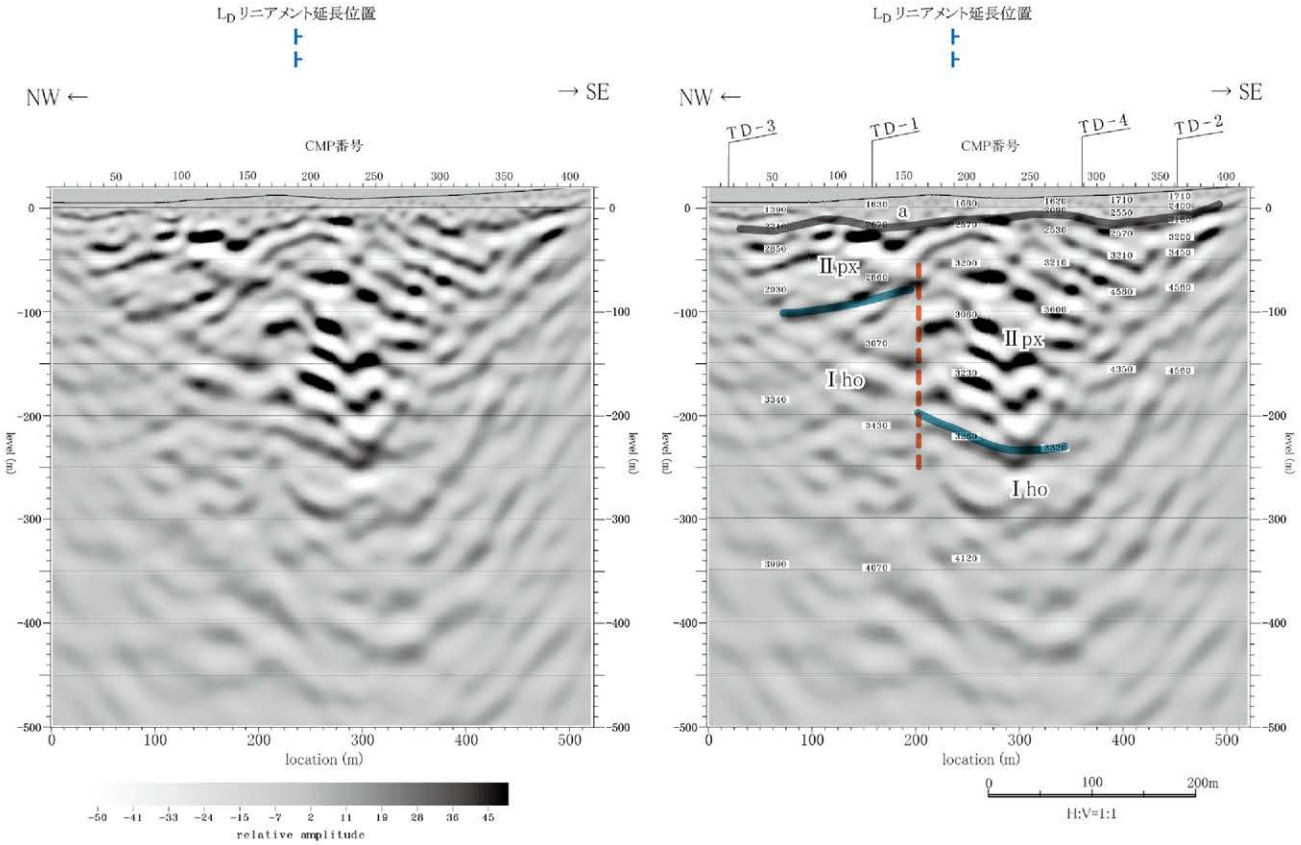
Ata　阿多火砕流堆積物

tm　礫層Ⅰ｝中位段丘堆積物

IIpx　輝石安山岩溶岩｝北薩火山岩類Ⅱ

投影露頭位置

第 7.3.3.22 図　調査位置図・地質断面図（轟川地点）



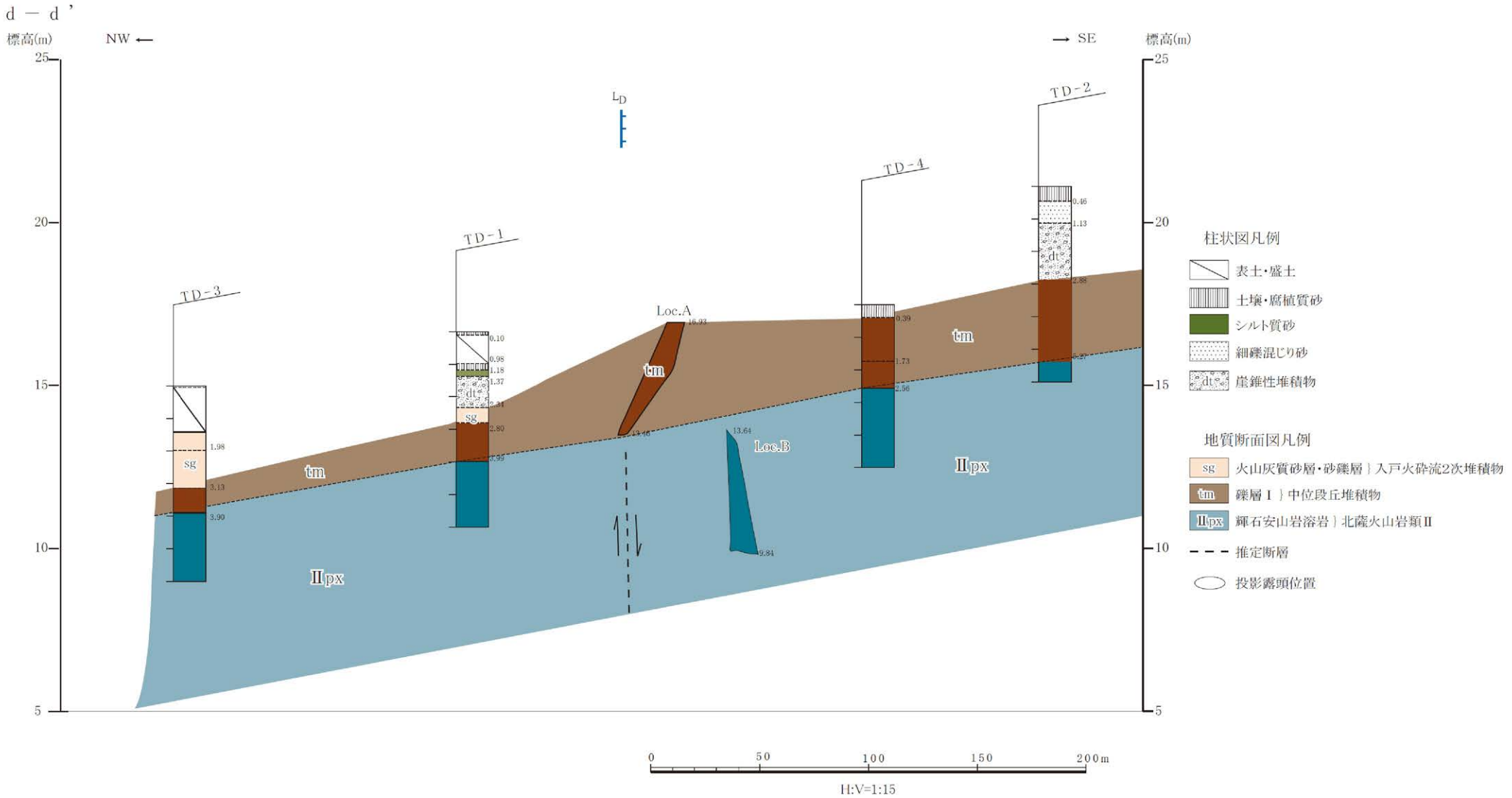
探鉱機　デジタルテレメトリ型（JGI，G･DAPS-4）
震　源　油圧インパクタ　1台（JGI，JMI-200Ⅱ）
　　加速式重錘落下，重錘質量 200kg
受振器　30Hz，6個/グループ（I/O Sensor，SM-11）

標準収録仕様
　収録時間　2sec
　サンプリング間隔　1msec
　発振点間隔　2.5m
　受振点間隔　5m

凡　例
a: 沖積層
Ⅱpx: 輝石安山岩類〕北薩火山岩類Ⅱ
Ⅰho: 角閃石安山岩類〕北薩火山岩類Ⅰ
－－ 推定断層

（注）測線位置は，第 7.3.3.16 図を参照。

第 7.3.3.23 図　反射法地震探査による深度断面とその解釈（３測線）



(注)断面位置は，第 7.3.3.22 図を参照。

第 7.3.3.24 図　地質断面図（轟川地点）

：防護上の観点から公開できません

第 7.3.4.1 図　敷地の地質調査位置図

：防護上の観点から公開できません

第 7.3.4.2 図　敷地の地質平面図